

# 旧津市河芸プール管理棟改修工事

図面リスト							
建築工事				電気設備工事		機械設備工事	
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-1	表紙、図面リスト	A-27	改修後建具表	E-1	電気設備工事特記仕様書	M-1	機械設備工事特記仕様書
A-2	改修特記仕様書（その1）	A-28	雑詳細図	E-2	盤図（新設、撤去）	M-2	給排水衛生設備 機器仕様 衛生器具表 樹リスト
A-3	改修特記仕様書（その2）			E-3	照明器具姿図（新設、撤去）	M-3	給排水衛生設備 改修前、後平面図
A-4	改修特記仕様書（その3）			E-4	幹線動力設備 改修前、後 平面図	M-4	給排水衛生設備 改修後平面詳細図
A-5	改修特記仕様書（その4）			E-5	電灯設備 改修前、後 平面図	M-5	給排水衛生設備 改修前平面詳細図
A-6	改修特記仕様書（その5）			E-6	コンセント設備 改修前、後 平面図	M-6	空調・換気設備 機器仕様
A-7	附近見取図、配置図兼仮設計画図			E-7	弱電設備 改修前、後 平面図	M-7	空調・換気設備 改修前、後平面図
A-8	仕上表			E-8	改修後、便所廻り平面詳細図	M-8	ろ過設備 参考図
A-9	改修前、後平面図						
A-10	改修前、後屋根伏図						
A-11	改修前立面図						
A-12	改修後立面図						
A-13	短計図（改修前、改修後）						
A-14	改修前、後天井伏図						
A-15	改修前平面詳細図1						
A-16	改修前平面詳細図2						
A-17	改修後平面詳細図1						
A-18	改修後平面詳細図2						
A-19	改修前展開図1						
A-20	改修前展開図2						
A-21	改修前展開図3						
A-22	改修後展開図1						
A-23	改修後展開図2						
A-24	改修前、後建具表キープラン						
A-25	改修前建具表1						
A-26	改修前建具表2						

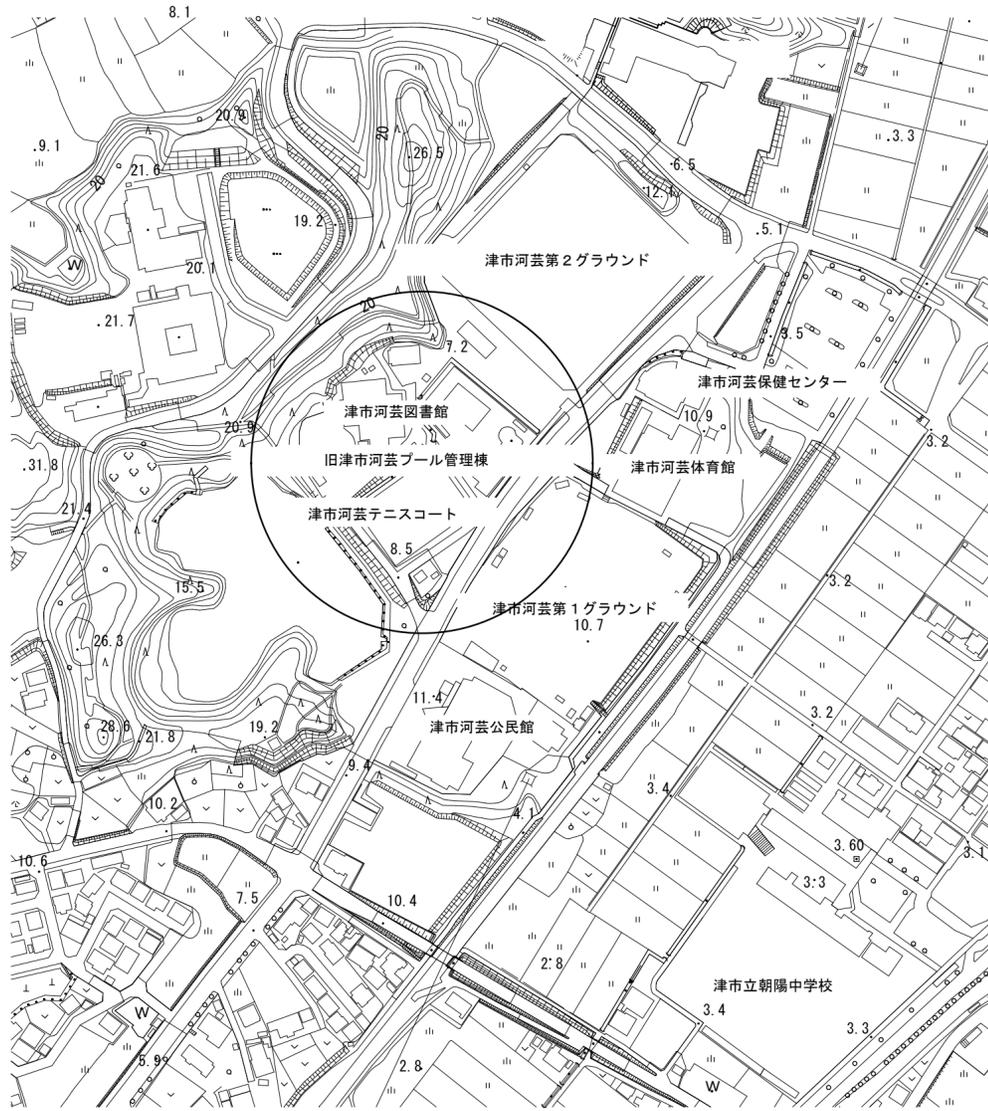
章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																	
<h2 style="text-align: center;">改修工事特記仕様書</h2> <p>I. 工事名称 旧津市河芸プール管理棟改修工事</p> <p>II. 工事概要</p> <p>1. 工事場所 津市河芸町浜田 地内</p> <p>2. 敷地面積 3,521㎡</p> <p>3. 工事内容</p> <p>棟名称 旧津市河芸プール管理棟</p> <p>構造 鉄筋コンクリート造 平家建</p> <p>建築面積 272㎡</p> <p>延面積 272㎡</p> <p>III. 共通事項</p> <p>1. 本特記仕様書は、本工事における建築関連工事に適用する。</p> <p>2. 本特記仕様書における採用事項</p> <p>① 項目欄に番号等に○印を付したものを適用する。</p> <p>② 項目欄に○印を付し特記事項欄に○印を付していない場合は標準仕様書による。</p> <p>③ 特記事項は○印を付したものを適用する。但し○印の付かない場合は※印の付した事項を採用する。 ○印と⊗印を付した場合は共に適用する。</p> <p>3. 本特記仕様書に記載なき事項については下記による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国土交通省大臣官房長官営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成25年版</li> <li>国土交通省大臣官房長官営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成25年版</li> <li>国土交通省大臣官房長官営繕部監修 建築物解体工事共通仕様書 平成24年版</li> <li>「改正建築基準法に対応した建築物のシックハウス対策マニュアル」（編集：国土交通省住宅局建築指導課他）</li> <li>津市公共建築物等木材利用方針</li> </ul>			<p>1.5 完成時の提出図書 完成図</p> <p>1.7 完成写真</p> <p>1.9 保全に関する資料</p> <p>2. 仮設工事</p> <p>1.1 足場その他</p> <p>1.2 既存部分の養生</p> <p>1.3 仮設間仕切り</p> <p>1.4 仮設物</p> <p>1.5 工事用水及び電力</p> <p>3. 一般事項</p> <p>1.1 適用範囲</p> <p>1.3 施工一般</p> <p>1.4 改修工法の種類及び工程</p> <p>2. 既存防水層の処理</p> <p>2.1 1.3の処理</p> <p>2.2 既存下地の補修処置</p> <p>1.3 使用材料</p> <p>1.4 養生材の処理等</p> <p>1.5 完成時の提出図書</p>			<p>3. アスファルト防水</p> <p>3.2 材料</p> <p>3.3 種別及び工程</p> <p>3.5 保護層等の施工</p> <p>4. 改質アスファルトシート防水</p> <p>4.2 材料</p> <p>4.3 種別及び工法</p>			<p>5. 合成高分子系</p> <p>5.2 材料</p> <p>5.3 種別及び工程</p> <p>5.4 施工</p> <p>6. 塗膜防水</p> <p>6.3 種別及び工程</p> <p>7. シーリング</p> <p>7.2 材料</p> <p>7.3 目地寸法</p> <p>7.8 シーリング材の試験</p> <p>7.9 保証年限</p> <p>8. とい</p> <p>8.2 材料</p> <p>8.3 工法</p> <p>9. アルミニウム製笠木</p> <p>9.2 材料</p> <p>9.3 工法</p>																																																																																
<p>提出部数： ※ 2部 ・ 部</p> <p>種類： ※ 実施設計図一式</p> <p>提出要領： ・ A2原稿2つ折り製本 ・ A2版原図（CAD作図による） ・ ADデータ</p> <p>デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。 （A4版用紙に1ページあたり3枚） 1部</p> <p>箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多くなる場合には、監督員と協議すること。</p> <p>写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。</p> <p>・ 保全に関する資料 提出部数： ※各2部 ・ 部</p>			<p>内部足場の種別： ・ 脚立 ・ 足場板 ・ ロリング架</p> <p>外部足場の種別： ・ 種（手摺先行枠組み本足場） ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種</p> <p>保護シートの設置： ・ 設置する ・ 設置しない</p> <p>材料等の運搬方法： ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種</p> <p>既存部分養生材料： ・ ビニールシート ・ その他： 施工にて適材適所を選択する</p> <p>既存家具養生材料： ・ ビニールシート ・ その他： 施工にて適材適所を選択する</p> <p>既存ブラインド、カーテンの養生方法： ・ 指定場所に保管し再設置 ・ 指定場所に保管し清掃の上再設置 ・</p> <p>仮設間仕切り： ・ 無し ・ 有り</p> <p>設置箇所： ・ 図示 ・</p> <p>種 別： ・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>仮設扉： ・ 不要 ・ 必要【設置箇所： ・ 図示 ・ 任意の場所 ・ 】</p> <p>仮設扉の種別： ・ 鋼製 ・ 木製 ・ 図示 ・</p> <p>監督員事務所の設置： ・ 不要 ・ 必要</p> <p>構造： ・ フレーム造 ・ その他：</p> <p>規模： ・ 30㎡内外 ・ 20㎡内外 ・ 10㎡内外 ・ その他：</p> <p>備品： ・ 机、椅子、書棚、図版、定規、黒板又は白板、温湿度計、ファストナマ、 ・ 缶、安全帽（来客用共）、水平・垂直器、ロッカー ・ その他：</p> <p>設備： ・ 電灯 ・ 給排水 ・ 空調換気 ・ 給湯 ・ 通風 ・ 消化器 ・ 冷蔵庫 ・ その他：</p> <p>構内既存の用水施設： ・ 利用できない ・ 利用できる（ ・ 有償 ・ 無償）</p> <p>構内既存の電力施設： ・ 利用できない ・ 利用できる（ ・ 有償 ・ 無償） ・ 動力以外利用できる（ ・ 有償 ・ 無償）</p> <p>構内既存の便所： ・ 利用できない ・ 利用できる</p>			<p>改質アスファルトルーフィングシートの種別・厚さ： ※標準仕様書3.3.2(c)(6)による ・ メーカー仕様による</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種別・厚さ： ※標準仕様書3.3.2(c)(7)による ・ メーカー仕様による</p> <p>保護防水断熱工法の断熱材の材質： ※標準仕様書3.3.2(h)による ・ メーカー仕様による</p> <p>保護防水断熱工法の断熱材の厚さ： ・ 図示 ・</p> <p>露出防水断熱工法の断熱材の材質： ※標準仕様書3.3.2(i)による ・ メーカー仕様による</p> <p>露出防水断熱工法の断熱材の厚さ： ・ 図示 ・</p> <p>絶縁シートの材料の指定： ※標準仕様書3.3.2(j)による ・ メーカー仕様による</p> <p>保護コンクリートのスランプ： ※18N/mm2 ・ 21N/mm2 ・</p> <p>保護コンクリートのスランプ： ※15cm ※18cm ・</p> <p>防水立上がり部の保護： ・ 湿式 ・ 乾式 ・</p> <p>立上り部の保護レンガの材料： ※標準仕様書3.3.2(o)による ・</p> <p>◎屋根保護防水</p> <p>防水立上りの保護コンクリートの適用： ・ 適用しない ・ 適用する</p> <p>防水立上りの保護コンクリートの工法： ・ 図示 ・</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ PHR階屋上</td> <td>・ PIB/ ・ B-1 ※B-2 ・ B-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ R階屋上</td> <td>・ PIB1/ ・ BI-1 ※BI-2 ・ BI-3</td> <td>断熱材： t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ TIB1/ ・ BI-1 ※BI-2 ・ BI-3</td> <td>断熱材： t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ P2A1/ ・ AI-1 ※AI-2 ・ AI-3</td> <td>断熱材： t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ P2A/ ・ A-1 ※A-2 ・ A-3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎屋根露出防水</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ PHR階屋上</td> <td>・ M4C/ ・ C-1 ※C-2 ・ C-3 ・ C-4</td> <td>仕上塗料；</td> </tr> <tr> <td>・ R階屋上</td> <td>・ M3D/ ・ D-1 ※D-2 ・ D-3 ・ D-4</td> <td>仕上塗料；</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ POD/ ・ D-1 ※D-2 ・ D-3 ・ D-4</td> <td>仕上塗料；</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇M3D工法及びPOD工法の脱気装置</p> <p>脱気装置の種類： ※製造メーカー仕様による ・ 図示 ・</p> <p>脱気装置の設置数量： ※製造メーカー仕様による ・ 図示 ・</p> <p>◎屋根露出防水断熱工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ PHR階屋上</td> <td>・ POD1/ ・ DI-1 ※DI-2</td> <td>仕上塗料；</td> </tr> <tr> <td>・ R階屋上</td> <td>・ M3D1/ ・ DI-1 ※DI-2</td> <td>仕上塗料；</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ M4D1/ ・ DI-1 ※DI-2</td> <td>仕上塗料；</td> </tr> </tbody> </table> <p>脱気装置の種類： ※製造メーカー仕様による ・ 図示 ・</p> <p>脱気装置の設置数量： ※製造メーカー仕様による ・ 図示 ・</p> <p>◎屋内防水</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 浴室</td> <td>・ PIE/ ・ E-1 ※E-2</td> <td>保護層： 普通珪藻土</td> </tr> <tr> <td>・ 機械室</td> <td>・ P2E/ ・ E-1 ※E-2</td> <td>保護層： 普通珪藻土</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保護層： 軽量珪藻土</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保護層： 軽質t=30</td> </tr> </tbody> </table> <p>保護層のコンクリートの厚さ： ・ 100mm ※80mm ※60mm ・ 図示 ・</p> <p>防水立上がり部の保護： ・ 露出 ・ コンクリート ・ レンガ押え ・ 乾式保護材；</p> <p>改質アスファルトシートの種別・厚さ： ※標準仕様書表3.4.1~3.4.3による ・ メーカー仕様による</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種別・厚さ： ※標準仕様書表3.4.1~3.4.3による ・ メーカー仕様による</p> <p>露出防水断熱工法の断熱材の材質・厚さ： ※A種硬質ウレタンフォーム保温板2種1号又は2号 ・ メーカー仕様による ・</p>			施工部位	工法/種別	備考	・ PHR階屋上	・ PIB/ ・ B-1 ※B-2 ・ B-3		・ R階屋上	・ PIB1/ ・ BI-1 ※BI-2 ・ BI-3	断熱材： t=		・ TIB1/ ・ BI-1 ※BI-2 ・ BI-3	断熱材： t=		・ P2A1/ ・ AI-1 ※AI-2 ・ AI-3	断熱材： t=		・ P2A/ ・ A-1 ※A-2 ・ A-3		施工部位	工法/種別	備考	・ PHR階屋上	・ M4C/ ・ C-1 ※C-2 ・ C-3 ・ C-4	仕上塗料；	・ R階屋上	・ M3D/ ・ D-1 ※D-2 ・ D-3 ・ D-4	仕上塗料；		・ POD/ ・ D-1 ※D-2 ・ D-3 ・ D-4	仕上塗料；	施工部位	工法/種別	備考	・ PHR階屋上	・ POD1/ ・ DI-1 ※DI-2	仕上塗料；	・ R階屋上	・ M3D1/ ・ DI-1 ※DI-2	仕上塗料；		・ M4D1/ ・ DI-1 ※DI-2	仕上塗料；	施工部位	工法/種別	備考	・ 浴室	・ PIE/ ・ E-1 ※E-2	保護層： 普通珪藻土	・ 機械室	・ P2E/ ・ E-1 ※E-2	保護層： 普通珪藻土			保護層： 軽量珪藻土			保護層： 軽質t=30	<p>脱気装置： ・ 設置</p> <p>断熱材の種類： ・ 押出法*1ウレタンフォーム3種B(キヤン) ・ 図示 ・</p> <p>断熱工法の断熱材の厚さ： ・ 25mm ・ 35mm ・ 50mm ・</p> <p>PCコンクリート下地の場合： 目地処理： ・ 図示 ・</p> <p>入隅部の増張り： ・ 図示 ・</p> <p>機械的固定工法の場合の風圧力に対応した工法： ・ メーカー仕様による ・</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・ POX/※X-1 ・ X-2</td> <td>脱気装置： ・ 設置</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ L4X/ ・ X-1 ※X-2</td> <td>脱気装置： ・ 設置</td> </tr> </tbody> </table> <p>7.2 シーリング</p> <p>種類及び施工箇所： ・ 種類は標準仕様書表9.7.11により施工箇所は下表による</p> <p>ノンブリードタイプシーリング材の適用： ※使用する ・ 使用しない</p> <p>施工箇所： ・ ボリカルシールで仕上げありの部位</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>目地寸法</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RC目地</td> <td>20×10</td> <td>P U-2</td> </tr> <tr> <td>サッシ・金物</td> <td>10×10</td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td>ガラス</td> <td>5×5</td> <td>S R-1</td> </tr> </tbody> </table> <p>7.8 シーリング材の試験</p> <p>7.9 保証年限</p> <p>※簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験</p> <p>シーリング保証書： ・ 提出する ・ 提出しない</p> <p>・ 保証書（請負人、材料製造所、シーリング施工者連帯保証）は各2通提出すること。</p> <p>8. とい</p> <p>8.2 材料</p> <p>軒どいの材質： ・ 777アル被覆鋼板 ・ 耐候性被覆鋼板 ・</p> <p>縦どいの材質： ・ 配管用鋼管 ・ 塩化ビニル管【 ・ カ-VP ・ カ-VU ・ VP ・ 】</p> <p>掃除口： ・ 有 ・ 無</p> <p>飾り樹： ・ 塩ビ製 ・ 銅板製 ・</p> <p>とい受け金物： ・ ステンレス製 ・ 亜鉛めっき鋼板製 ・</p> <p>ルーフトレイン： ・ ステンレス製 ・ 鋳鉄製 ・ 777アル製</p> <p>既存といの撤去及び降雨時の養生： ・ 仮設のといを設置する ・ 図示 ・</p> <p>鋼管製といの防露： ・ 行う ・ 行わない</p> <p>施工箇所： ※標準仕様書表3.8.5による ・</p> <p>たてとい受金物の取付： ・ 図示 ・ @2,000内外 ・ @1,800内外</p> <p>ルーフトレインの取替え： ・ 行わない ・ 行う【 ・ 標準仕様書3.8.3(h)による ・ 】</p>			施工部位	工法/種別	備考		・ POX/※X-1 ・ X-2	脱気装置： ・ 設置		・ L4X/ ・ X-1 ※X-2	脱気装置： ・ 設置	施工箇所	目地寸法	種類	RC目地	20×10	P U-2	サッシ・金物	10×10	MS-2	ガラス	5×5	S R-1
施工部位	工法/種別	備考																																																																																							
・ PHR階屋上	・ PIB/ ・ B-1 ※B-2 ・ B-3																																																																																								
・ R階屋上	・ PIB1/ ・ BI-1 ※BI-2 ・ BI-3	断熱材： t=																																																																																							
	・ TIB1/ ・ BI-1 ※BI-2 ・ BI-3	断熱材： t=																																																																																							
	・ P2A1/ ・ AI-1 ※AI-2 ・ AI-3	断熱材： t=																																																																																							
	・ P2A/ ・ A-1 ※A-2 ・ A-3																																																																																								
施工部位	工法/種別	備考																																																																																							
・ PHR階屋上	・ M4C/ ・ C-1 ※C-2 ・ C-3 ・ C-4	仕上塗料；																																																																																							
・ R階屋上	・ M3D/ ・ D-1 ※D-2 ・ D-3 ・ D-4	仕上塗料；																																																																																							
	・ POD/ ・ D-1 ※D-2 ・ D-3 ・ D-4	仕上塗料；																																																																																							
施工部位	工法/種別	備考																																																																																							
・ PHR階屋上	・ POD1/ ・ DI-1 ※DI-2	仕上塗料；																																																																																							
・ R階屋上	・ M3D1/ ・ DI-1 ※DI-2	仕上塗料；																																																																																							
	・ M4D1/ ・ DI-1 ※DI-2	仕上塗料；																																																																																							
施工部位	工法/種別	備考																																																																																							
・ 浴室	・ PIE/ ・ E-1 ※E-2	保護層： 普通珪藻土																																																																																							
・ 機械室	・ P2E/ ・ E-1 ※E-2	保護層： 普通珪藻土																																																																																							
		保護層： 軽量珪藻土																																																																																							
		保護層： 軽質t=30																																																																																							
施工部位	工法/種別	備考																																																																																							
	・ POX/※X-1 ・ X-2	脱気装置： ・ 設置																																																																																							
	・ L4X/ ・ X-1 ※X-2	脱気装置： ・ 設置																																																																																							
施工箇所	目地寸法	種類																																																																																							
RC目地	20×10	P U-2																																																																																							
サッシ・金物	10×10	MS-2																																																																																							
ガラス	5×5	S R-1																																																																																							
<p>完成図： ・ 必要（A2 2部） ・ 不要</p> <p>保全に関する資料： ・ 必要 ・ 不要</p>			<p>2重ドレンの設置： ・ 行わない ・ 行う（施工箇所）</p> <p>補修箇所の形状・長さ・数量等： ・ 下表による ・ 図示 ・</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>形状・長さ数量等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 脆弱部の補修</td> <td>㎡</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 既存目地の欠損部補修</td> <td>㎡</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 欠損部の補修</td> <td>㎡</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 防水層表面の仕上げ塗装の除去</td> <td>㎡</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>既存防水層表面の仕上げ塗装の除去： ・ 行わない ・ 行う</p> <p>設備架台等防水層取り合い部の処置： ・ 協議による ・ 図示 ・</p>			施工部位	形状・長さ数量等	備考	・ 脆弱部の補修	㎡		・ 既存目地の欠損部補修	㎡		・ 欠損部の補修	㎡		・ 防水層表面の仕上げ塗装の除去	㎡		<p>◎屋根露出防水密着工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ PHR階屋上</td> <td>・ M4AS/ ・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ R階屋上</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎屋根露出防水絶縁工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ PHR階屋上</td> <td>・ M3AS/ ・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J2 ・ AS-J</td> <td>防湿層： ・ 設置 脱気装置： ・ 設置</td> </tr> <tr> <td>・ R階屋上</td> <td>・ POAS/ ・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J2 ・ AS-J</td> <td>脱気装置： ・ 設置</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎屋根露出防水断熱工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ PHR階屋上</td> <td>・ M3AS1/ ・ AS1-T1 ・ AS1-J1</td> <td>防湿層： ・ 設置 脱気装置： ・ 設置</td> </tr> <tr> <td>・ R階屋上</td> <td>・ M4AS1/ ・ AS1-T1 ・ AS1-J1</td> <td>防湿層： ・ 設置 脱気装置： ・ 設置</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ POAS1/ ・ AS1-T1 ・ AS1-J1</td> <td>防湿層： ・ 設置 脱気装置： ・ 設置</td> </tr> </tbody> </table>			施工部位	工法/種別	備考	・ PHR階屋上	・ M4AS/ ・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J3		・ R階屋上			施工部位	工法/種別	備考	・ PHR階屋上	・ M3AS/ ・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J2 ・ AS-J	防湿層： ・ 設置 脱気装置： ・ 設置	・ R階屋上	・ POAS/ ・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J2 ・ AS-J	脱気装置： ・ 設置	施工部位	工法/種別	備考	・ PHR階屋上	・ M3AS1/ ・ AS1-T1 ・ AS1-J1	防湿層： ・ 設置 脱気装置： ・ 設置	・ R階屋上	・ M4AS1/ ・ AS1-T1 ・ AS1-J1	防湿層： ・ 設置 脱気装置： ・ 設置		・ POAS1/ ・ AS1-T1 ・ AS1-J1	防湿層： ・ 設置 脱気装置： ・ 設置																																				
施工部位	形状・長さ数量等	備考																																																																																							
・ 脆弱部の補修	㎡																																																																																								
・ 既存目地の欠損部補修	㎡																																																																																								
・ 欠損部の補修	㎡																																																																																								
・ 防水層表面の仕上げ塗装の除去	㎡																																																																																								
施工部位	工法/種別	備考																																																																																							
・ PHR階屋上	・ M4AS/ ・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J3																																																																																								
・ R階屋上																																																																																									
施工部位	工法/種別	備考																																																																																							
・ PHR階屋上	・ M3AS/ ・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J2 ・ AS-J	防湿層： ・ 設置 脱気装置： ・ 設置																																																																																							
・ R階屋上	・ POAS/ ・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J2 ・ AS-J	脱気装置： ・ 設置																																																																																							
施工部位	工法/種別	備考																																																																																							
・ PHR階屋上	・ M3AS1/ ・ AS1-T1 ・ AS1-J1	防湿層： ・ 設置 脱気装置： ・ 設置																																																																																							
・ R階屋上	・ M4AS1/ ・ AS1-T1 ・ AS1-J1	防湿層： ・ 設置 脱気装置： ・ 設置																																																																																							
	・ POAS1/ ・ AS1-T1 ・ AS1-J1	防湿層： ・ 設置 脱気装置： ・ 設置																																																																																							



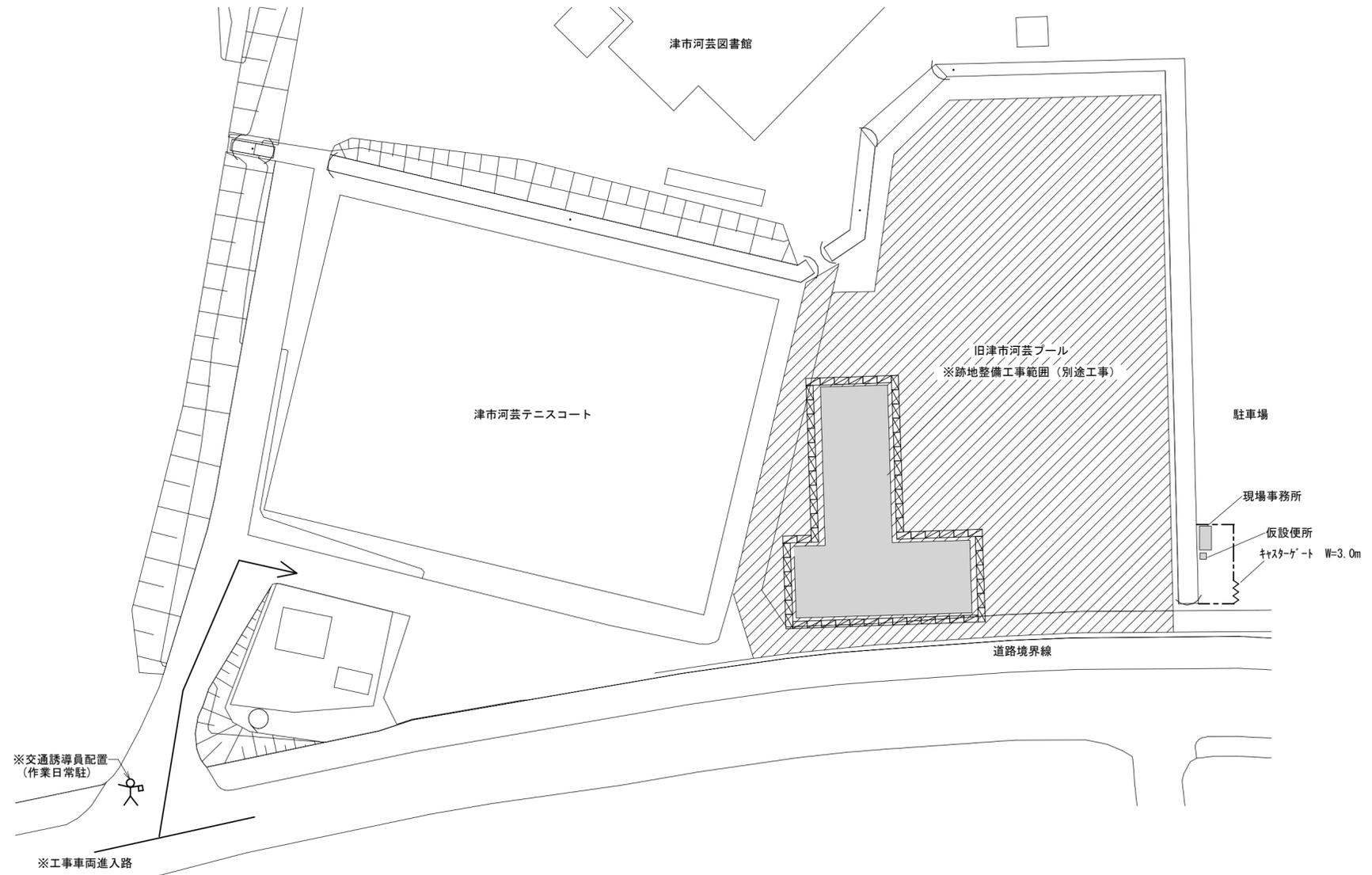
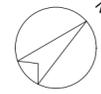




章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																									
8 耐震改修工事	1.* コンクリート工事	1. 一般事項 ・本章の事項は構造特記仕様書による ・本章の事項は構造特記仕様書による ・本章の事項は構造特記仕様書による	2.7 鋼材	鋼材の材質： ・下表による ・図示 ・	14.3 溶接技能者 14.4 材料準備 14.7 溶接施工	14. 溶接接合 溶接技能者の技量付加試験： ・行わない ・行う 開先の形状： ・図示 ・	23.13 仕上げ 23.14 耐火被覆 23.15 免震 23.16 検査	23. 支承材又は減衰材設置後の仕上げ： ・図示 ・ 支承材への耐火被覆の適用及び仕様： ・図示 ・ 免震化部に設置するエキスパンションジョイントの仕様及び工法： ・図示 ・メカ推奨仕様による ・	9 環境配慮改修工事	1.1 一般事項 1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去	1.1 一般事項 封じ込め処理： ・適用しない ・適用する【処理方法： ・図示 ・ 囲い込み処理： ・適用しない ・適用する【処理方法： ・図示 ・ アスベスト含有建材撤去後の仕上げ： ・図示 ・ 分析によるアスベスト含有の調査： ・行わない ・行う ・図示 ・ アスベスト粉塵濃度測定： ・行わない ・行う ・図示 ・																																									
	1.3 コンクリートの種類、強度	レディーミクストコンクリートの種別： ※Ⅰ類 ・Ⅱ類 使用骨材による種類： ・普通コンクリート（下表による） ・図示		2.8 高力ボルト		鋼材の形状及び寸法： ・図示 ・ 種類： ・H型高力ボルト2種（S10T） ・JISの高力ボルト2種（F10T） ・溶融亜鉛めっき高力ボルト1種（F8T相当） 高力ボルトの径： ・図示 ・		14.11 溶接部の試験			完全溶け込み溶接部の超音波探傷試験： ・適用する ・適用しない ◎工場溶接の場合 製作工場の社内検査： ・行わない ・行う（全数検査を行い試験結果報告書を提出） 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 検査水準： ・第1水準 ・第2水準 ・第3水準 ・第4水準 ・第5水準 ※第6水準 ◎工事現場溶接の場合 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 放射線透過試験： ・適用する ・適用しない	24.2 既存部分の撤去等 24.4 減衰材 24.6 減衰材の設置	2.4. 制振改修工事 既存鉄骨の撤去範囲及び方法： ・図示 ・ 既存鉄骨の処置： ・図示 ・ 減衰材の材質等： ・図示 ・ 性能確認試験の項目： ・図示 ・ 性能確認試験の数量： ・図示 ・ 製品検査の項目等： ・図示 ・ 24.6 減衰材の設置 材料の防錆処置： ・図示 ※メカ仕様による 材料の設置位置寸法の許容差： ・図示 ・メカ仕様による 別置の材料の種類、形状、寸法、数量等： ・図示 ・メカ仕様による 割製補強筋の適用： ・図示 ・ 減衰材設置後の仕上げ： ・図示 ・ 検査の項目： ・図示 ・	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・																																						
	1.4 コンクリートの品質	スランプ： ※18cm ・図示 ・ コンクリート部材の許容差及び測定方法： ・標準仕様書8.1.4(d)(1)による ・ 打放し仕上げの種類（合板せき板を用いる場合）		2.9 溶接材料		溶接棒等（標準仕様書表8.2.7）及びガス以外の溶接材料： ・図示 ・		8.3 塗料の種類 17.2 種別及び性能 19.2 既存部分の撤去等 19.3 既存部分の処理 19.6 鉄筋の加工、組立 19.8 コンクリートの打込み 19.9 既存との取合い 19.10 仕上げ 20.7 既存との取合い 20.9 仕上げ 21.5 溶接金網巻き工法 溶接閉鎖フープ巻き工法 21.5 溶接金網巻き工法 溶接閉鎖フープ巻き工法 21.6 鋼板巻き工法及び 帯板巻き付け工法 21.7 連続繊維補強工法 21.8 仕上げ 22.2 施工 23.7 支承材・減衰材 23.10 支承材又は 減衰材の設置			24.8 仕上げ 24.9 検査	2.3 改修工法の種類等	2. 断熱アスファルト防水改修工事 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・PIR階屋上</td> <td>・PIB1/・B1-1 ・B1-2</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> <tr> <td>・R階屋上</td> <td>・P2A1/・A1-1 ・A1-2</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・POD1/・D1-1 ・D1-2</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・T1B1/・B1-1 ・B1-2</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・M3D1/・D1-1 ・D1-2</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・M4D1/・D1-1 ・D1-2</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> </tbody> </table>	施工部位	工法/種別	備考	・PIR階屋上	・PIB1/・B1-1 ・B1-2	断熱材：t=	・R階屋上	・P2A1/・A1-1 ・A1-2	断熱材：t=		・POD1/・D1-1 ・D1-2	断熱材：t=		・T1B1/・B1-1 ・B1-2	断熱材：t=		・M3D1/・D1-1 ・D1-2	断熱材：t=		・M4D1/・D1-1 ・D1-2	断熱材：t=	3.2 材料 3.3 既存外壁の処置 3.4 工法 4.2 材料 5.2 断熱材打込工法	3. 外断熱改修工事 断熱材の種類及び厚さ： ・図示 ・ 外装材の種類及び防火性能： ・図示 ・ 既存外壁仕上げ材の除去： ・図示 ・全面撤去 ・部分撤去 ・ 既存外壁下地面の清掃： ・図示 ・ 既存外壁下地欠損部の改修方法： ・図示 ・ 断熱材の施工方法： ※メカ仕様による ・図示 ・ 外装材の施工： ・図示 ・	5.2 断熱材打込工法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・E'-A'法</td> <td>・E'1/・E'2</td> <td>・25</td> </tr> <tr> <td>・押出法</td> <td>・E'3</td> <td>・25 ・50</td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム</td> <td>・A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	種別	種別	厚さ(mm)	・E'-A'法	・E'1/・E'2	・25	・押出法	・E'3	・25 ・50	・硬質ウレタンフォーム	・A種	・	・フェノールフォーム	・	・
	施工部位	工法/種別		備考																																																
	・PIR階屋上	・PIB1/・B1-1 ・B1-2		断熱材：t=																																																
	・R階屋上	・P2A1/・A1-1 ・A1-2		断熱材：t=																																																
		・POD1/・D1-1 ・D1-2		断熱材：t=																																																
		・T1B1/・B1-1 ・B1-2		断熱材：t=																																																
		・M3D1/・D1-1 ・D1-2		断熱材：t=																																																
		・M4D1/・D1-1 ・D1-2		断熱材：t=																																																
種別	種別	厚さ(mm)																																																		
・E'-A'法	・E'1/・E'2	・25																																																		
・押出法	・E'3	・25 ・50																																																		
・硬質ウレタンフォーム	・A種	・																																																		
・フェノールフォーム	・	・																																																		
1.5 鉄骨製作工場	コンクリートの仕上りの平坦さ： ・標準仕様書 表8.1.4による ・ 製作工場のグレードは下記同等以上で大臣認定された工場とする： ・Sグレード ・Hグレード ・Mグレード ・Rグレード ・Jグレード 施工監理技術者： ・適用する ・適用しない	2.10 柱底均しモルタル	無収縮モルタルの調査： ※標準仕様書8.2.10(b)(1)～(4)による ・図示 ・	14.11 溶接部の試験	◎現場溶接の場合 製作工場の社内検査： ・行わない ・行う（全数検査を行い試験結果報告書を提出） 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 検査水準： ・第1水準 ・第2水準 ・第3水準 ・第4水準 ・第5水準 ※第6水準 ◎工事現場溶接の場合 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 放射線透過試験： ・適用する ・適用しない	24.2 既存部分の撤去等 24.4 減衰材 24.6 減衰材の設置	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・																																												
1.6 鉄骨の工作図	現寸図は必要に応じて作成する 高力ボルト、普通ボルト、アンカーボルトのヘリ、ピッチ、ゲージ等： ・鉄骨工作標準図による又、同図面に記載なき事項は国土交通大臣官房官庁営繕部 「建築鉄骨設計基準及び同解説」による鉄骨設計標準図による。 ・図示 ・	2.11 連続繊維シート及び 含浸接着樹脂等	材料： ・図示 ・ 工法： ・図示 ・ 引張強度、ヤング係数等： ・図示 ・		14.11 溶接部の試験	◎現場溶接の場合 製作工場の社内検査： ・行わない ・行う（全数検査を行い試験結果報告書を提出） 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 検査水準： ・第1水準 ・第2水準 ・第3水準 ・第4水準 ・第5水準 ※第6水準 ◎工事現場溶接の場合 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 放射線透過試験： ・適用する ・適用しない	24.2 既存部分の撤去等 24.4 減衰材 24.6 減衰材の設置	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・																																											
2. 材料	鉄筋の種類： ・SR295 ・SD295A ・SD295B ・SD345 ・SD390 ・図示 ・ 溶接金網の寸法、径： ・φ6x150x150 ・φ6x100x100 ・φ4.5x50x50 ・図示 ・	2.12 鋼材の材料試験等	引張りを受ける鋼板の試験： ・適用する ・適用しない ・図示 ・			14.11 溶接部の試験	◎現場溶接の場合 製作工場の社内検査： ・行わない ・行う（全数検査を行い試験結果報告書を提出） 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 検査水準： ・第1水準 ・第2水準 ・第3水準 ・第4水準 ・第5水準 ※第6水準 ◎工事現場溶接の場合 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 放射線透過試験： ・適用する ・適用しない	24.2 既存部分の撤去等 24.4 減衰材 24.6 減衰材の設置	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・																																										
2.1 鉄筋	とと施工アンカーの種類： ・金属系アンカー ・接着系アンカー ・図示 ・	3. 鉄筋の加工及び組立	3. 鉄筋の加工及び組立 継手の種類： ・重ね継手 ・ガス圧接継手 ・機械継手 ・図示 ・ 継手の位置： ・図示 ・ 主筋の重ね継手長さ： ※標準仕様書5.3.4(c)(1)による ・図示 ・ 耐力壁鉄筋の重ね継手長さ： ※標準仕様書5.3.4(c)(1)による ・図示 ・ 先組み工法等の継手の位置： ・図示 ・ 柱への梁引張り鉄筋の定着長さ： ※標準仕様書5.3.4(d)(1)による ・図示 ・ 土に接する柱、梁、スラブ及び壁の鉄筋のかぶり厚さ（軽量コンクリートの場合）： ・図示 ・40mm ・50mm ・60mm 塩害を受ける恐れのある部分等の鉄筋のかぶり厚さ： ・図示 ・ 特殊な鉄筋継手のあき寸法： ・図示 ・ 壁の配筋： ・図示 ・ 開口部の補強筋： ・図示 ・				14.11 溶接部の試験	◎現場溶接の場合 製作工場の社内検査： ・行わない ・行う（全数検査を行い試験結果報告書を提出） 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 検査水準： ・第1水準 ・第2水準 ・第3水準 ・第4水準 ・第5水準 ※第6水準 ◎工事現場溶接の場合 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 放射線透過試験： ・適用する ・適用しない	24.2 既存部分の撤去等 24.4 減衰材 24.6 減衰材の設置	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・																																									
2.2 溶接金網	◎金属系アンカー 引張耐力： ・図示 ・ せん断耐力： ・図示 ・ アンカー本体の径： ・図示 ・φ13 アンカー本体の埋込深さ： ・図示 ・φ65 mm以上 アンカー本体のセット方式： ・図示 ※本体打込み式改良型 ・ 接合筋の径及び長さ： ・図示 ・φ10 L=400以上	3.4 継手及び定着	継手の種類： ・重ね継手 ・ガス圧接継手 ・機械継手 ・図示 ・ 継手の位置： ・図示 ・ 主筋の重ね継手長さ： ※標準仕様書5.3.4(c)(1)による ・図示 ・ 耐力壁鉄筋の重ね継手長さ： ※標準仕様書5.3.4(c)(1)による ・図示 ・ 先組み工法等の継手の位置： ・図示 ・ 柱への梁引張り鉄筋の定着長さ： ※標準仕様書5.3.4(d)(1)による ・図示 ・ 土に接する柱、梁、スラブ及び壁の鉄筋のかぶり厚さ（軽量コンクリートの場合）： ・図示 ・40mm ・50mm ・60mm 塩害を受ける恐れのある部分等の鉄筋のかぶり厚さ： ・図示 ・ 特殊な鉄筋継手のあき寸法： ・図示 ・ 壁の配筋： ・図示 ・ 開口部の補強筋： ・図示 ・					14.11 溶接部の試験	◎現場溶接の場合 製作工場の社内検査： ・行わない ・行う（全数検査を行い試験結果報告書を提出） 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 検査水準： ・第1水準 ・第2水準 ・第3水準 ・第4水準 ・第5水準 ※第6水準 ◎工事現場溶接の場合 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 放射線透過試験： ・適用する ・適用しない	24.2 既存部分の撤去等 24.4 減衰材 24.6 減衰材の設置	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・																																								
2.4 あと施工アンカー	◎接着系アンカー 引張耐力： ・図示 ・ せん断耐力： ・図示 ・ アンカーの種類： ・図示 ・カマ型 ・ アンカー筋の径： ・図示 ・ アンカー筋の埋込深さ： ・図示 ・ アンカー筋の種類： ・図示 ※異形棒鋼 ・ アンカー筋の新設壁内への定着長さ： ・図示 ※標準仕様書8.2.4(c)(6)による あと施工アンカーの性能確認試験： ・行う ・行わない ・	4. 鉄筋の機械式継手及び溶接継手	機械式継手の種類： ・図示 ・ 機械式継手の工法及び品質の確認方法等： ・図示 ※標準仕様書8.4.2.(c)による 溶接継手の工法： ・図示 ・ 品質の確認方法： ・図示 ・ 不良継手部の修正方法： ・図示 ※標準仕様書8.4.3.(c)による						14.11 溶接部の試験	◎現場溶接の場合 製作工場の社内検査： ・行わない ・行う（全数検査を行い試験結果報告書を提出） 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 検査水準： ・第1水準 ・第2水準 ・第3水準 ・第4水準 ・第5水準 ※第6水準 ◎工事現場溶接の場合 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 放射線透過試験： ・適用する ・適用しない	24.2 既存部分の撤去等 24.4 減衰材 24.6 減衰材の設置	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・																																							
2.5 コンクリートの材料・調査	セメントの種類： ※普通ポルトランドセメント ※混合セメントA種 ・高炉セメント ・フライアッシュセメント フェロニッケル系スラグ細骨材の使用： ・使用する ・使用しない 骨材のアルカリシリカ反応性による区分： ※A ・B	4.2 機械式継手	機械式継手の種類： ・図示 ・ 機械式継手の工法及び品質の確認方法等： ・図示 ※標準仕様書8.4.2.(c)による 溶接継手の工法： ・図示 ・ 品質の確認方法： ・図示 ・ 不良継手部の修正方法： ・図示 ※標準仕様書8.4.3.(c)による							14.11 溶接部の試験	◎現場溶接の場合 製作工場の社内検査： ・行わない ・行う（全数検査を行い試験結果報告書を提出） 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 検査水準： ・第1水準 ・第2水準 ・第3水準 ・第4水準 ・第5水準 ※第6水準 ◎工事現場溶接の場合 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 放射線透過試験： ・適用する ・適用しない	24.2 既存部分の撤去等 24.4 減衰材 24.6 減衰材の設置	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・																																						
2.5 コンクリートの材料・調査	鋼スラグ細骨材の使用： ・使用する ・使用しない 電気炉酸化スラグ細骨材の使用： ・使用する ・使用しない 混和剤： ・AE剤 ・AE減水剤 ・高性能AE減水剤 ・ 混和材： ・フライアッシュ ・高炉スラグ微粉末 ・膨張剤 ・ モルタルの圧縮強度： ・図示 ・18N/mm <sup>2</sup> ・ モルタルのフロー値： ・図示 ・180mm未満 ・180mm以上240mm未満 ・240mm以上	4.3 溶接継手	溶接継手の工法： ・図示 ・ 品質の確認方法： ・図示 ・ 不良継手部の修正方法： ・図示 ※標準仕様書8.4.3.(c)による								14.11 溶接部の試験	◎現場溶接の場合 製作工場の社内検査： ・行わない ・行う（全数検査を行い試験結果報告書を提出） 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 検査水準： ・第1水準 ・第2水準 ・第3水準 ・第4水準 ・第5水準 ※第6水準 ◎工事現場溶接の場合 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 放射線透過試験： ・適用する ・適用しない	24.2 既存部分の撤去等 24.4 減衰材 24.6 減衰材の設置	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・																																					
2.6 構造体用材料の調査	モルタルの圧縮強度： ・図示 ・18N/mm <sup>2</sup> ・ モルタルのフロー値： ・図示 ・180mm未満 ・180mm以上240mm未満 ・240mm以上	4.4 型枠継手	型枠継手の種類： ・図示 ・ 型枠継手の工法及び品質の確認方法等： ・図示 ※標準仕様書8.4.2.(c)による 溶接継手の工法： ・図示 ・ 品質の確認方法： ・図示 ・ 不良継手部の修正方法： ・図示 ※標準仕様書8.4.3.(c)による									14.11 溶接部の試験	◎現場溶接の場合 製作工場の社内検査： ・行わない ・行う（全数検査を行い試験結果報告書を提出） 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 検査水準： ・第1水準 ・第2水準 ・第3水準 ・第4水準 ・第5水準 ※第6水準 ◎工事現場溶接の場合 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 放射線透過試験： ・適用する ・適用しない	24.2 既存部分の撤去等 24.4 減衰材 24.6 減衰材の設置	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・																																				
2.6 型枠の材料	型枠の材料等： ・下表による ・図示 ・	7.8 型枠工事	7.8 型枠工事 外部に面する打放し仕上げの増打厚さ： ・25mm ・20mm ・15mm ・ 型枠セパレーターとしてのシアコネクタの使用： ・適用する ・適用しない										14.11 溶接部の試験	◎現場溶接の場合 製作工場の社内検査： ・行わない ・行う（全数検査を行い試験結果報告書を提出） 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 検査水準： ・第1水準 ・第2水準 ・第3水準 ・第4水準 ・第5水準 ※第6水準 ◎工事現場溶接の場合 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 放射線透過試験： ・適用する ・適用しない	24.2 既存部分の撤去等 24.4 減衰材 24.6 減衰材の設置	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・																																			
		9.1 一般事項	9.1 一般事項 土に接する軽量コンクリートの使用： ・使用する【使用箇所： ・図示 ・ 水に接する軽量コンクリートの使用： ・使用する【使用箇所： ・図示 ・ 軽量コンクリート種類： ・下表による ・図示 ・	14.11 溶接部の試験										◎現場溶接の場合 製作工場の社内検査： ・行わない ・行う（全数検査を行い試験結果報告書を提出） 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 検査水準： ・第1水準 ・第2水準 ・第3水準 ・第4水準 ・第5水準 ※第6水準 ◎工事現場溶接の場合 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 放射線透過試験： ・適用する ・適用しない	24.2 既存部分の撤去等 24.4 減衰材 24.6 減衰材の設置	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・																																			
		10.2 材料及び調査	10.2 材料及び調査 所要気乾単位容積重量： ・図示 ・ kN/m <sup>3</sup>		14.11 溶接部の試験									◎現場溶接の場合 製作工場の社内検査： ・行わない ・行う（全数検査を行い試験結果報告書を提出） 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 検査水準： ・第1水準 ・第2水準 ・第3水準 ・第4水準 ・第5水準 ※第6水準 ◎工事現場溶接の場合 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 放射線透過試験： ・適用する ・適用しない	24.2 既存部分の撤去等 24.4 減衰材 24.6 減衰材の設置	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・																																			
		11.2 穿孔	11.2 穿孔 埋込配管等の調査方法： ・図示 ・			14.11 溶接部の試験								◎現場溶接の場合 製作工場の社内検査： ・行わない ・行う（全数検査を行い試験結果報告書を提出） 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 検査水準： ・第1水準 ・第2水準 ・第3水準 ・第4水準 ・第5水準 ※第6水準 ◎工事現場溶接の場合 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 放射線透過試験： ・適用する ・適用しない	24.2 既存部分の撤去等 24.4 減衰材 24.6 減衰材の設置	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・																																			
		11.5 施工確認試験	11.5 施工確認試験 施工試験： ※引張試験機による引張試験 ・図示 ・ 確認強度： ・図示 ・				14.11 溶接部の試験							◎現場溶接の場合 製作工場の社内検査： ・行わない ・行う（全数検査を行い試験結果報告書を提出） 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 検査水準： ・第1水準 ・第2水準 ・第3水準 ・第4水準 ・第5水準 ※第6水準 ◎工事現場溶接の場合 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 放射線透過試験： ・適用する ・適用しない	24.2 既存部分の撤去等 24.4 減衰材 24.6 減衰材の設置	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・																																			
		12.9 仮組	12.9 仮組 仮組の実施： ・行わない ・行う					14.11 溶接部の試験						◎現場溶接の場合 製作工場の社内検査： ・行わない ・行う（全数検査を行い試験結果報告書を提出） 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 検査水準： ・第1水準 ・第2水準 ・第3水準 ・第4水準 ・第5水準 ※第6水準 ◎工事現場溶接の場合 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 放射線透過試験： ・適用する ・適用しない	24.2 既存部分の撤去等 24.4 減衰材 24.6 減衰材の設置	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・																																			
		13.2 摩擦面の性能及び 処理	13.2 摩擦面の性能及び 処理 すべり係数試験の実施： ・行わない ・行う 試験の方法、試験片の摩擦面の状態： ・図示 ・						14.11 溶接部の試験					◎現場溶接の場合 製作工場の社内検査： ・行わない ・行う（全数検査を行い試験結果報告書を提出） 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 検査水準： ・第1水準 ・第2水準 ・第3水準 ・第4水準 ・第5水準 ※第6水準 ◎工事現場溶接の場合 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 放射線透過試験： ・適用する ・適用しない	24.2 既存部分の撤去等 24.4 減衰材 24.6 減衰材の設置	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・																																			
		13.7 締付け	13.7 締付け ボルト長さがねじの呼びの5倍をJIS型ボルトのナット回転法の回転量： ・120° ・							14.11 溶接部の試験				◎現場溶接の場合 製作工場の社内検査： ・行わない ・行う（全数検査を行い試験結果報告書を提出） 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 検査水準： ・第1水準 ・第2水準 ・第3水準 ・第4水準 ・第5水準 ※第6水準 ◎工事現場溶接の場合 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 放射線透過試験： ・適用する ・適用しない	24.2 既存部分の撤去等 24.4 減衰材 24.6 減衰材の設置	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・																																			
											14.11 溶接部の試験			◎現場溶接の場合 製作工場の社内検査： ・行わない ・行う（全数検査を行い試験結果報告書を提出） 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 検査水準： ・第1水準 ・第2水準 ・第3水準 ・第4水準 ・第5水準 ※第6水準 ◎工事現場溶接の場合 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 放射線透過試験： ・適用する ・適用しない	24.2 既存部分の撤去等 24.4 減衰材 24.6 減衰材の設置	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・																																			
												14.11 溶接部の試験		◎現場溶接の場合 製作工場の社内検査： ・行わない ・行う（全数検査を行い試験結果報告書を提出） 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 検査水準： ・第1水準 ・第2水準 ・第3水準 ・第4水準 ・第5水準 ※第6水準 ◎工事現場溶接の場合 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 放射線透過試験： ・適用する ・適用しない	24.2 既存部分の撤去等 24.4 減衰材 24.6 減衰材の設置	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・																																			
													14.11 溶接部の試験	◎現場溶接の場合 製作工場の社内検査： ・行わない ・行う（全数検査を行い試験結果報告書を提出） 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 検査水準： ・第1水準 ・第2水準 ・第3水準 ・第4水準 ・第5水準 ※第6水準 ◎工事現場溶接の場合 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 放射線透過試験： ・適用する ・適用しない	24.2 既存部分の撤去等 24.4 減衰材 24.6 減衰材の設置	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・																																			
				14.11 溶接部の試験										◎現場溶接の場合 製作工場の社内検査： ・行わない ・行う（全数検査を行い試験結果報告書を提出） 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 検査水準： ・第1水準 ・第2水準 ・第3水準 ・第4水準 ・第5水準 ※第6水準 ◎工事現場溶接の場合 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 放射線透過試験： ・適用する ・適用しない	24.2 既存部分の撤去等 24.4 減衰材 24.6 減衰材の設置	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による ・図示 ・ 除去物の処理： ※密封処理 ・セメント固化 ・図示 ・																																			
					14.11 溶接部の試験									◎現場溶接の場合 製作工場の社内検査： ・行わない ・行う（全数検査を行い試験結果報告書を提出） 第三者機関による検査： ・行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 検査水準： ・																																						



付近見取図



配置図兼仮設計画図 S=1:500

memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1:500

drawing title  
付近見取図、配置図兼仮設計画図

project title  
旧津市河芸プール管理棟改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

sheet no.  
A-7  
原図: A2

外部仕上表		屋根		軒裏		外壁		樋		根廻り		建具		犬走り		玄関7'ローチ		その他					
現況	均しモルタル下地 冷工法7mm防水 シングル葺き	現況	LGS下地 石綿ケイ酸カルシウム板t6 VP塗	現況	合板型枠コンクリート打放しの上吹付けタイル 一部小口タイル貼	現況	軒樋：ステンレスt0.5加工 縦樋：硬質塩ビ管100φ VP塗	現況	軒樋：モルタル金ゴテ押え	現況	7mmサッシ（一部撤去）	現況	既設窓廻りシーリング 撤去	現況	7mmサッシ（一部撤去）	現況	既設窓廻りシーリング 撤去	現況	7mmサッシ（一部撤去）	現況	既設窓廻りシーリング 撤去		
改修後	既存のまま（水洗いのみ）	改修後	素地ごしらえ（B種）の上 EP塗	改修後	下地調整後複層塗材E吹付（凹凸模様） 小口タイル部 水洗い	改修後	軒樋：現況のまま 縦樋：現況のまま	改修後	現況のまま	改修後	現況のまま	改修後	現況のまま	改修後	現況のまま	改修後	現況のまま	改修後	現況のまま	改修後	現況のまま		
														■ 消防法による有窓階のチェック									
														延べ面積		必要開口面積(1/30)		有効開口面積		判定		備考	
														272㎡		9.07㎡		15.515㎡		O K		新 新 新 既 既 (AD-1)+(AD-2)+(AW-1)+(AW-3)+(AW-4) (1.8×2)+(1.1×2)+(0.93×1.5×3)+(0.905×2)+(0.93×2×2)=15.515	
														■ 消防設備		用途：集会場 (1)項口		消火器ABC10型 2本、誘導灯設備、非常警報設備、防火管理者の選任		(電気設備工事)			

客利用面積=101.81/3=33.9人

内部仕上表 ※特記なき限り全て既設のまま		床 ※特記なき限り下地共撤去とする。		巾木		壁		天井		廻り縁		天井高		備考	
ホール	現況	100角磁器タイル貼 撤去	TB H75 現況のまま	小口磁器タイル貼 撤去 一部モルタル AEP塗	石膏板 t9 VP吹付け										
	改修後	モルタル金鍍押えの上長尺塩ビシートt2.0	一部塩ビソフト巾木H75	モルタル金鍍 EP塗 一部ケイ酸カルシウム板 (LGS100下地) t10+10 EP塗	素地ごしらえ (B種)の上EP塗 塗替え										
事務室	現況	長尺塩ビシートt2.0 撤去 (仕上げのみ)	ビニル巾木 H75	モルタル AEP塗 一部100角内装タイル 撤去	化粧石膏板 t9 撤去								2.500		
医務室兼控室	現況	長尺塩ビシートt2.0 撤去 (仕上げのみ)	ビニル巾木 H75 撤去	モルタル AEP塗	化粧石膏板 t9 LGS下地共撤去								2.500		
自販機室	改修後	長尺塩ビシートt2.0 貼替え	塩ビソフト巾木H75	素地ごしらえ (B種)の上EP塗 塗替え 一部ケイ酸カルシウム板 (LGS100下地) t10+10 EP塗	化粧石膏板 t9 LGS下地 貼替え					塩ビ廻り縁			2.500	7ヶ所名札 (平付) 西面カーテンボックス取付SOP塗、既設カーテンボックスSOP塗替え	
器具庫 多目的便所、ロッカールーム	現況	モルタル金鍍押え 現況のまま	モルタル H75 現況のまま	コンクリート打放し 現況のまま	木毛セメント板 t20打込 白セメント吹付け 現況のまま										
	現況	ウレタン系塗床 現況のまま	ビニル巾木 H75 現況のまま	モルタル AEP塗 現況のまま 一部100角内装タイル 撤去	石綿ケイ酸カルシウム板t6 AEP塗 LGS下地共撤去								2.500		
体育器具庫	改修後	RC壁撤去跡：モルタル金鍍押え	RC壁撤去跡：モルタル金鍍押え	100角内装タイル撤去跡：そのまま RC壁撤去跡：モルタル金鍍押え	天井裏裏し										
機械室	現況	モルタル金鍍押え 現況のまま	モルタル H75 現況のまま	コンクリート打放し 現況のまま	木毛セメント板 t20打込 白セメント吹付け 現況のまま										濾過装置撤去 (設備工事)
	改修後														
女子ロッカールーム	現況	モルタル金鍍 撤去	ビニル巾木 H75 撤去	モルタル AEP塗 一部100角内装タイル	石綿ケイ酸カルシウム板t6 AEP塗 下地 (LGS共) 撤去								2.500		
多目的便所	改修後	RC壁撤去跡：モルタル金鍍押え 長尺塩ビシートt2.0 貼	塩ビソフト巾木H75	既設モルタル壁 EP塗替え 一部ケイ酸カルシウム板 (LGS100下地) t10+10 EP塗	化粧石膏板 t9.5 (LGS下地)					塩ビ廻り縁			2.500	7ヶ所名札 (平付)	
	改修後	モルタル金鍍 長尺塩ビシートt2.0 貼	塩ビソフト巾木H75	既設モルタル壁 EP塗替え 一部ケイ酸カルシウム板 (LGS100下地) t10+10 EP塗	化粧石膏板 t9.5 (LGS下地)					塩ビ廻り縁			2.500	7ヶ所名札 (平付)	
男子便所	改修後	モルタル金鍍 長尺塩ビシートt2.0 貼	塩ビソフト巾木H75	既設モルタル壁 EP塗替え 一部ケイ酸カルシウム板 (LGS100下地) t10+10 EP塗	化粧石膏板 t9.5 (LGS下地)					塩ビ廻り縁			2.500	7ヶ所名札 (平付)	
女子洗面所	現況	長尺塩ビシートt2.0 撤去	ビニル巾木 H75 撤去	モルタル ビニルタイル貼り 撤去	化粧石膏板 t9 VP吹付け 7mmサッシ								2.500		
女子シャワー室	現況	モルタル金鍍 一部25角磁器タイル貼 撤去	ビニル巾木 H75 撤去	モルタル AEP塗 一部100角内装タイル 撤去	石綿ケイ酸カルシウム板t6 AEP塗 下地 (LGS共) 撤去								2.500		
女子便所	現況	25角磁器タイル貼 撤去	100角内装タイル貼 撤去	100角内装タイル貼 撤去	石綿ケイ酸カルシウム板t6 AEP塗 下地 (LGS共) 撤去								2.400		
休憩室1	改修後	床撤去跡：モルタル金鍍押え 長尺塩ビシートt2.0 貼	塩ビソフト巾木H75	既設モルタル壁 EP塗替え 一部ケイ酸カルシウム板 (LGS100下地) t10+10 EP塗	化粧石膏板 t9.5 (LGS下地)					塩ビ廻り縁			2.500	7ヶ所名札 (平付)	
男子洗面所	現況	長尺塩ビシートt2.0 撤去	ビニル巾木 H75 撤去	モルタル ビニルタイル貼り 撤去	化粧石膏板 t9 VP吹付け 7mmサッシ								2.500		
男子シャワー室	現況	モルタル金鍍 一部25角磁器タイル貼 撤去	ビニル巾木 H75 撤去	モルタル AEP塗 一部100角内装タイル 撤去	石綿ケイ酸カルシウム板t6 AEP塗 下地 (LGS共) 撤去								2.500		
男子便所	現況	25角磁器タイル貼 撤去	100角内装タイル貼 撤去	100角内装タイル貼 撤去	石綿ケイ酸カルシウム板t6 AEP塗 下地 (LGS共) 撤去								2.400		
休憩室2	改修後	床撤去跡：モルタル金鍍押え 長尺塩ビシートt2.0 貼	塩ビソフト巾木H75	既設モルタル壁 EP塗替え 一部ケイ酸カルシウム板 (LGS100下地) t10+10 EP塗	化粧石膏板 t9.5 (LGS下地)					塩ビ廻り縁			2.500	7ヶ所名札 (平付)	
男子ロッカールーム	現況	モルタル金鍍 撤去	ビニル巾木 H75 撤去	モルタル AEP塗 一部100角内装タイル	石綿ケイ酸カルシウム板t6 AEP塗 下地 (LGS共) 撤去								2.500		
休憩室3	改修後	床撤去跡：モルタル金鍍押え 長尺塩ビシートt2.0 貼	塩ビソフト巾木H75	既設モルタル壁 EP塗替え 一部ケイ酸カルシウム板 (LGS100下地) t10+10 EP塗	化粧石膏板 t9.5 (LGS下地)					塩ビ廻り縁			2.500	7ヶ所名札 (平付)	
廊下	現況	100角磁器タイル貼 撤去	TB H75 現況のまま	吹付けタイル	石膏板 t9 VP吹付け 下地 (LGS共) 撤去								2.500		
	改修後	床撤去跡：モルタル金鍍押え 長尺塩ビシートt2.0 貼	一部塩ビソフト巾木H75	既設吹付けタイル EP塗替え (ローラー) 一部ケイ酸カルシウム板 (LGS100下地) t10+10 EP塗 (ローラー)	石膏板 t9.5 (LGS下地) EP塗					塩ビ廻り縁			2.500		

■memo

■check  
client  
architect  
contractor

■scale

■drawing title

仕上表

■project title

旧津市河芸プール管理棟改修工事

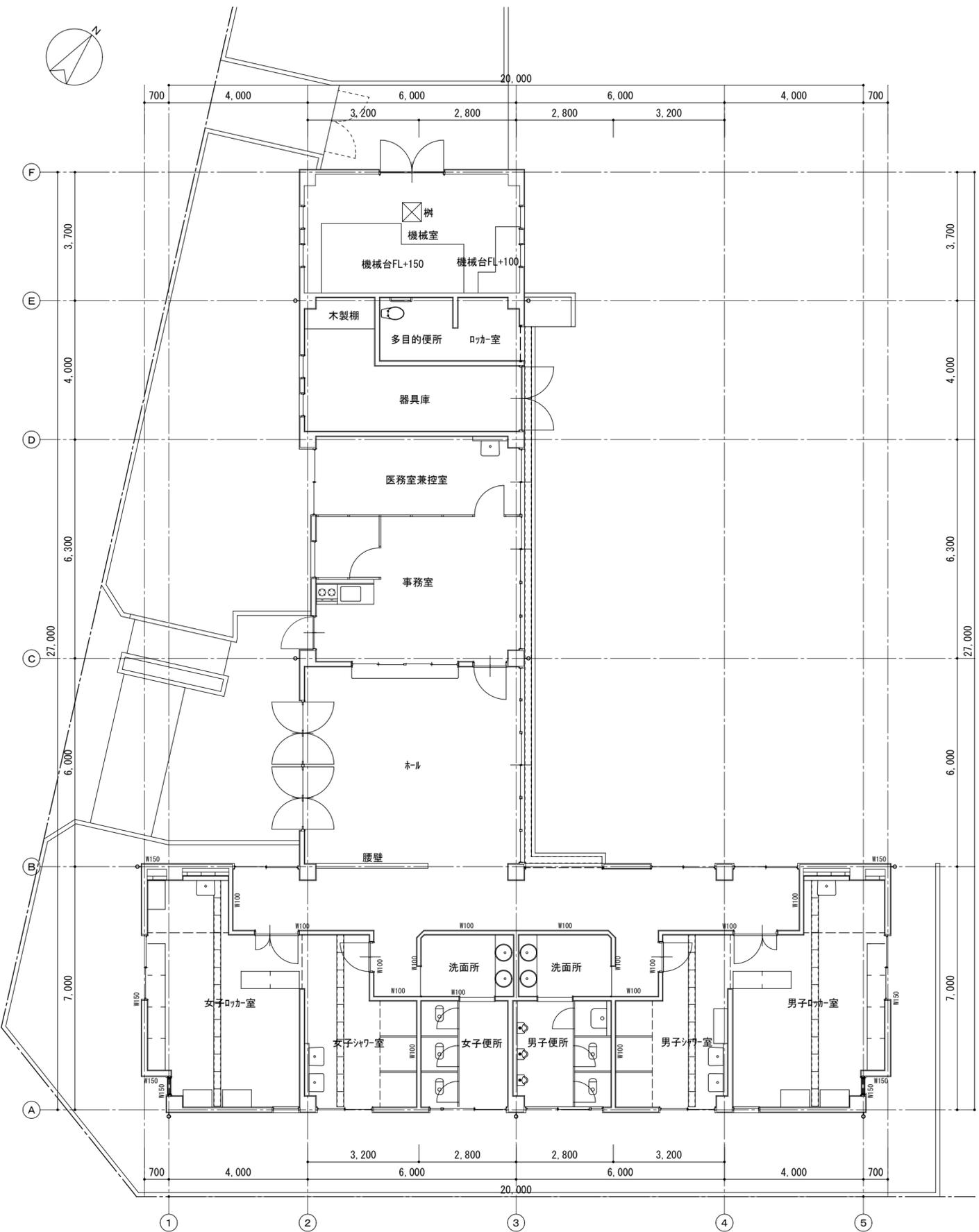
Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士：山田 賢治

■drawing no.

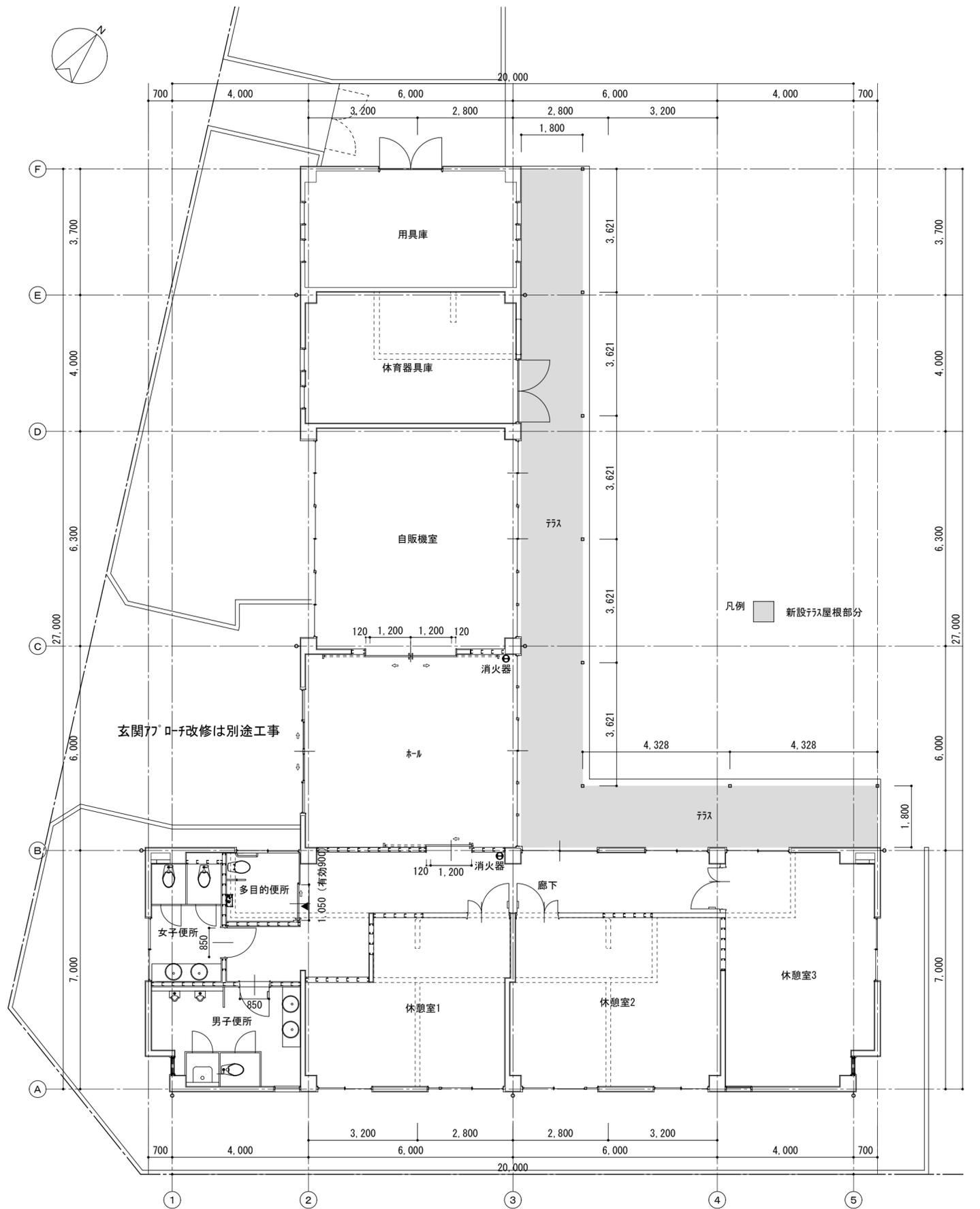
■sheet no.

A-8  
原図：A2



改修前平面図 S=1:100

※特記なき壁はW120とする。



改修後平面図 S=1:100

⊕ : 消火器ABC10型

memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1:100

drawing title  
改修前、後平面図

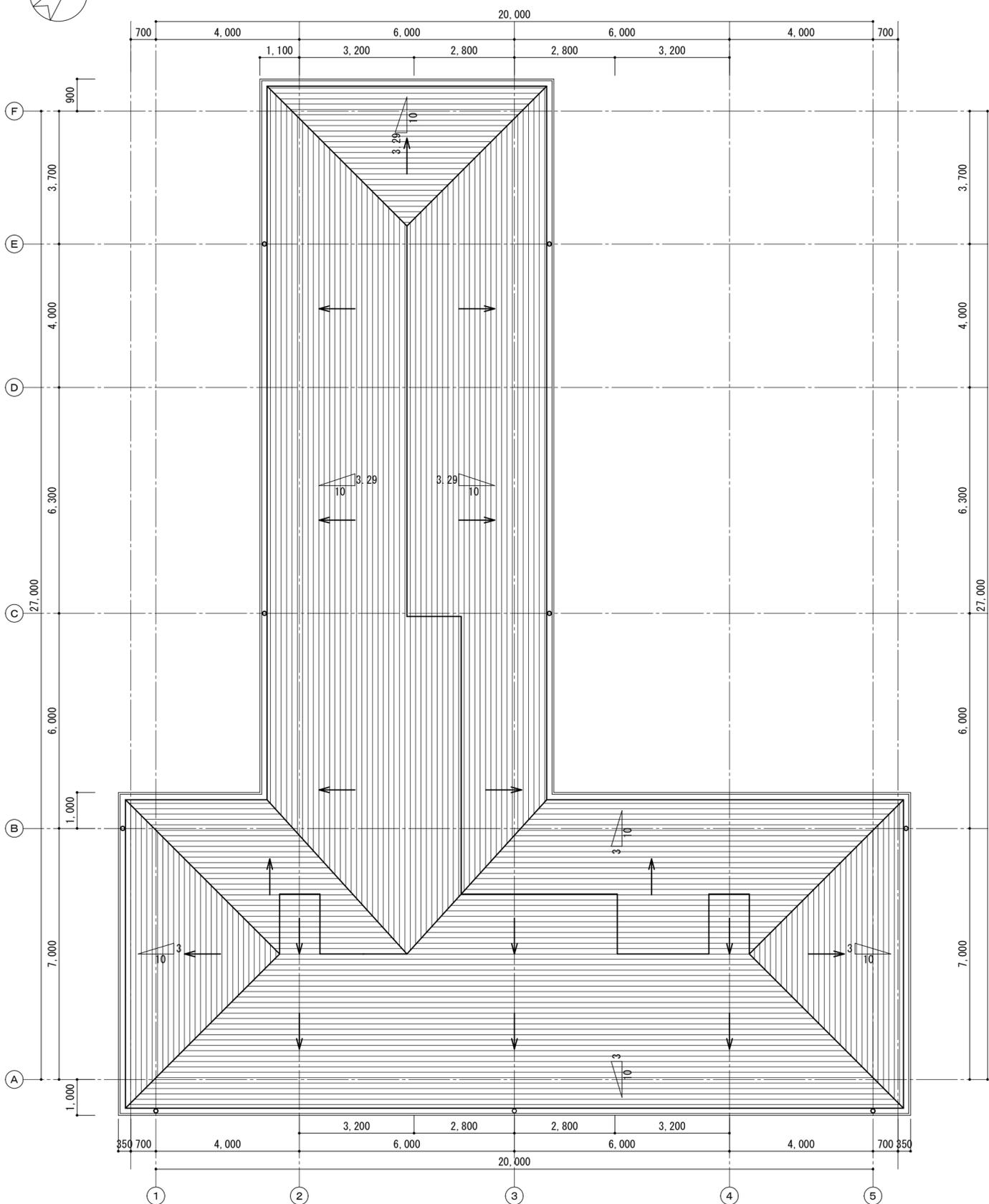
project title  
旧津市河芸プール管理棟改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

sheet no.  
A-9  
原図: A2



改修前、後屋根伏図 S=1:100

外部仕上表		
屋根	改修前	均しモルタル下地 冷工法アスファルト防水 シングル葺き
	改修後	既存のまま (水洗いのみ)

memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1:100

drawing title  
改修前、後屋根伏図

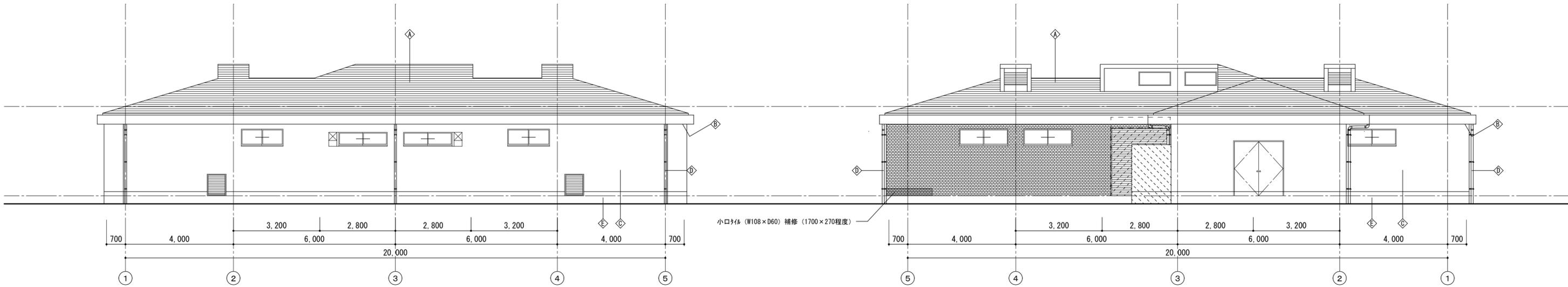
project title  
旧津市河芸プール管理棟改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

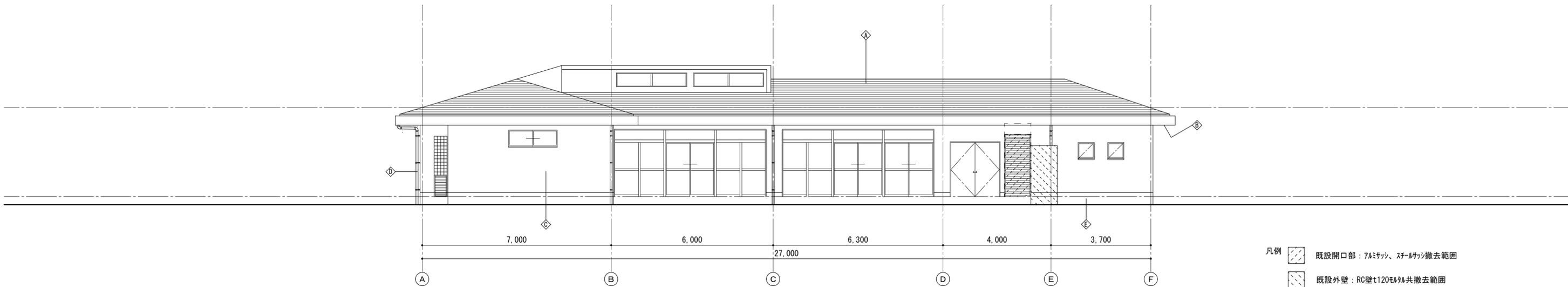
drawing no.

sheet no.  
A-10  
原図: A2



改修前東立面図 S=1:100

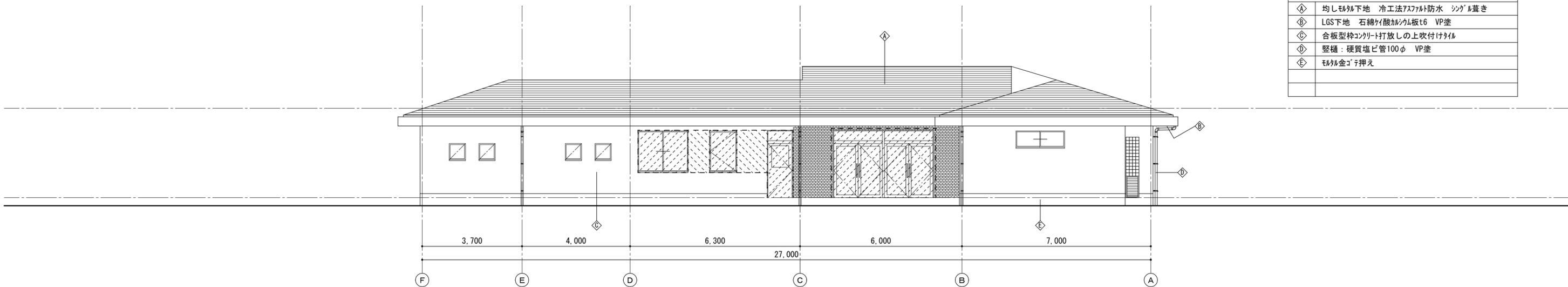
改修前西立面図 S=1:100



改修前北立面図 S=1:100

- 凡例
- 既設開口部：7mmミサック、スチールサッシ撤去範囲
  - 既設外壁：RC壁t120mm外共撤去範囲

改修前外部仕上表	
	均しタイル下地 冷工法アスファルト防水 シングル葺き
	LGS下地 石綿ケイ酸カルシウム板t6 VP塗
	合板型枠コンクリート打放しの上吹付けタイル
	縦樋：硬質塩ビ管100φ VP塗
	タイル金ゴテ押え



改修前南立面図 S=1:100

memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1:100

drawing title  
改修前立面図

project title  
旧津市河芸プール管理棟改修工事

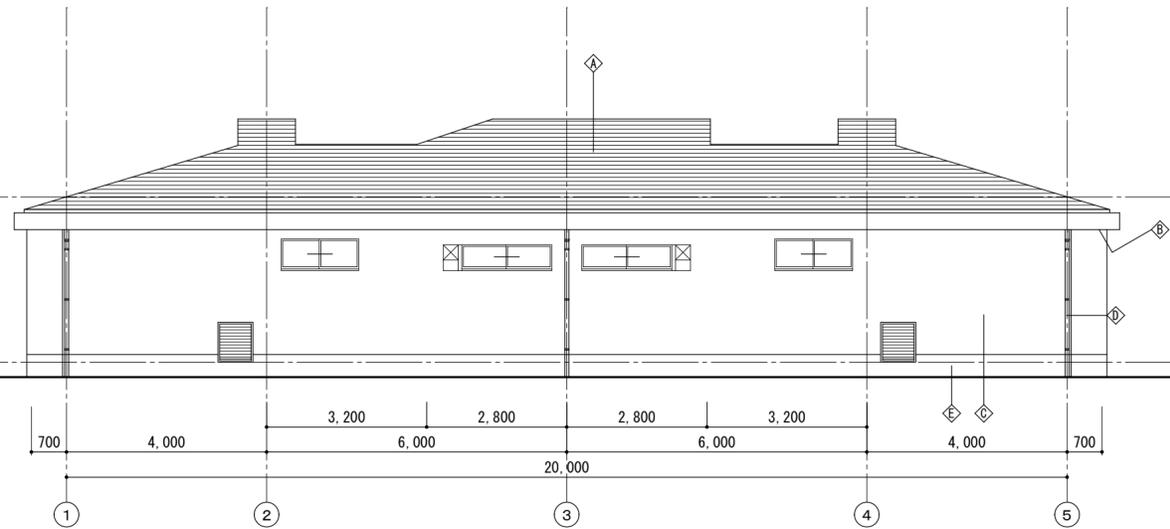
Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士：山田 賢治

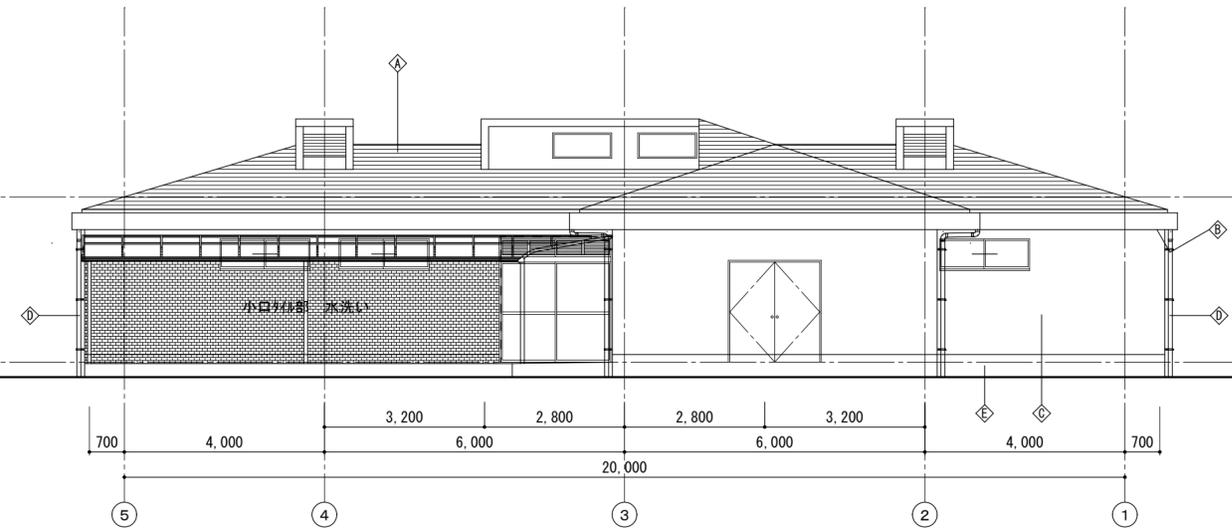
drawing no.

sheet no.

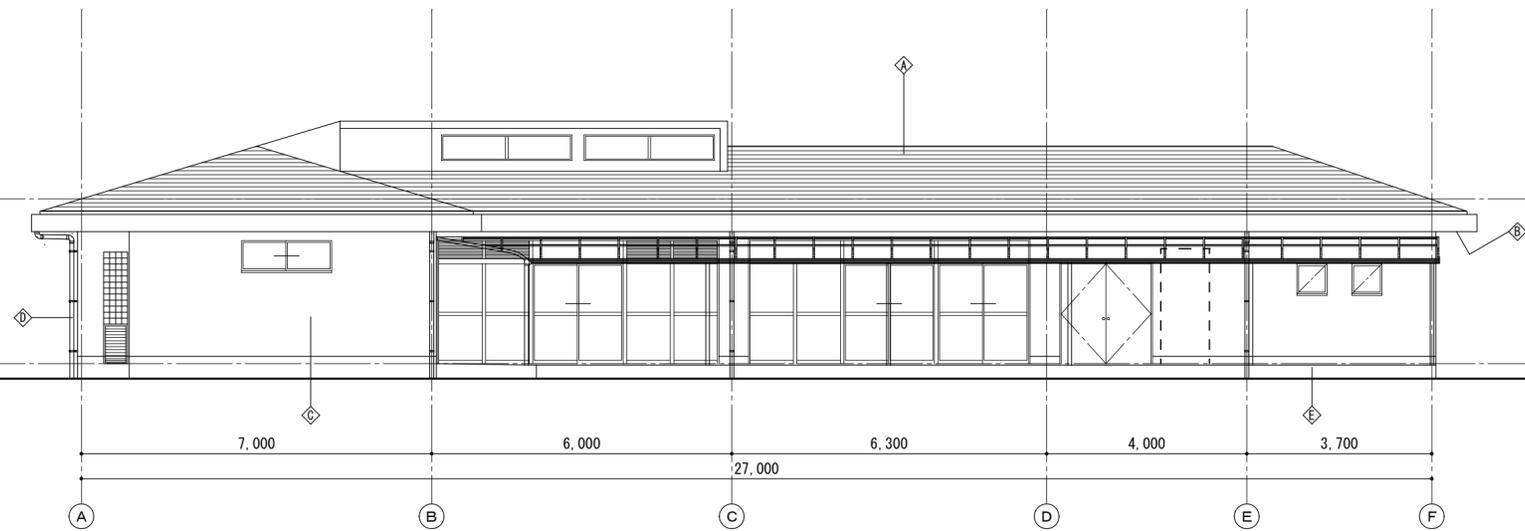
A-11  
原図：A2



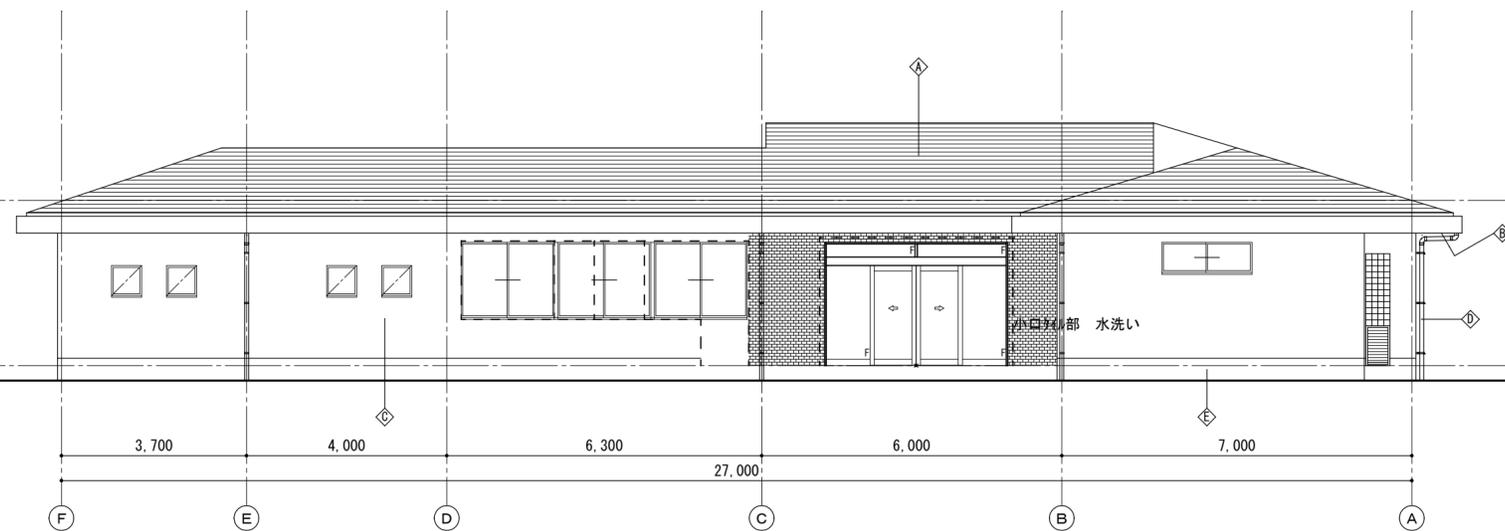
改修後東立面図 S=1:100



改修後西立面図 S=1:100



改修後北立面図 S=1:100



改修後南立面図 S=1:100

改修後外部仕上表	
◇	既設のまま(水洗い)
◇	素地ごしらえ(B種)の上 EP塗
◇	ひび割れ補修(Uカットシール充填工法)
◇	高圧洗浄後下地調整の上複数塗材E吹付(凹凸模様)
◇	縦樋:EP塗に塗替え
◇	既設のまま

※外壁補修施工前に全面調査を実施し、監督員と協議の上、施工数量を決定する。

memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1:100

drawing title  
改修後立面図

project title  
旧津市河芸プール管理棟改修工事

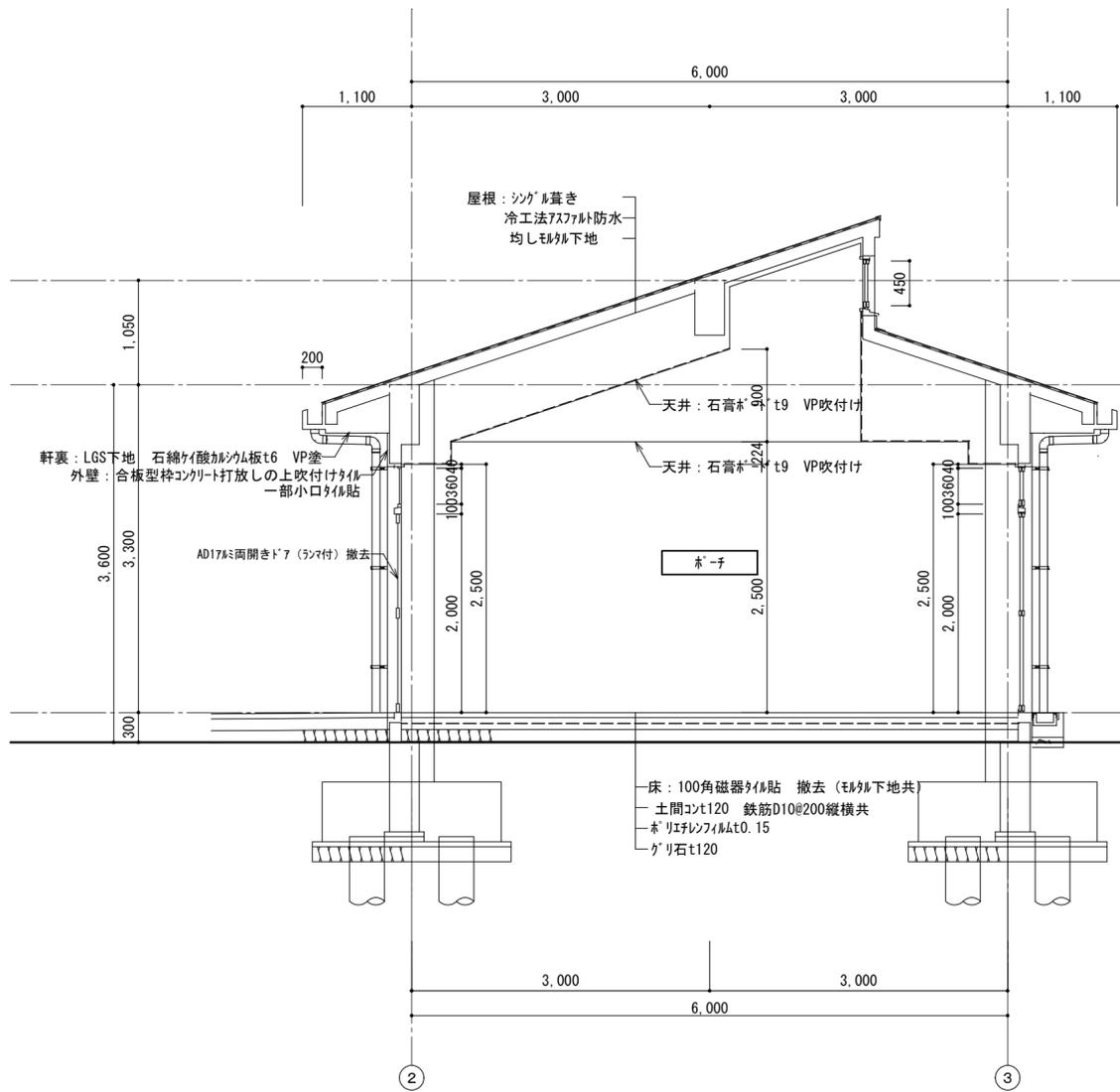
Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

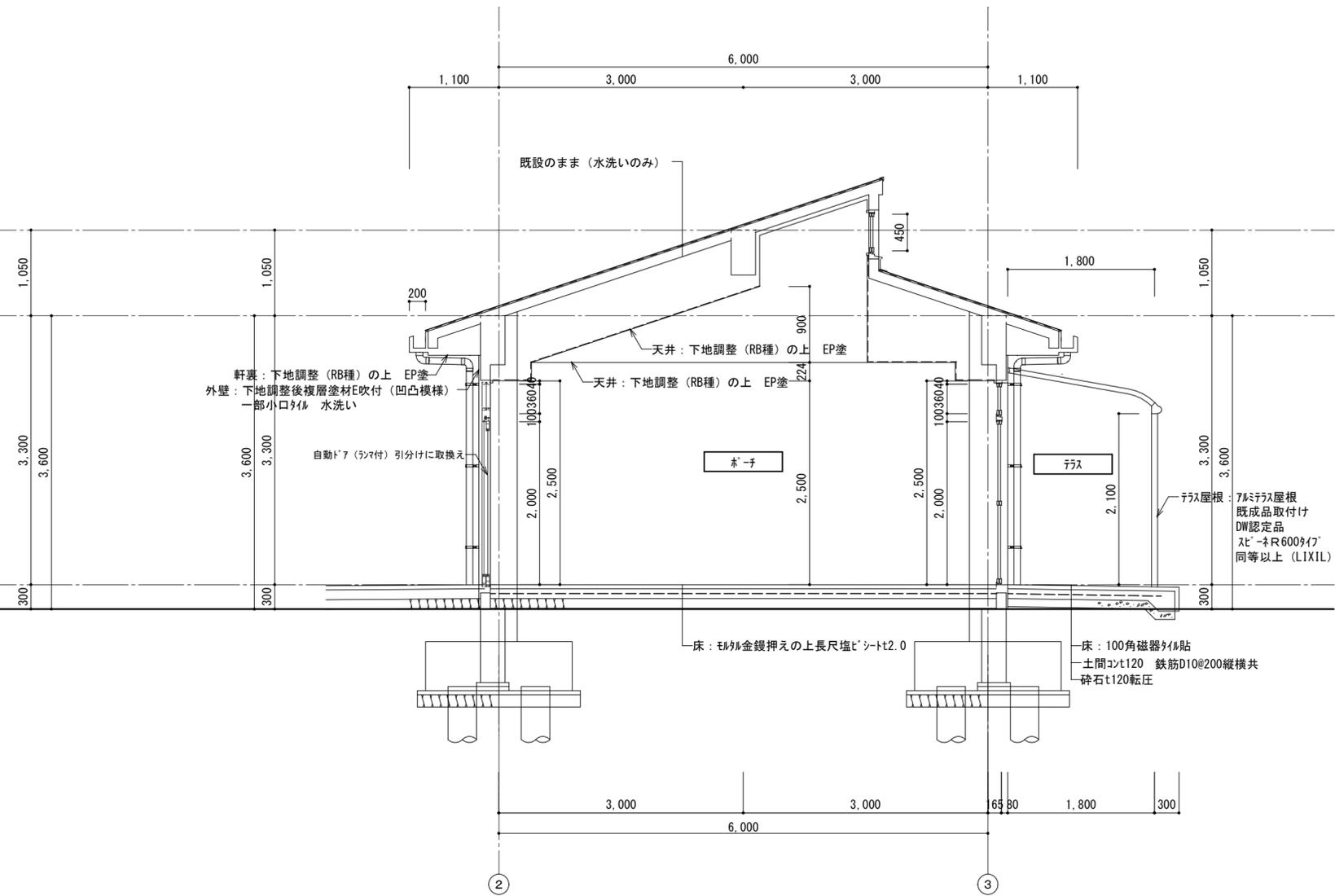
drawing no.

sheet no.

A-12  
原図: A2



短計図 (改修前) S=1:50



短計図 (改修後) S=1:50

memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1:50

drawing title  
短計図 (改修前、改修後)

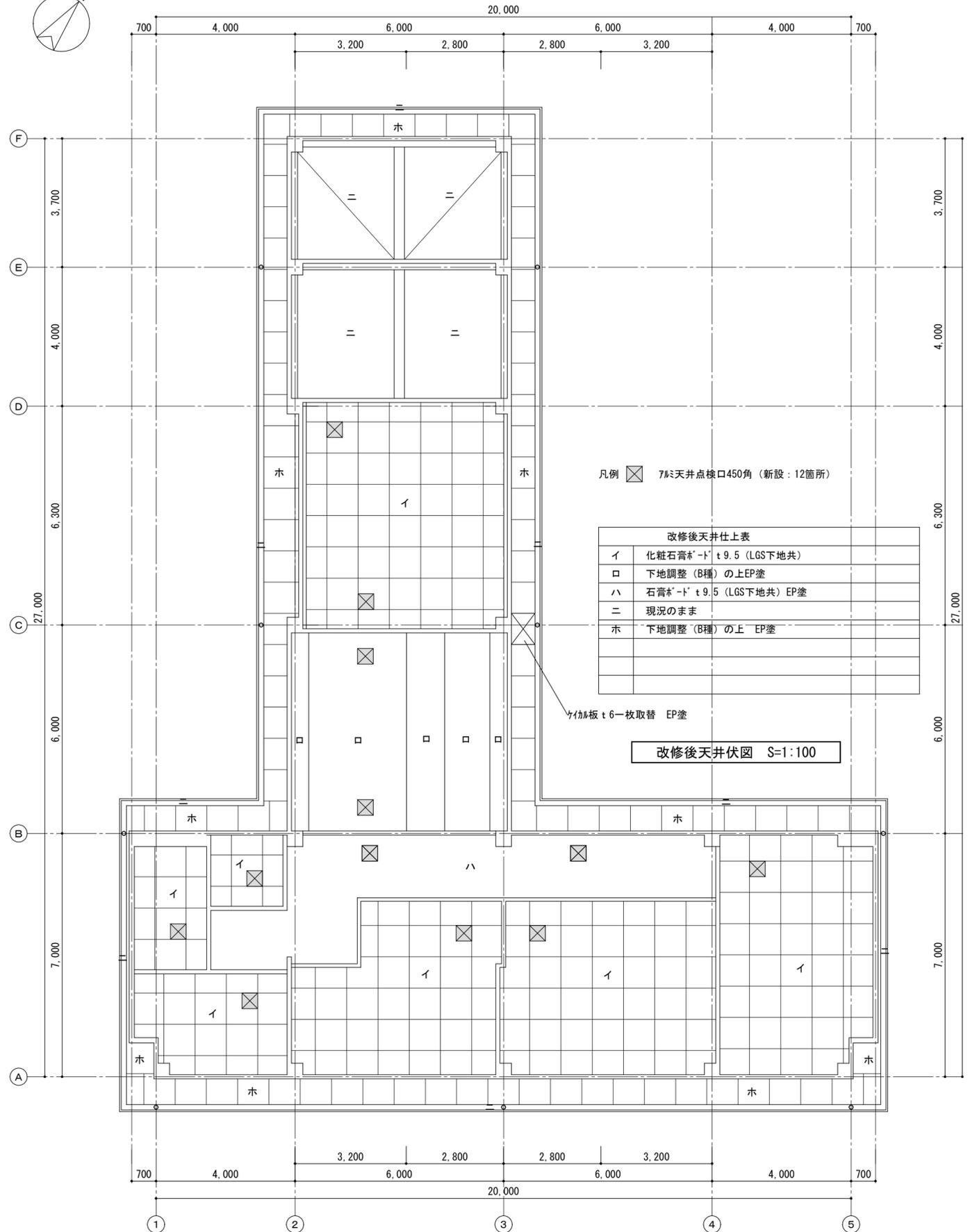
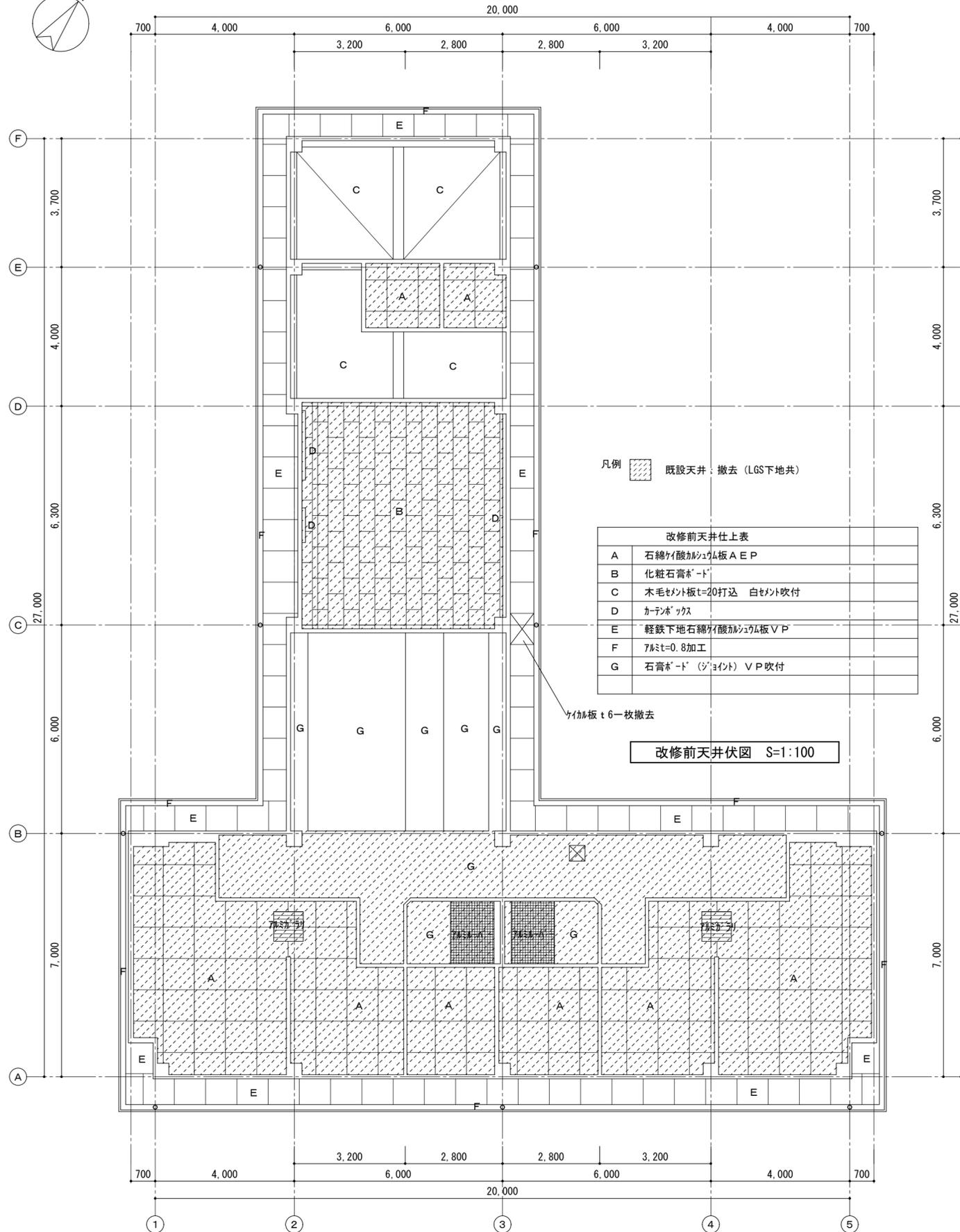
project title  
旧津市河芸プール管理棟改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

sheet no.  
A-13  
原図: A2



memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1:100

drawing title  
改修前、後天井伏図

project title  
旧津市河芸プール管理棟改修工事

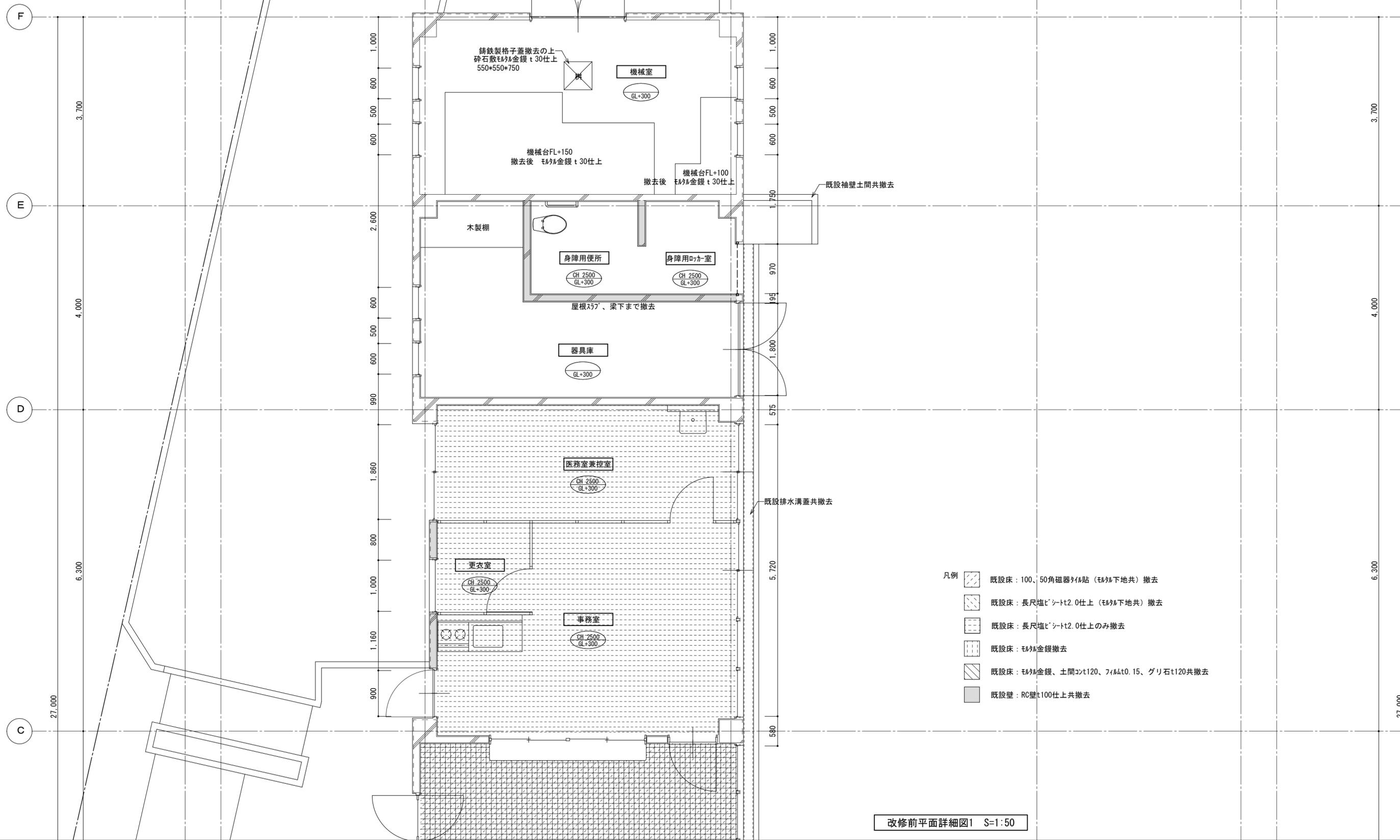
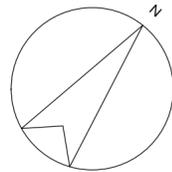
Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士：山田 賢治

drawing no.

sheet no.

A-14  
原図：A2



memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1:30

drawing title  
改修前平面詳細図1

project title  
旧津市河芸プール管理棟改修工事

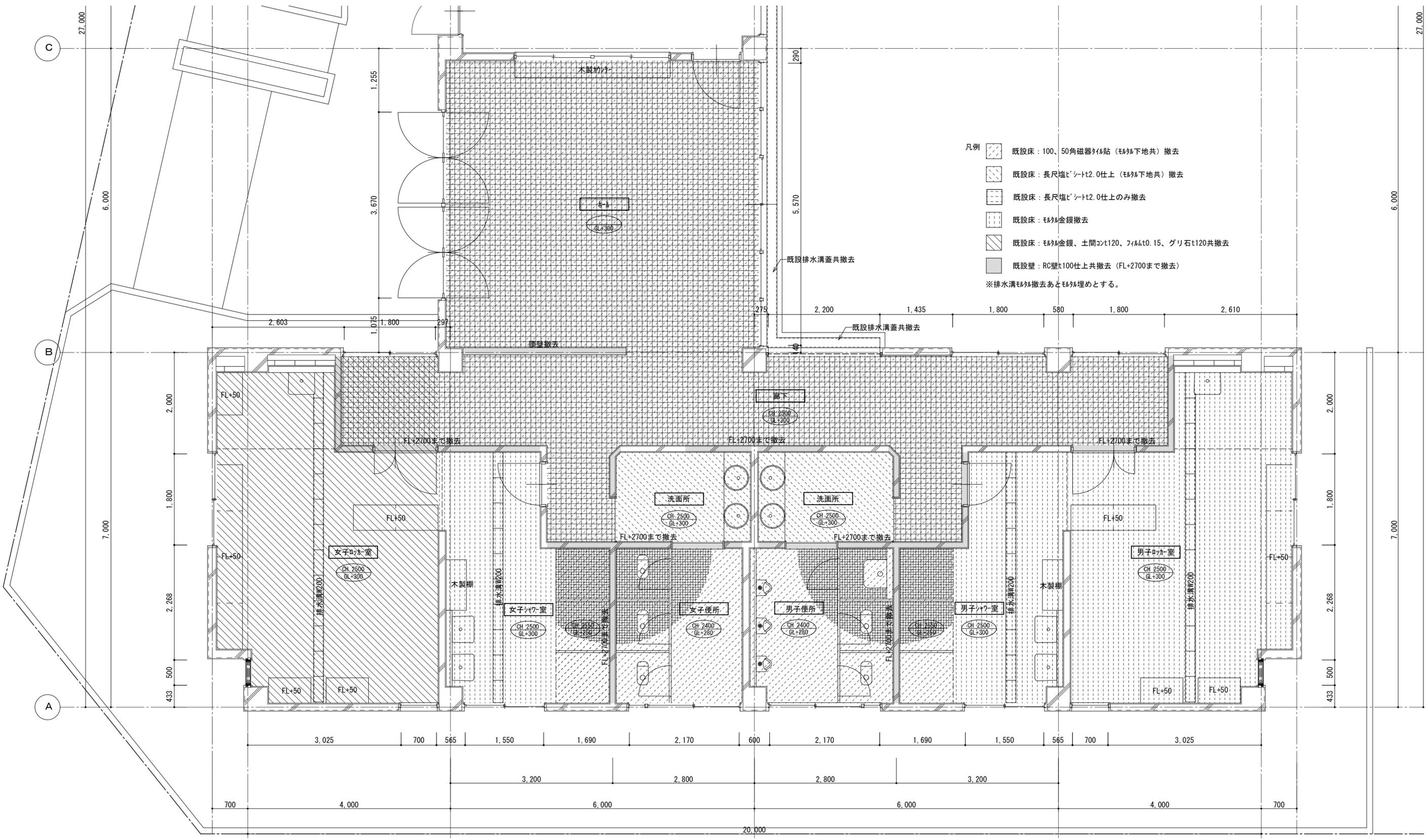
Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士：山田 賢治

drawing no.

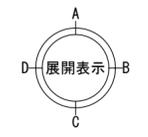
sheet no.

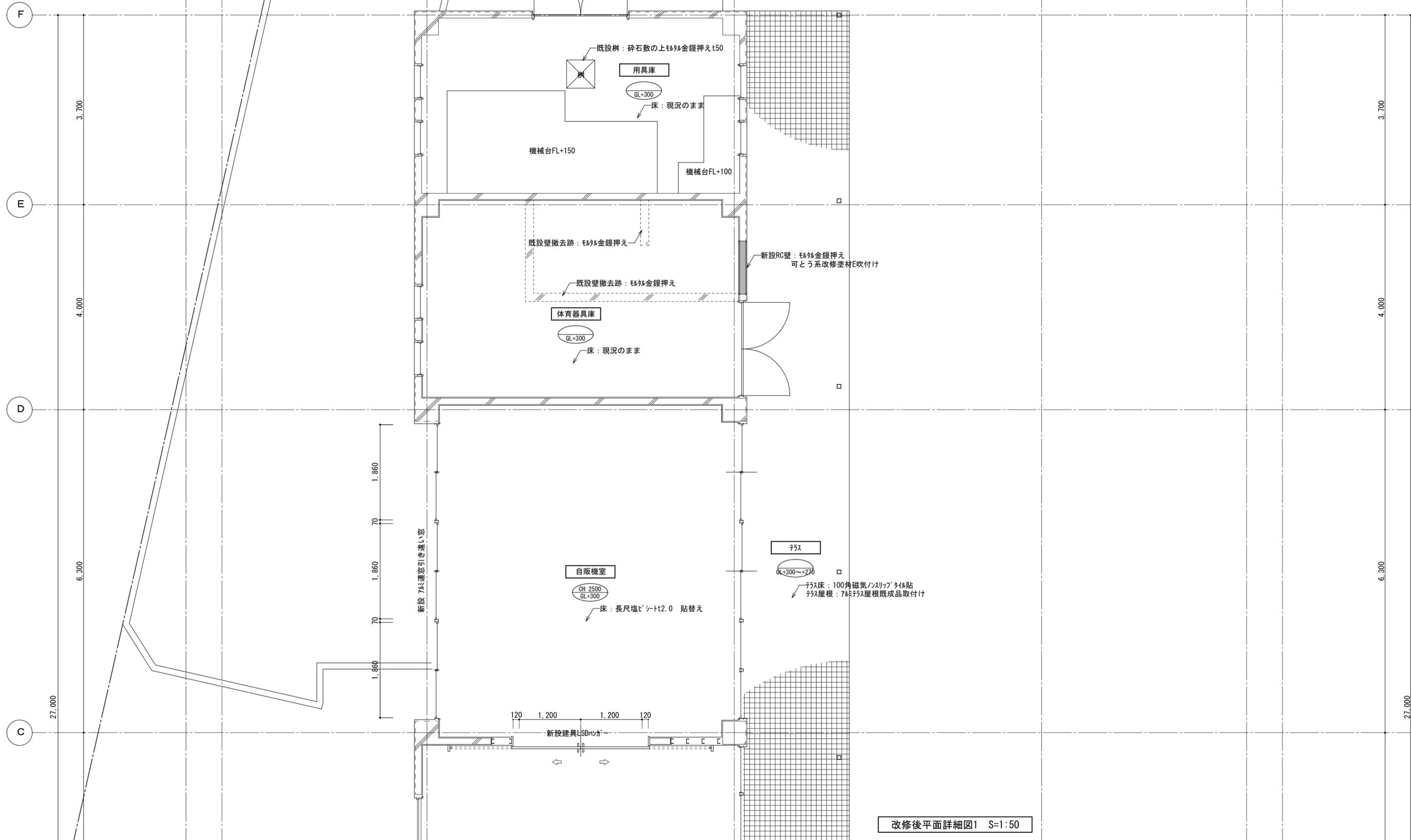
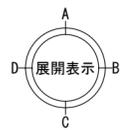
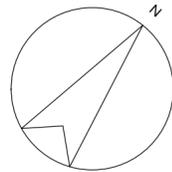
A-15  
原図：A2



- 凡例
- 既設床：100、50角磁器タイル貼（モルタル下地共）撤去
  - 既設床：長尺塩ビシート2.0仕上（モルタル下地共）撤去
  - 既設床：長尺塩ビシート2.0仕上のみ撤去
  - 既設床：モルタル金銀撤去
  - 既設床：モルタル金銀、土間コンクリート120、フィルム0.15、グリ石120共撤去
  - 既設壁：RC壁t100仕上共撤去（FL+2700まで撤去）
- ※排水溝も撤去あとモルタル埋めとする。

改修前平面詳細図2 S=1:50





改修後平面詳細図1 S=1:50

memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1:50

drawing title  
改修後平面詳細図1

project title  
旧津市河芸プール管理棟改修工事

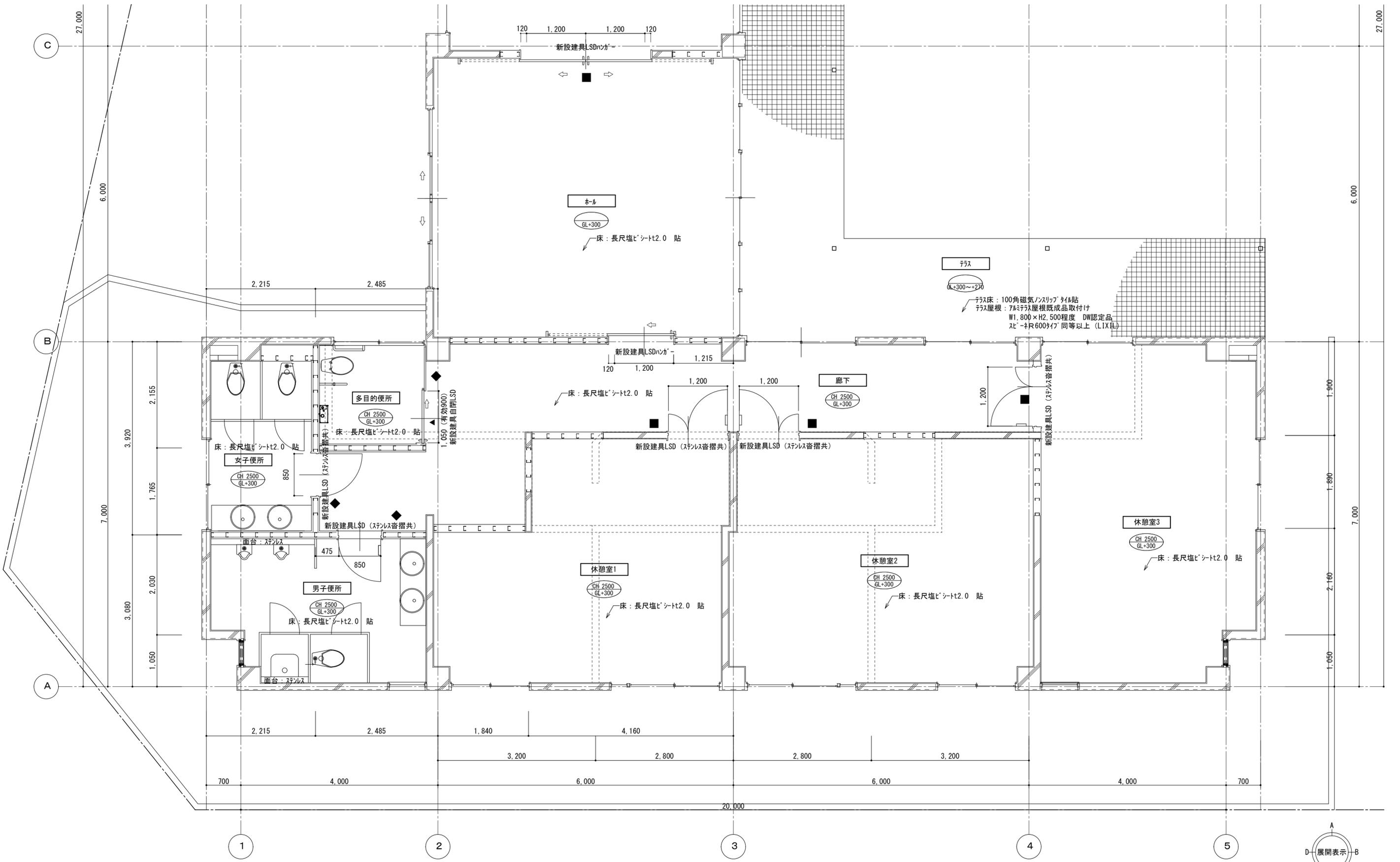
Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

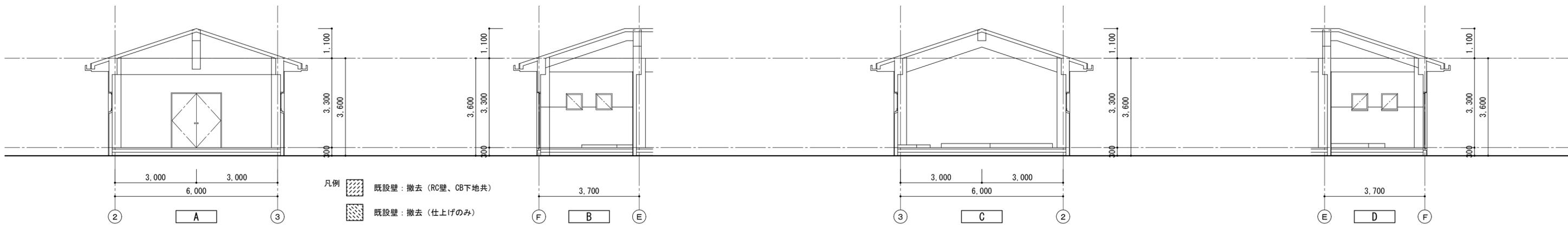
sheet no.

A-17  
原図: A2

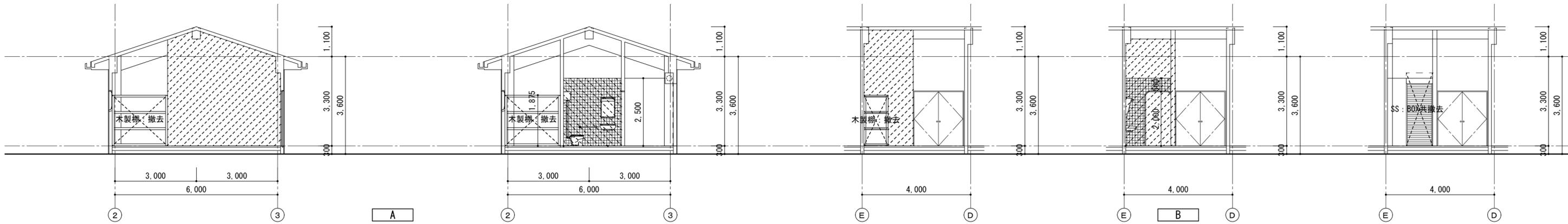


改修後平面詳細図2 S=1:50

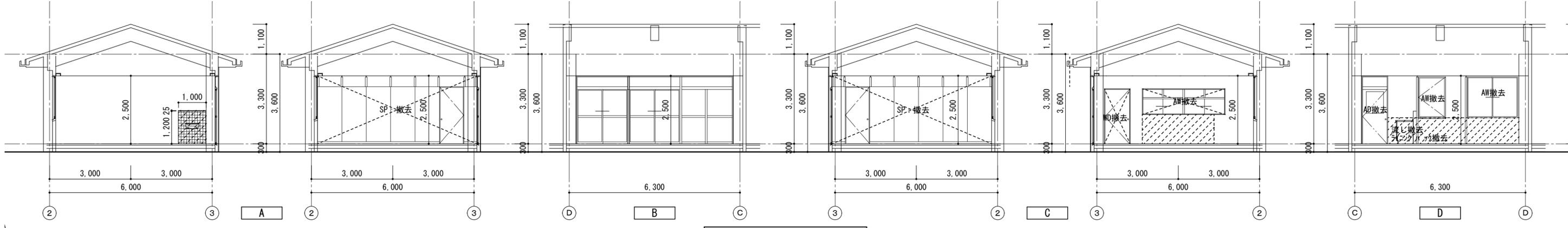
- 凡例
- : 室名札 (平付 7カド 250 x 80)
  - ◆ : ビトサイン (平付 7カド 200 x 200 絵付)



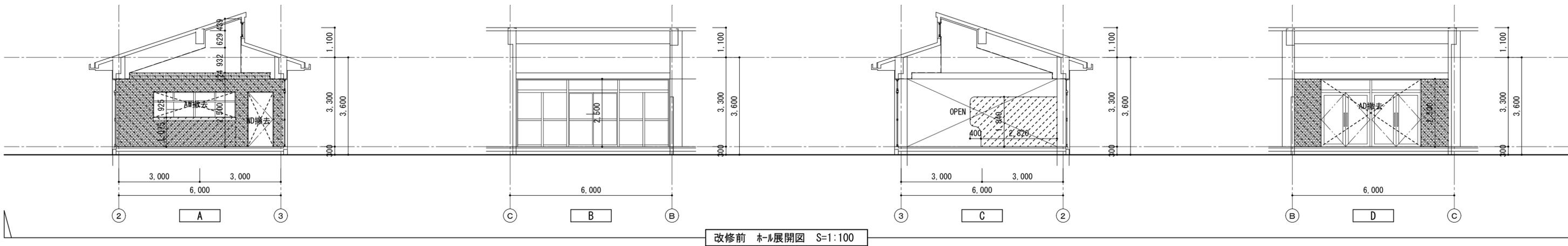
改修前 機械室展開図 S=1:100



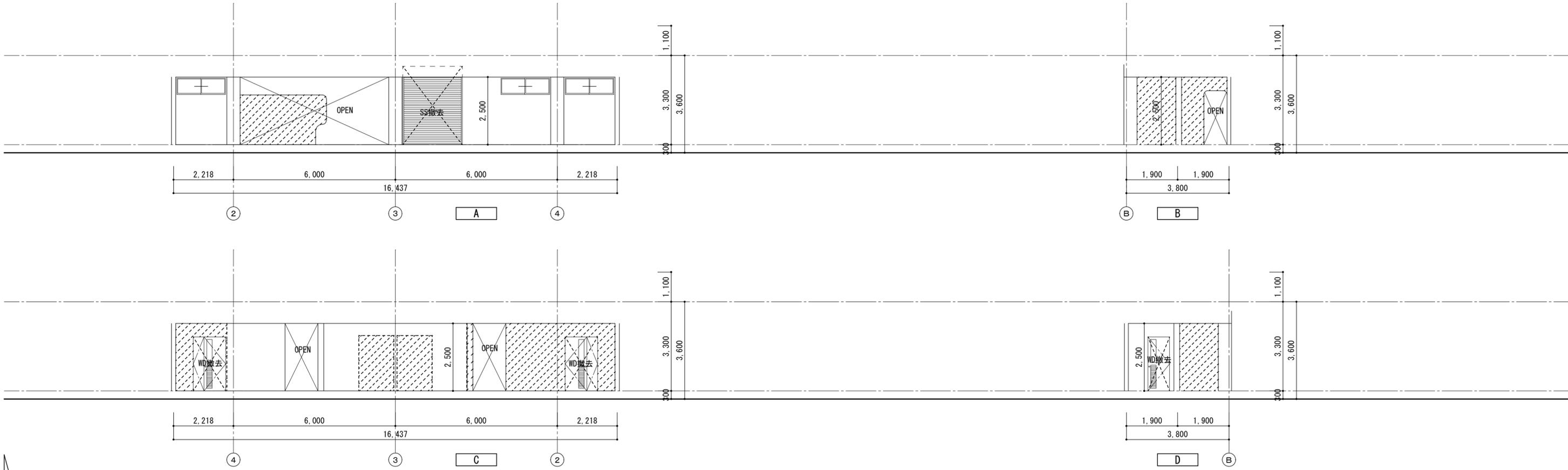
改修前 器具庫、身障用便所、身障用ロッカ室展開図 S=1:100



改修前 事務室展開図 S=1:100



改修前 ホール展開図 S=1:100



改修前 廊下展開図 S=1:100

- 凡例
- 既設壁：撤去（RC壁、CB下地共）
  - 既設壁：撤去（仕上げのみ）

memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1:100

drawing title  
改修前展開図2

project title  
旧津市河芸プール管理棟改修工事

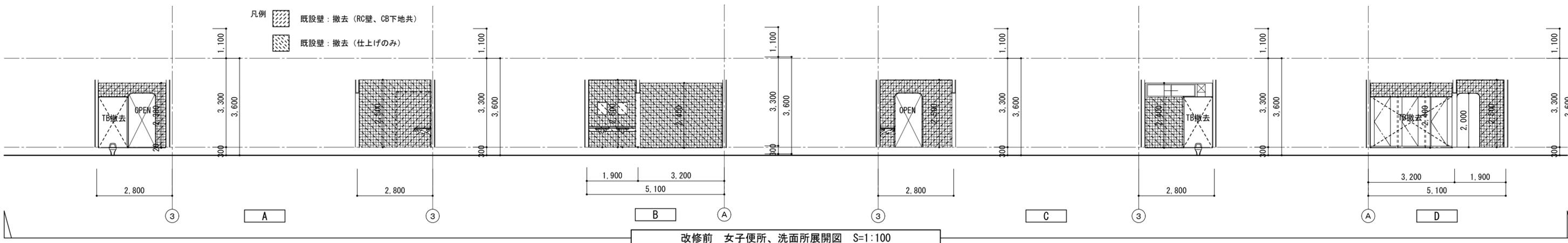
Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士：山田 賢治

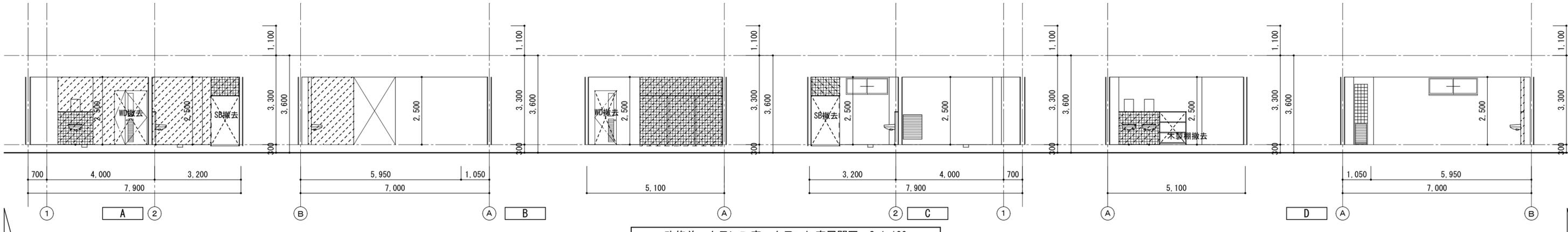
drawing no.

sheet no.

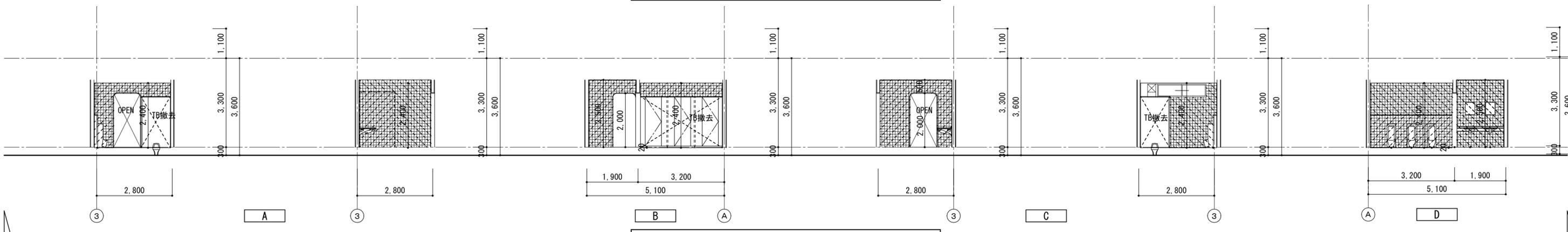
A-20  
原図：A2



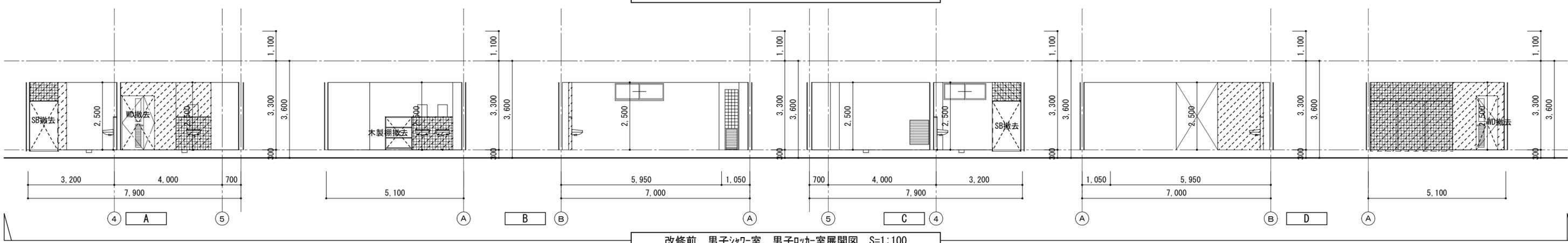
改修前 女子便所、洗面所展開図 S=1:100



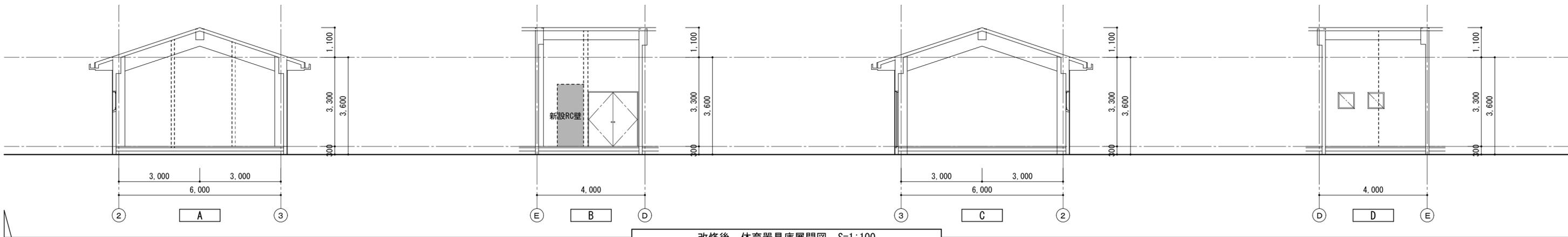
改修前 女子シャワー室、女子ロッカ室展開図 S=1:100



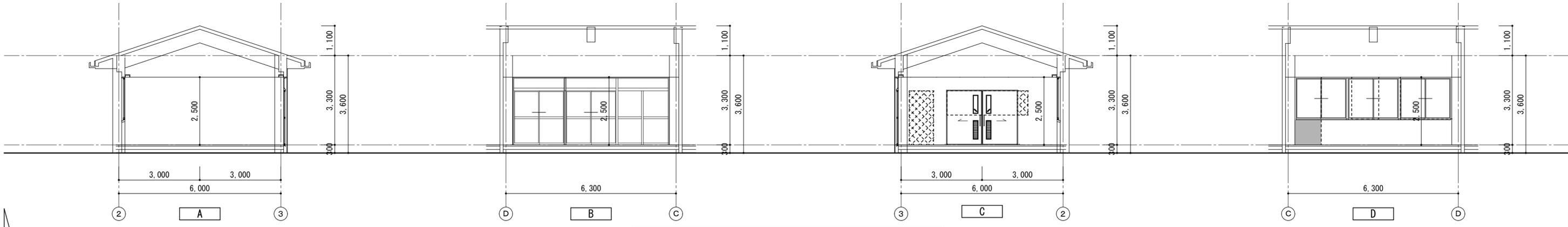
改修前 男子便所、洗面所展開図 S=1:100



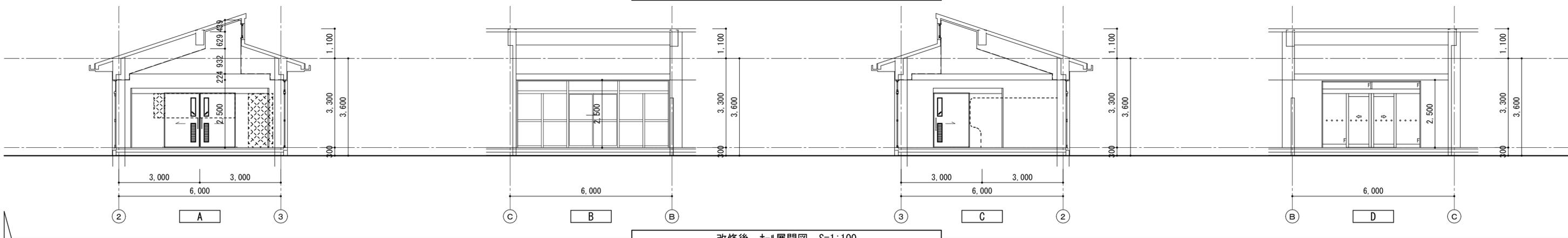
改修前 男子シャワー室、男子ロッカ室展開図 S=1:100



改修後 体育器具庫展開図 S=1:100



改修後 自販機室展開図 S=1:100



改修後 ホール展開図 S=1:100

- 凡例
-  新設壁：LGS100 $\times$ 110 $\times$ 15両面
  -  新設壁：RCt120外部 $\times$ 110 $\times$ 15両面

memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1:100

drawing title  
改修後展開図1

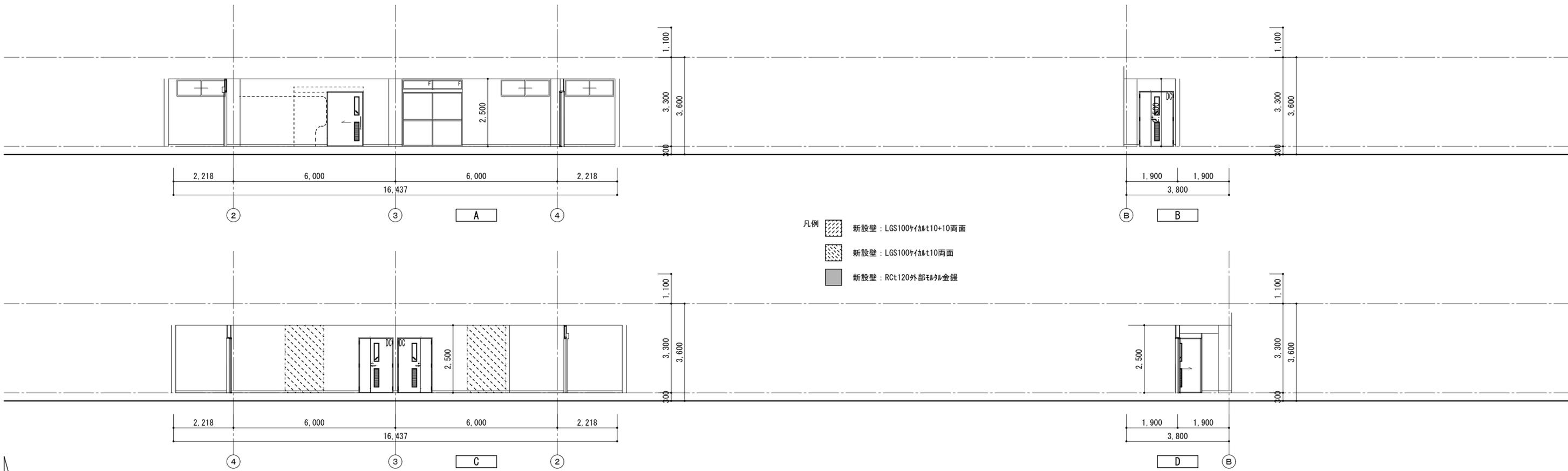
project title  
旧津市河芸プール管理棟改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

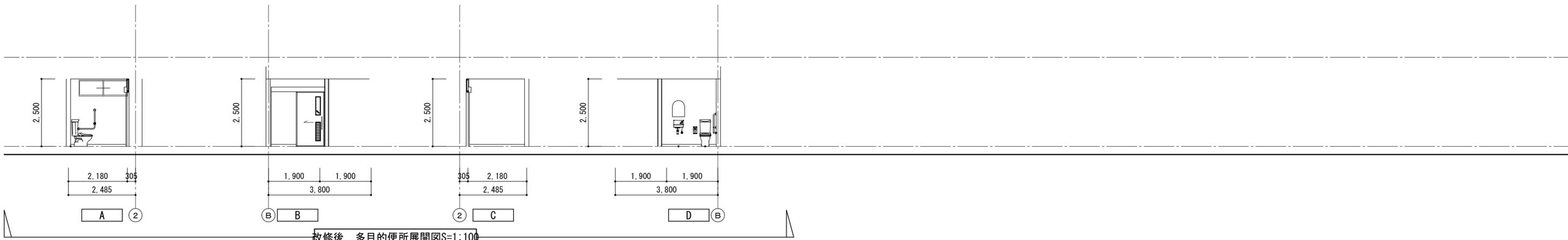
一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士：山田 賢治

drawing no.

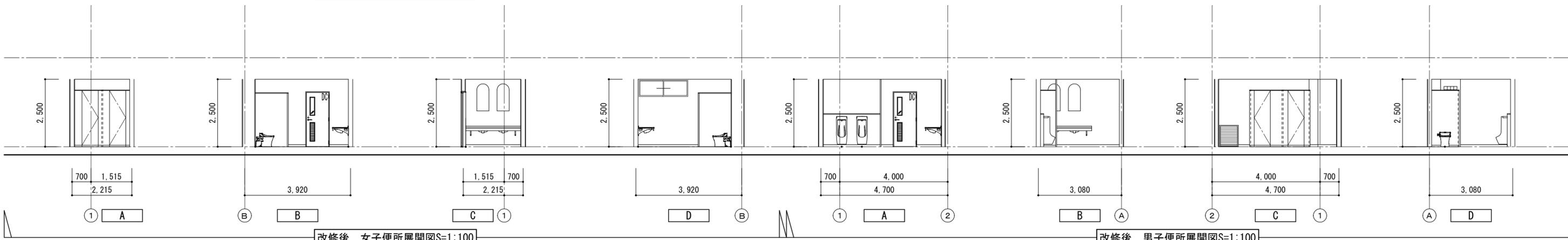
sheet no.  
A-22  
原図：A2



改修後 廊下展開図 S=1:100



改修後 多目的便所展開図S=1:100



改修後 女子便所展開図S=1:100

改修後 男子便所展開図S=1:100

memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1:100

drawing title  
改修後展開図2

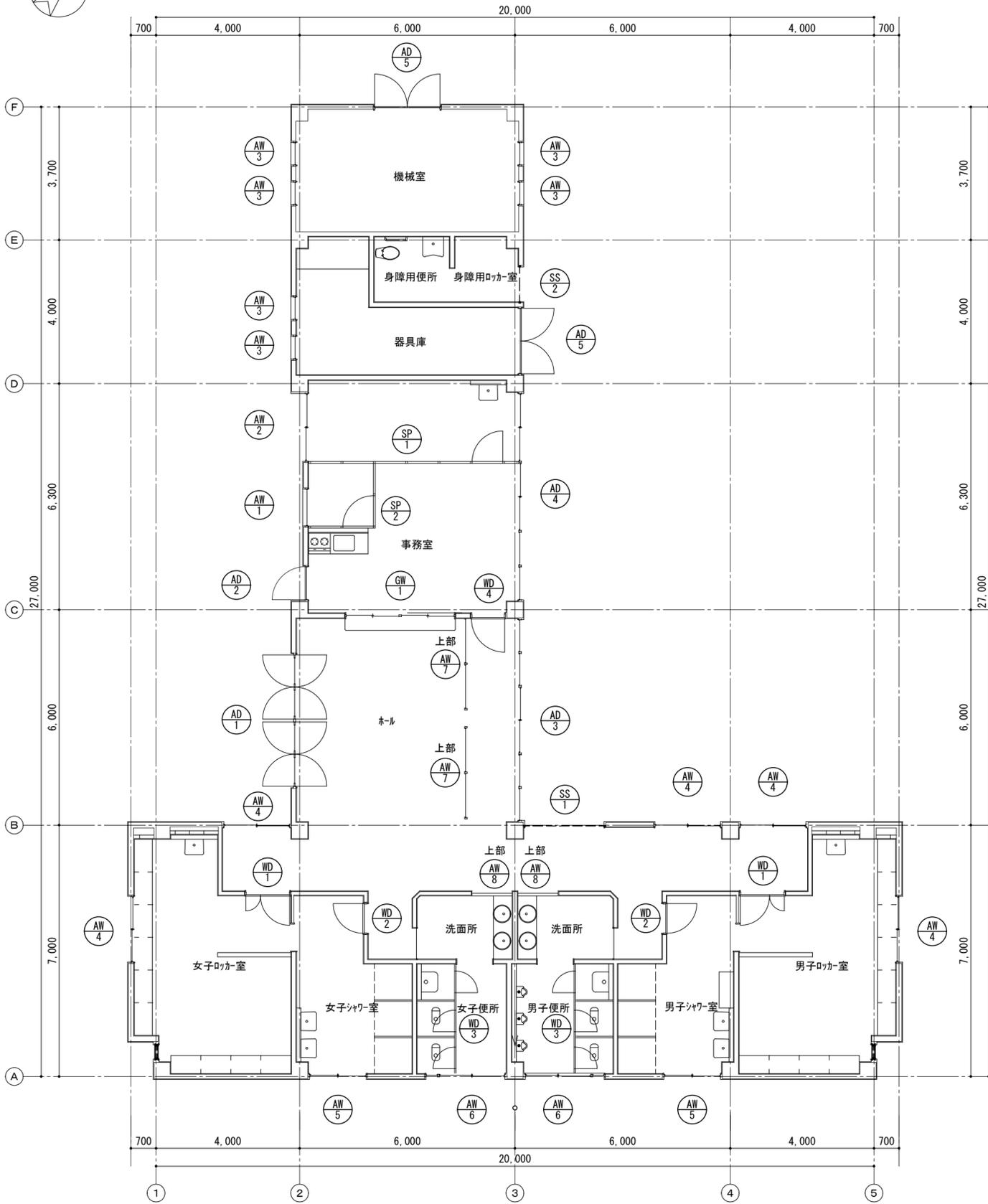
project title  
旧津市河芸プール管理棟改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

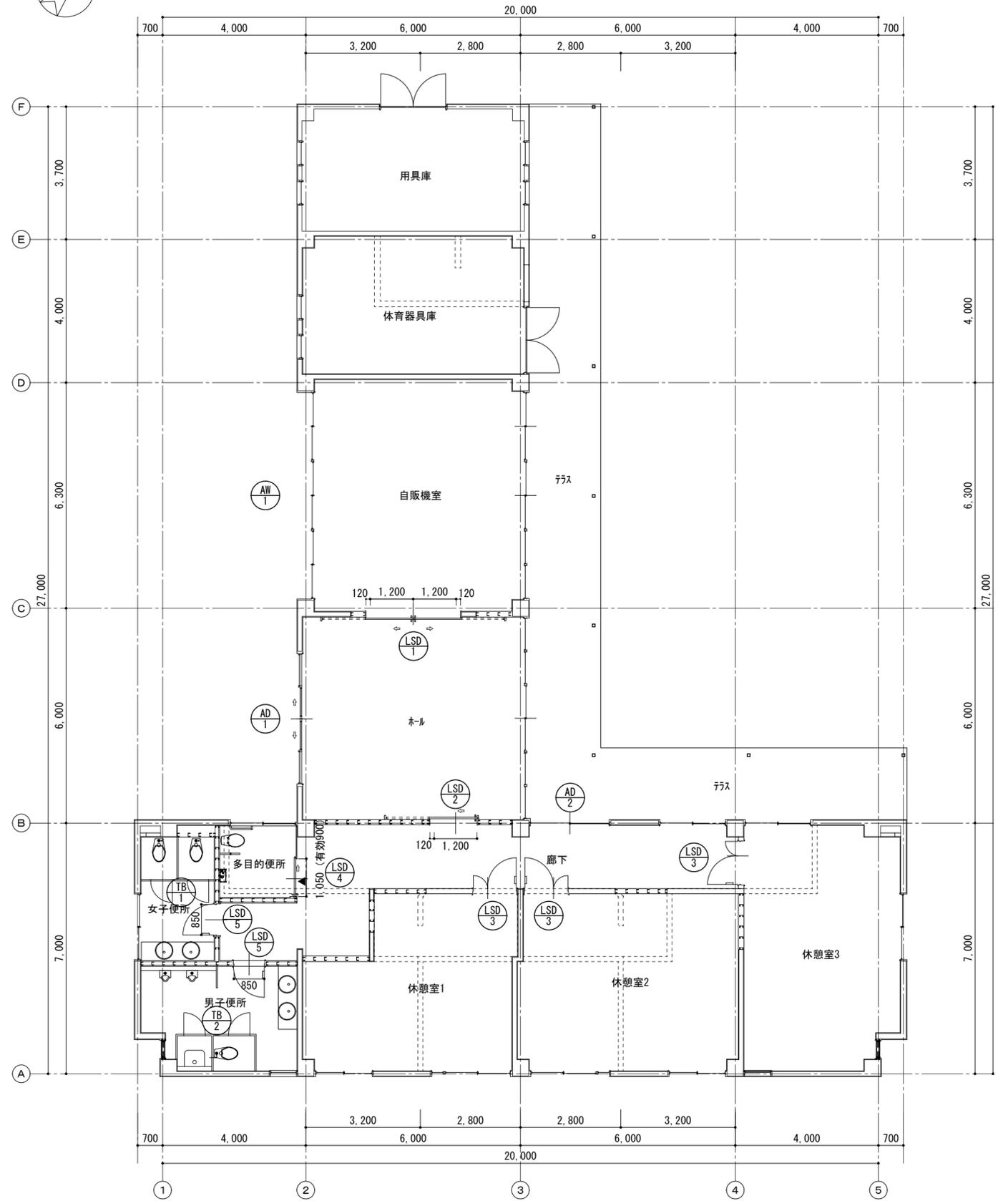
一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

sheet no.  
A-23  
原図: A2



改修前建具表キープラン S=1:100



改修後建具表キープラン S=1:100

memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1:100

drawing title  
改修前、後建具表キープラン

project title  
旧津市河芸プール管理棟改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

sheet no.  
A-24  
原図: A2

記号・数量	AD1 × 1	AD2 × 1	AD3 × 1 AD4 × 1	AD5 × 2	SS1 × 1	SS2 × 1
形状	※撤去 	※撤去 	※木製額縁SOP塗替えのみ 素地ごしらえ (B種) 共 	※木製額縁SOP塗替えのみ 素地ごしらえ (B種) 共 	※撤去 	※撤去 
場所	ホール	事務室	ホール・事務室	器具庫・機械室	ホール	身障者用ロッカー室
形式	7mm両開きドア (ランマ付)	7mm片開きドア (ランマ付)	7mm嵌殺し窓付引き違い戸 (ランマ袖付)	7mm両開きドア	軽量スリリングシャッター	軽量スリリングシャッター
見込	100	70	70	70		
材質・仕上	7mmシルバー	7mmシルバー	7mmシルバー	7mmシルバー	塩ビ鋼板	塩ビ鋼板
硝子	線入りトメイガラス t=6.8 Fix: トメイガラス t=3	Fix: トメイガラス t=3 額: 型板ガラス t=4	下部: 網入り型板ガラス t=6.8 上部: トメイガラス t=5 ランマ: トメイガラス t=3	スリリング-錠付握玉、ドアチェック、丁番、フラス落し 他一式	ガイドレール (ステンレス)	ガイドレール (ステンレス)
金物	フアベジ、フラス落とし、押棒、スリリング-錠 他一式	スリリング-錠付握玉、ドアチェック、丁番 他一式	クレセント、アングルヒール 他一式 (AD-3のみ施錠付)	スリリング-錠付握玉、ドアチェック、丁番、フラス落し 他一式		
備考			( )内はAD-4を示す (AD-4のFixは左側1,860のみ・引違ドアは右側2ヶ所)		スラット=0.6mm	スラット=0.6mm
記号・数量	AW1 × 1	AW2 × 1	AW3 × 6	AW4 × 5	AW5 × 2	AW6 × 2
形状	※撤去 	※撤去 	※木製額縁SOP塗替えのみ 素地ごしらえ (B種) 共 	※木製額縁SOP塗替えのみ 素地ごしらえ (B種) 共 	※木製額縁SOP塗替えのみ 素地ごしらえ (B種) 共 	※木製額縁SOP塗替えのみ 素地ごしらえ (B種) 共 
場所	事務室	事務室	器具庫・機械室	ホール・男子ロッカー・女子ロッカー	男子シャワー室・女子シャワー室	男子便所・女子便所
形式	7mm片開き窓	7mm引違窓	7mm滑り出し窓	7mm引違窓	7mm引違窓	7mm引違窓
見込	70	70	70	70	70	70
材質・仕上	7mmシルバー	7mmシルバー	7mmシルバー	7mmシルバー	7mmシルバー	7mmシルバー
硝子	トメイガラス t=3	トメイガラス t=3	型板ガラス t=4	型板ガラス t=4	型板ガラス t=4	型板ガラス t=4
金物	ハンドルA、アングルヒール、7mm水切 他一式	クレセント、アングルヒール、7mm水切 他一式	カムラッチ、アムストップ、アングルヒール、7mm水切 他一式	クレセント、アングルヒール、7mm水切 他一式	クレセント、アングルヒール、7mm水切 他一式	クレセント、アングルヒール、7mm水切 他一式
備考						
記号・数量	AW7 × 2	AW8 × 2	GW1 × 1			
形状	※木製額縁SOP塗替えのみ 素地ごしらえ (B種) 共 	※既設のまま 	※撤去 			
場所	ホール	男子洗面所、女子洗面所	事務室			
形式	7mm嵌殺し窓	7mm嵌殺し窓	両引きガラス窓			
見込	70	70	50			
材質・仕上	7mmシルバー	7mmシルバー	枠: ステンレスヘアイン仕上			
硝子	線入りトメイガラス t=6.8	線入りトメイガラス t=6.8	トメイガラス t=5 ランマ: トメイガラス t=3			
金物	アングルヒール、7mm水切 他一式	アングルヒール、7mm水切 他一式	ソバシール、カウンター窓用錠			
備考						

■memo

■check  
client  
architect  
contractor

■scale  
S=1:100

■drawing title  
改修前建具表1

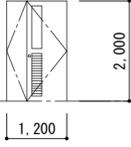
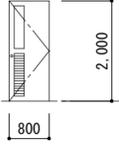
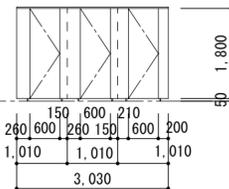
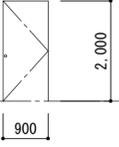
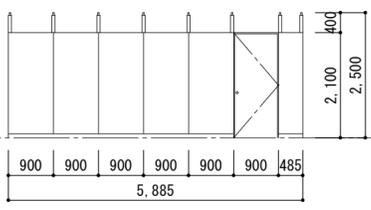
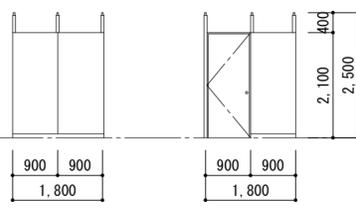
■project title  
旧津市河芸プール管理棟改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

■drawing no.

■sheet no.  
A-25  
原図: A2

記号・数量	WD 1 × 2	WD 2 × 2	WD 3 × 2	WD 4 × 1		
形状	※撤去 	※撤去 	※撤去 	※撤去 		
場所	男子ロッカ-室・女子ロッカ-室	男子シャ-室・女子シャ-室	男子便所・女子便所	事務室		
形式	木製親子両開き戸 (額・カ-リ付)	木製片開き戸 (額・カ-リ付)	トイレ-ス	木製片開き戸		
見込	40	40	40	40		
材質・仕上	ホ-リエステル化粧板フラッシュ	ホ-リエステル化粧板フラッシュ	ホ-リエステル化粧板フラッシュ	ホ-リエステル化粧板フラッシュ		
硝子	型板ガラス=4	型板ガラス=4				
金物	ヒホ-ットピン、ド-アヒック、シリン-錠付握玉、戸当り 他一式	ヒホ-ットピン、ド-アヒック、シリン-錠付握玉、戸当り 他一式	ラ-ド-リピン、標示付ラ-チ錠、頭カ-ギ、脚金物 他一式	ヒホ-ットピン、ド-アヒック、シリン-錠付握玉、戸当り 他一式		
備考						
記号・数量	SP 1 × 1		SP 2 × 1			
形状	※撤去 		※撤去 			
場所	事務室		事務室			
形式	スチ-ル-ーション (上部オ-ブン)		スチ-ル-ーション (上部オ-ブン)			
見込	60・ド-ア36		60・ド-ア36			
材質・仕上	スチ-ル 黒=0.8		スチ-ル 黒=0.8			
硝子						
金物	ド-アヒック、握玉、ロック、戸当り 他一式		ド-アヒック、握玉、ロック、戸当り 他一式			
備考						
記号・数量						
形状						
場所						
形式						
見込						
材質・仕上						
硝子						
金物						
備考						

memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1:100

drawing title  
改修前建具表2

project title  
旧津市河芸プール管理棟改修工事



一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

sheet no.

A-26  
原図: A2

記号・数量	AD1 × 1 ※新設	AD2 × 1 ※新設	AW1 × 1 ※新設	LSD1 × 1 ※新設	LSD2 × 1 ※新設	LSD3 × 3 ※新設
形状						
場所	ホール	廊下	自販機室	自販機室	廊下	休憩室1、2、3
形式	自動ドア 一般スライド 扉ドア(1/2) 引き分け (はめ殺し段窓)	アルミ (ガラス付) 引き違い戸	アルミ連窓引き違い窓	鋼製軽量引分けハンガードア	鋼製軽量引分けハンガードア	鋼製軽量親子ドア
見込	100	70	70	ドア見込: 40	ドア見込: 40	ドア見込: 40
材質・仕上	アルミカー (ブロンズ)	アルミカー (ブロンズ)	アルミカー (ブロンズ)	化粧鋼板0.6 へーパ-コア芯	化粧鋼板0.6 へーパ-コア芯	化粧鋼板0.6 へーパ-コア芯
硝子	強化ガラスt6 (ランマ: 強化ガラスt4)	下部: 網入型板ガラスt=6.8 上部: トメイガラスt=5 ランマ: アルミガラス	トメイガラスt=5	強化型板ガラス 4mm	強化型板ガラス 4mm	強化型板ガラス 4mm
金物	エンジンユニット・下框本締り錠 センサ・補助センサ	クレセント、アングルヒールズ 他一式	クレセント、アングルヒールズ 他一式	サムターン、ステンレス引き棒、戸当り アルミガラス150X650、その他一式	サムターン、ステンレス引き棒、戸当り アルミガラス150X650、その他一式	据込本握付モロック、ドアコーザ-、旗丁番、戸当り アルミガラス150X650、ステン靴スリ、その他一式
備考						
記号・数量	LSD4 × 1 ※新設	LSD5 × 2 ※新設	TB1 × 1 ※新設	TB2 × 1 ※新設		
形状						
場所		女子便所、男子便所	女子便所	男子便所		
形式	鋼製軽量自閉片引戸	鋼製軽量片開ドア	トイレース	トイレース		
見込	ドア見込: 40	ドア見込: 40	40	40		
材質・仕上	化粧鋼板0.6 へーパ-コア芯	化粧鋼板0.6 へーパ-コア芯	ガラス化粧板 (へーパ-コア芯)	ガラス化粧板 (へーパ-コア芯)		
硝子	強化型板ガラス 4mm	強化型板ガラス 4mm				
金物	非常解錠付サムターン、ステンレス引き棒、戸当り アルミガラス150X540、その他一式	据込本握付モロック、ドアコーザ-、旗丁番、戸当り アルミガラス150X650、ステン靴スリ、その他一式	アルミエッジ、アルミ笠木 (カバー付)、ステンレス巾木H=60 ラバーヒンジ、内開きロック、その他一式	アルミエッジ、アルミ笠木 (カバー付)、ステンレス巾木H=60 ラバーヒンジ、内開きロック、その他一式		
備考						
記号・数量						
形状						
場所						
形式						
見込						
材質・仕上						
硝子						
金物						
備考						

■memo

■check  
client  
architect  
contractor

■scale  
S=1:100

■drawing title  
改修後建具表

■project title  
旧津市河芸プール管理棟改修工事

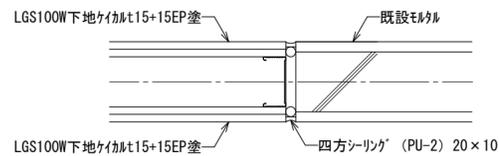


一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

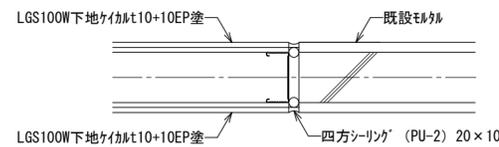
■drawing no.

■sheet no.  
A-27  
原図: A2

内壁取合い部 S=1:10

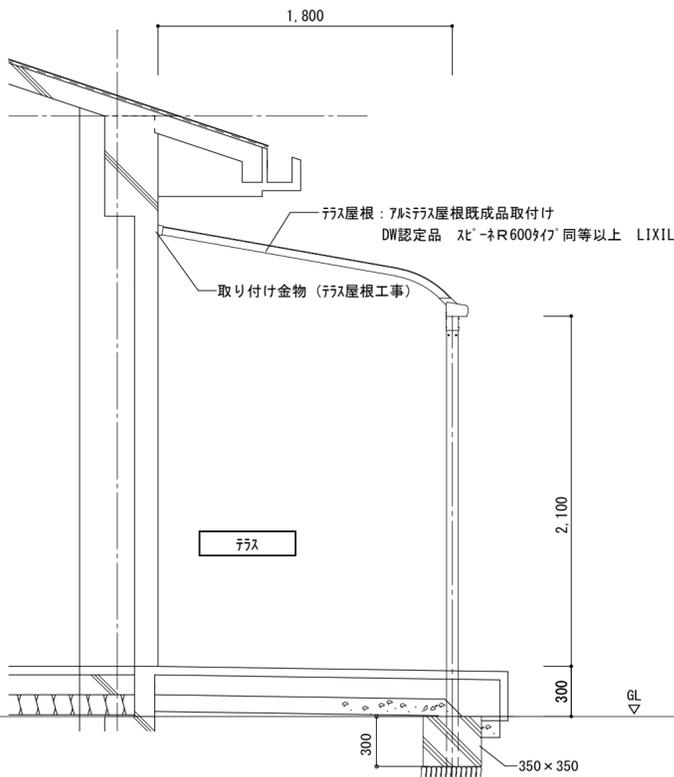


既設RC壁が t 120の場合

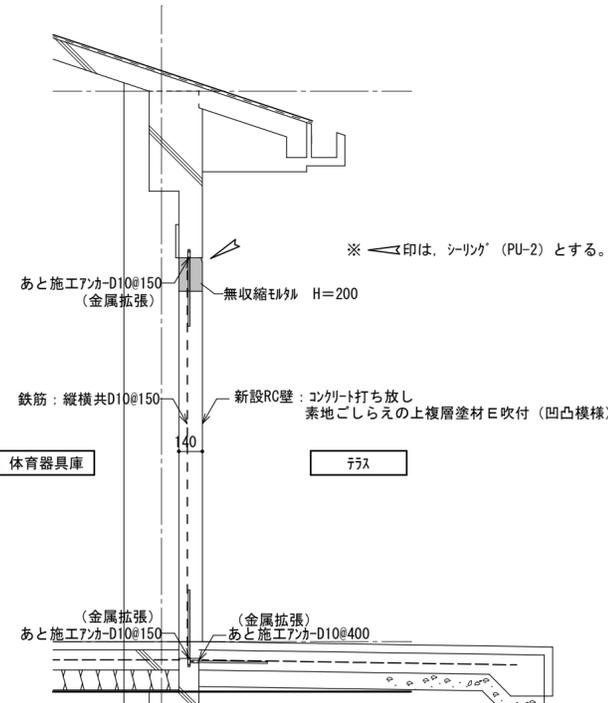
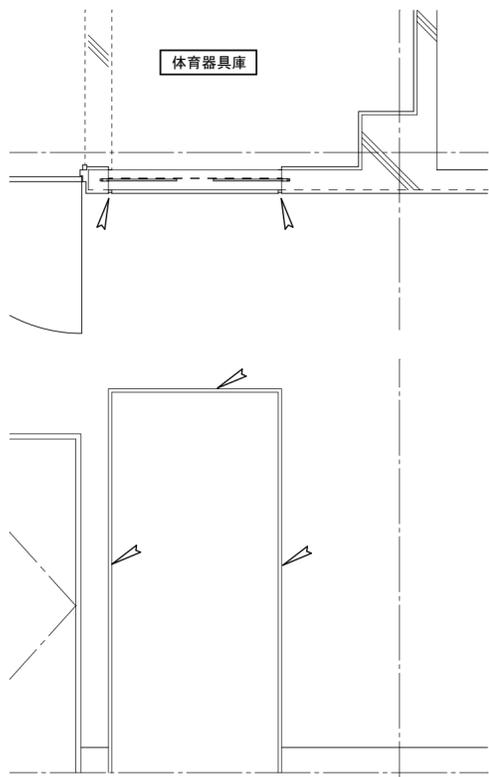


既設RC壁が t 100の場合

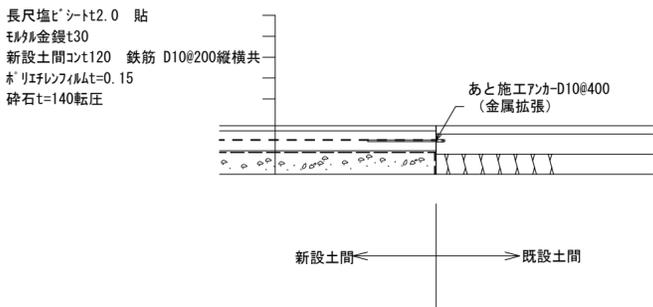
テラス屋根 S=1:30 (参考図)



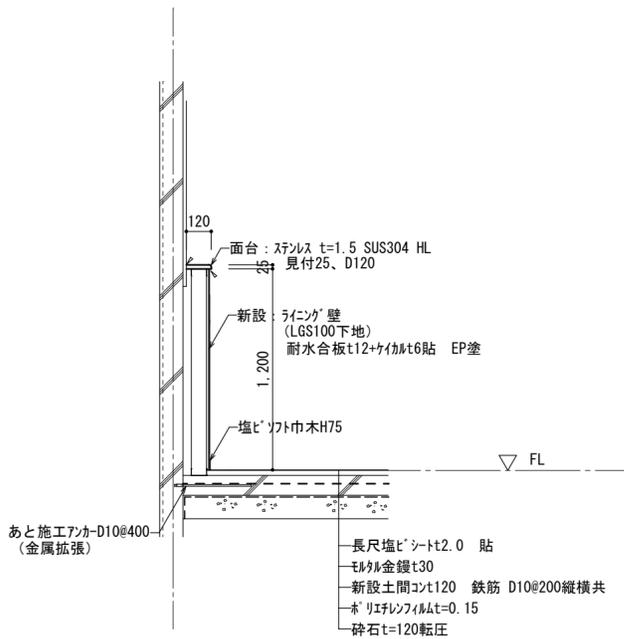
外壁取合い部 S=1:30 ※2通り@C-D軸間腰壁閉塞も同要領とする。



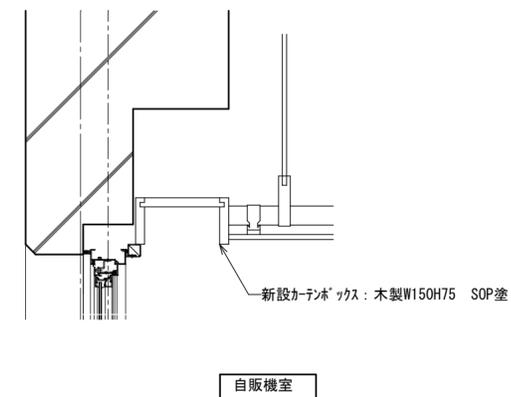
土間コン取合い部 S=1:30



面台詳細図 S=1:30

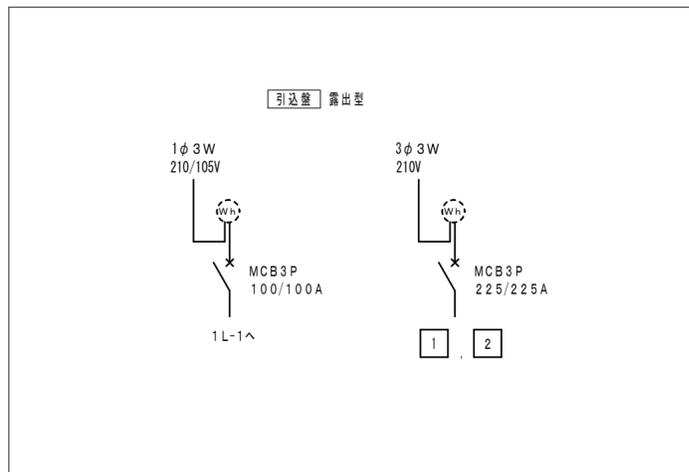
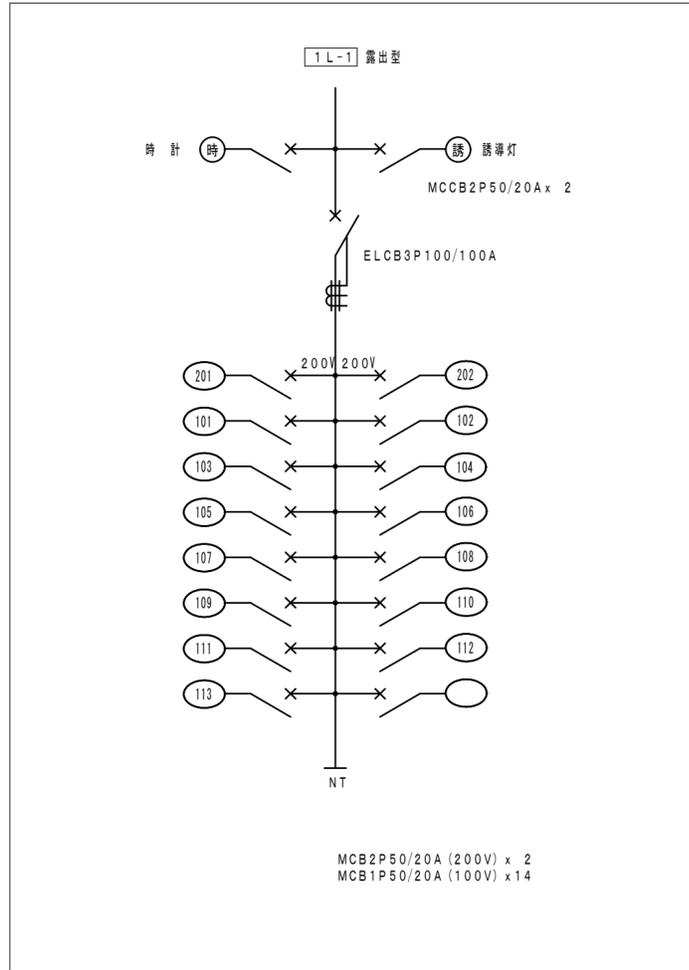


カーテンボックス詳細図 S=1:10

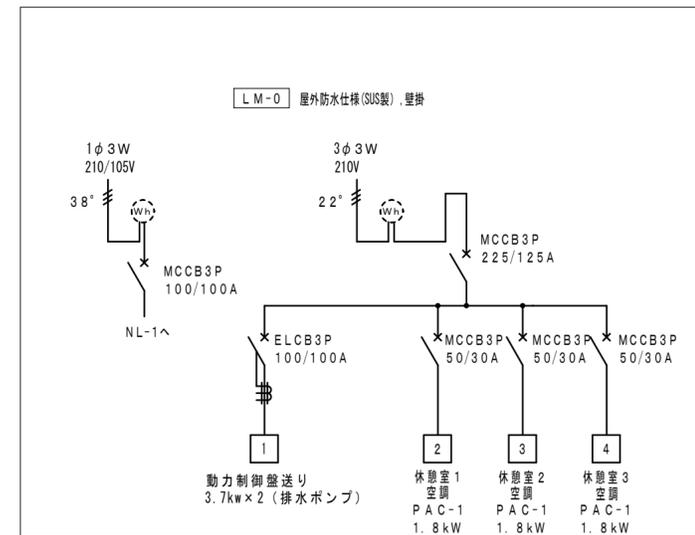
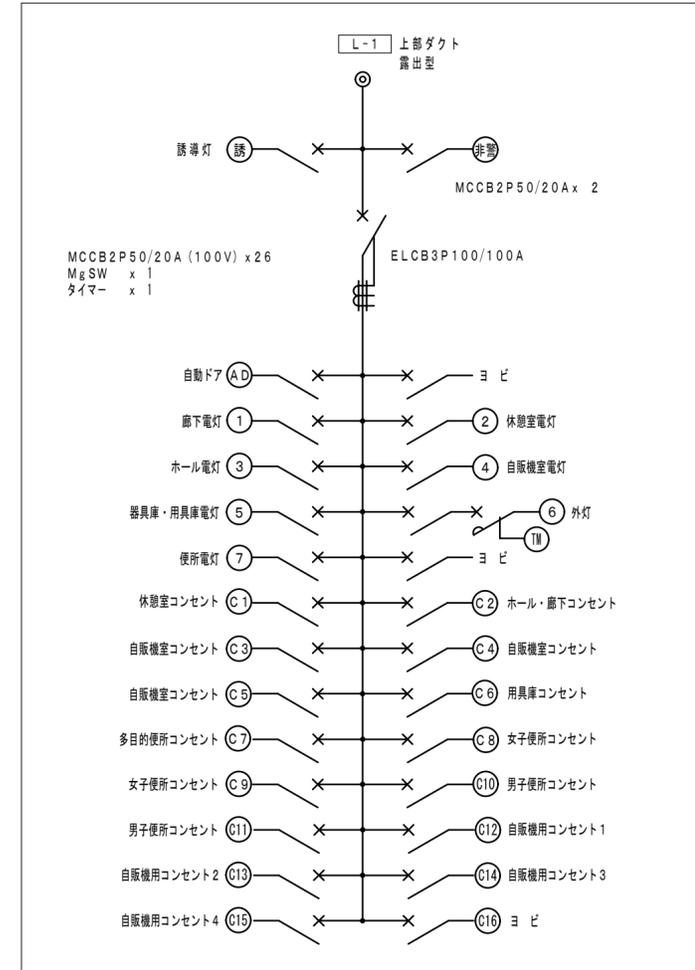




( 撤 去 )



( 新 設 )



memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1:100

drawing title  
盤図(新設、撤去)

project title  
旧津市河芸プール管理棟改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

sheet no.

E-2  
原図: A2

照明器具姿図

( 撤 去 )					
F 41	FL-40Wx1 (FSS3-401)	d 6	IL-60Wx1	B 21wP	FL-20Wx1
F 21	FL-20Wx1 (FSS-201)				
N 11	FL-10Wx1	N 41	FL-40Wx1	mw 6	IL-60Wx1
m 6	IL-60Wx1	HFB 10	HF-100Wx1 (パラストレス)		

( 新 設 )			
◇ A	LEDダウンライト 200形 FHT42形器具相当	◇ B	一体型ベースライト W150 Hf32Wx2
◇ C	LEDダウンライト 150形 FHT32形器具相当	◇ D	LDL20Wx1 ウォールライト 防湿、防雨型
⊗	避難口誘導灯片面型 B級・BL形	◇ E	LEDダウンライト 100形 FDL27形器具相当

memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1:100

drawing title  
照明器具姿図 (新設、撤去)

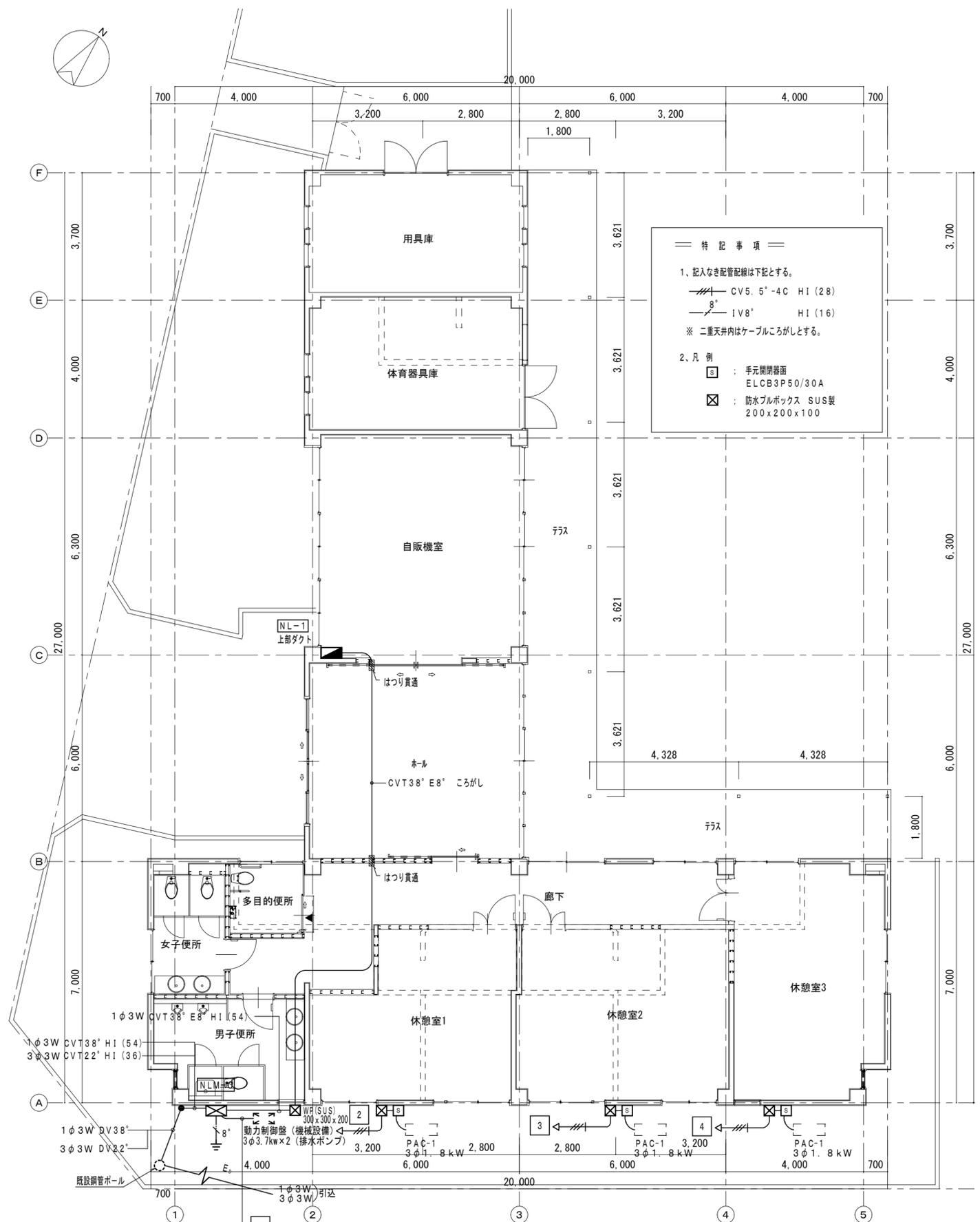
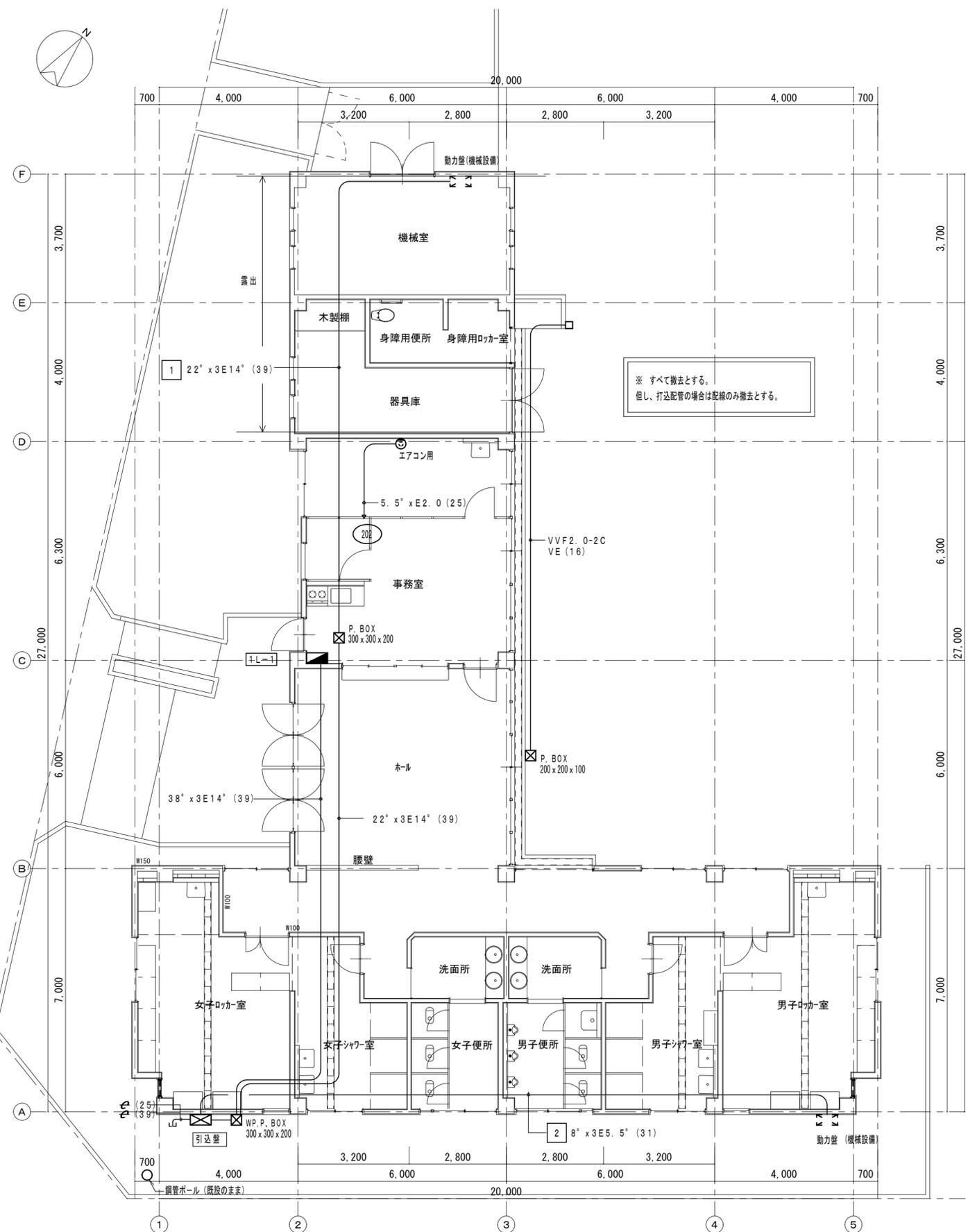
project title  
旧津市河芸プール管理棟改修工事

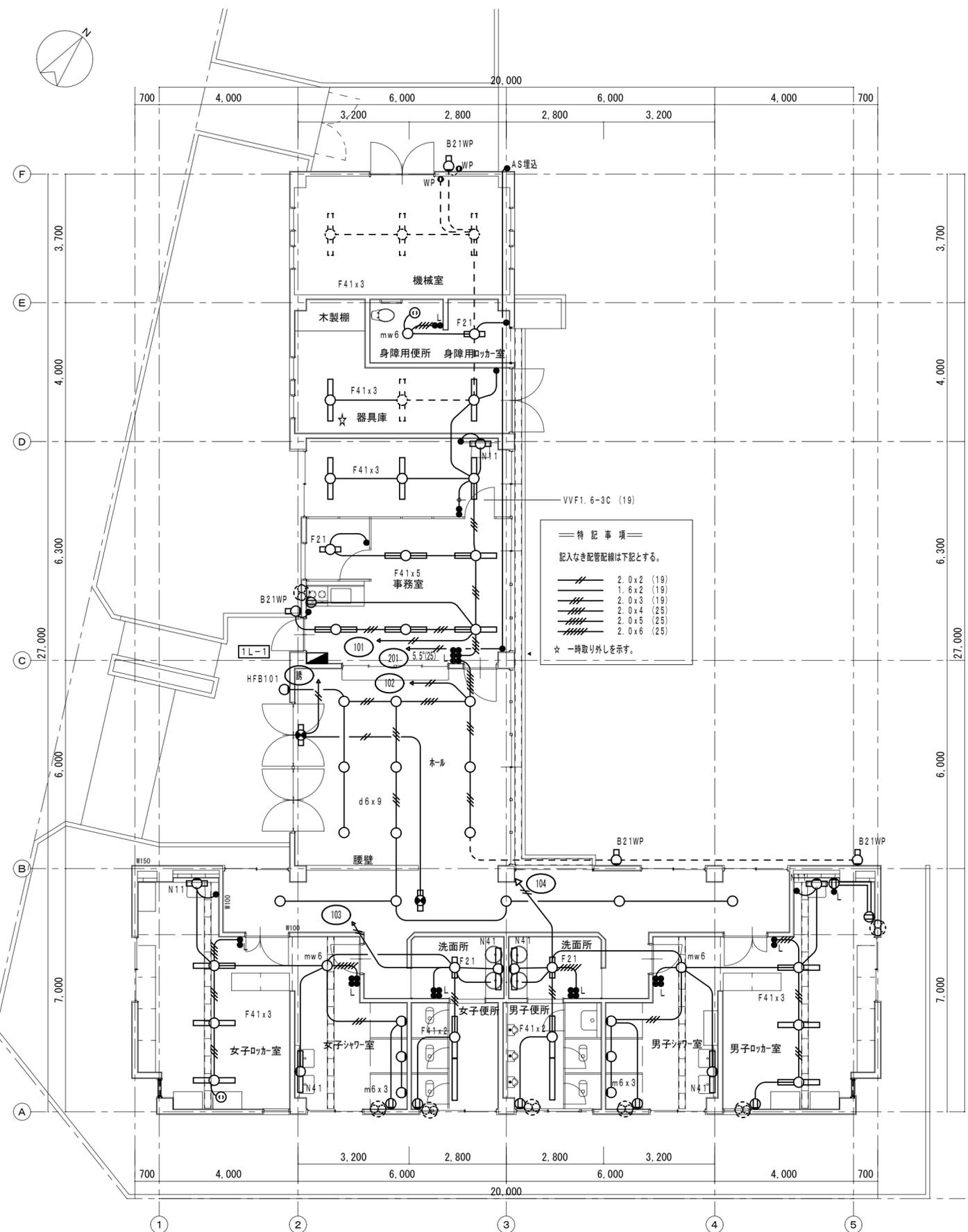
Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

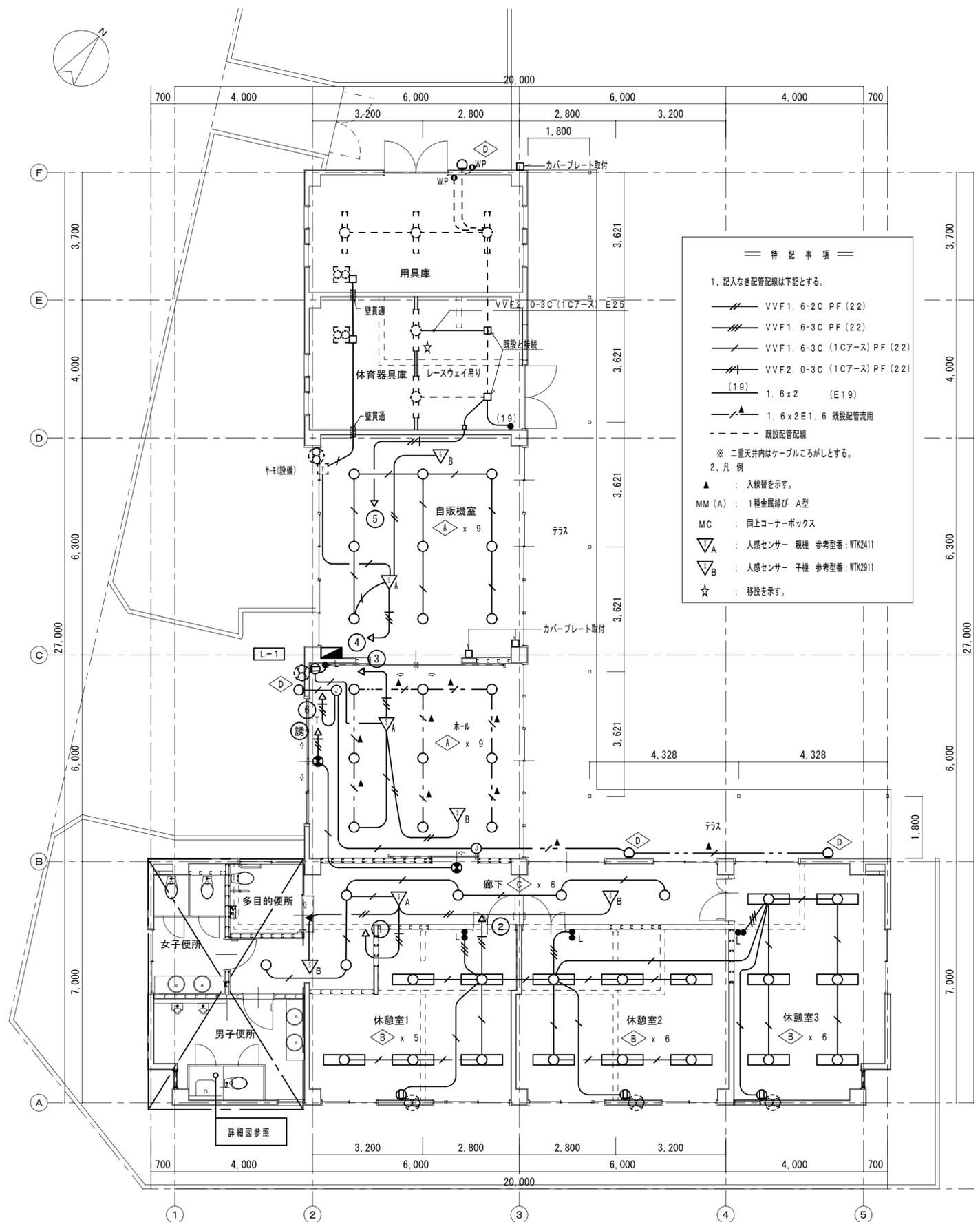
drawing no.

sheet no.  
E-3  
原図: A2

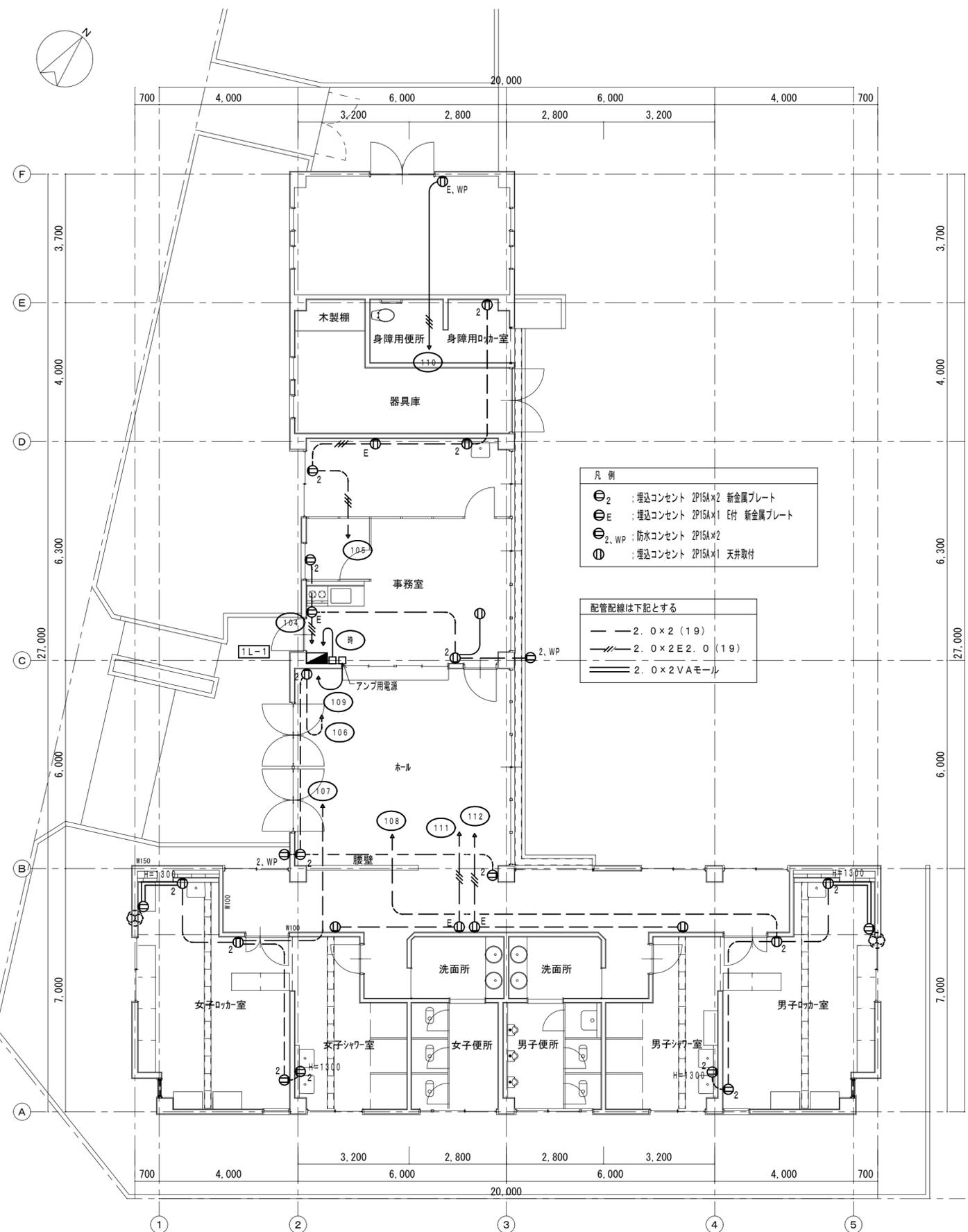




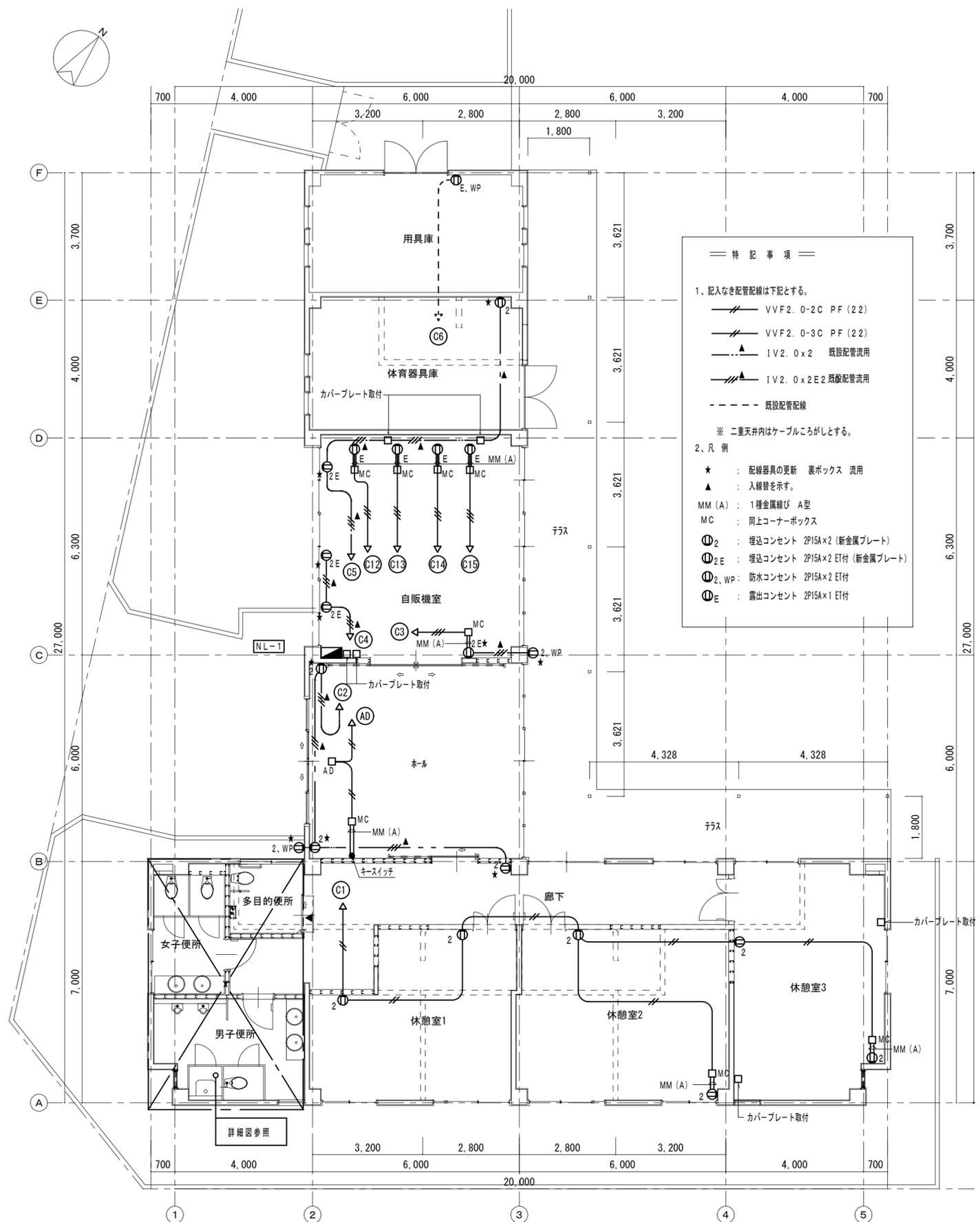
改修前平面図 S=1:100



改修後平面図 S=1:100

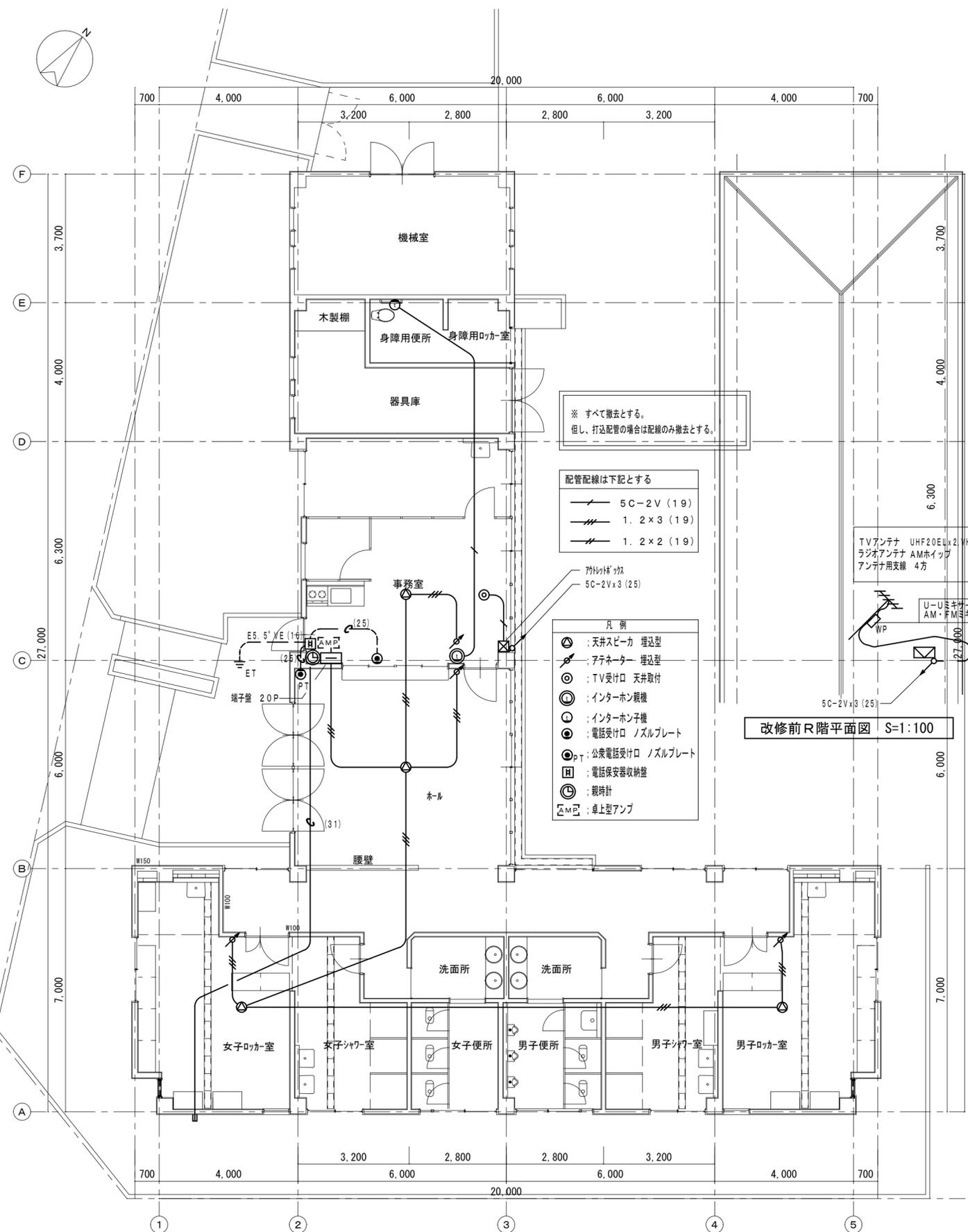


改修前平面図 S=1:100

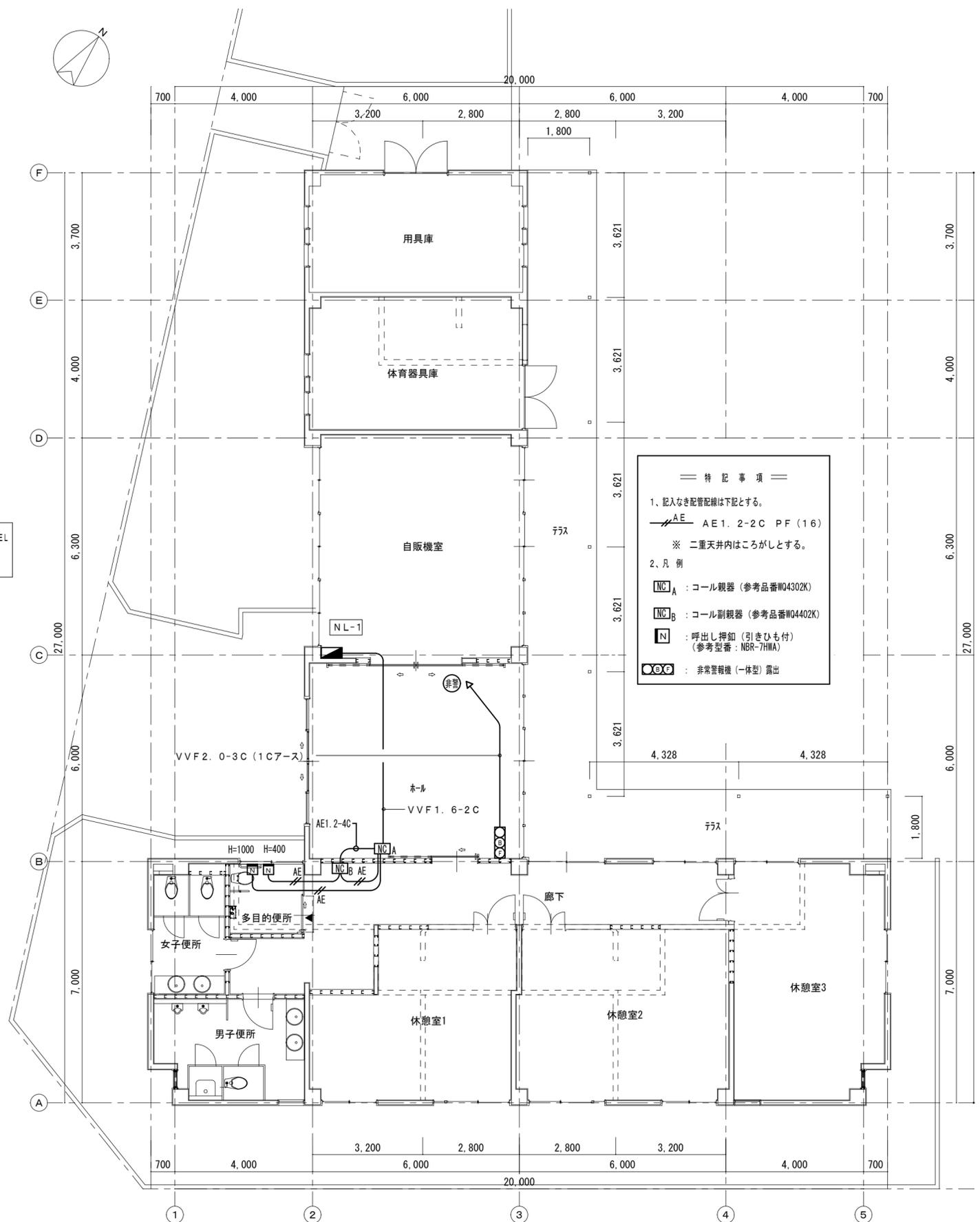


改修後平面図 S=1:100

- 特記事項
- 記入なき配管配線は下記とする。
    - VVF2.0-2C PF (22)
    - VVF2.0-3C PF (22)
    - IV2.0x2 既設配管流用
    - IV2.0x2E2 既設配管流用
    - 既設配管配線
  - 凡例
    - ★ : 配線器具の更新 裏ボックス 流用
    - ▲ : 入線替を示す。
    - MM (A) : 1種金属線び A型
    - MC : 同上コーナーボックス
    - Ⓜ<sub>2</sub> : 埋込コンセント 2P15A×2 (新金属プレート)
    - Ⓜ<sub>2E</sub> : 埋込コンセント 2P15A×2 ET付 (新金属プレート)
    - Ⓜ<sub>2.WP</sub> : 防水コンセント 2P15A×2 ET付
    - Ⓜ<sub>E</sub> : 露出コンセント 2P15A×1 ET付
- ※ 二重天井内はケーブルころしとする。



改修前平面図 S=1:100



改修後平面図 S=1:100

memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1:100

drawing title

弱电設備 改修前、後平面図

project title

旧津市河芸プール管理棟改修工事

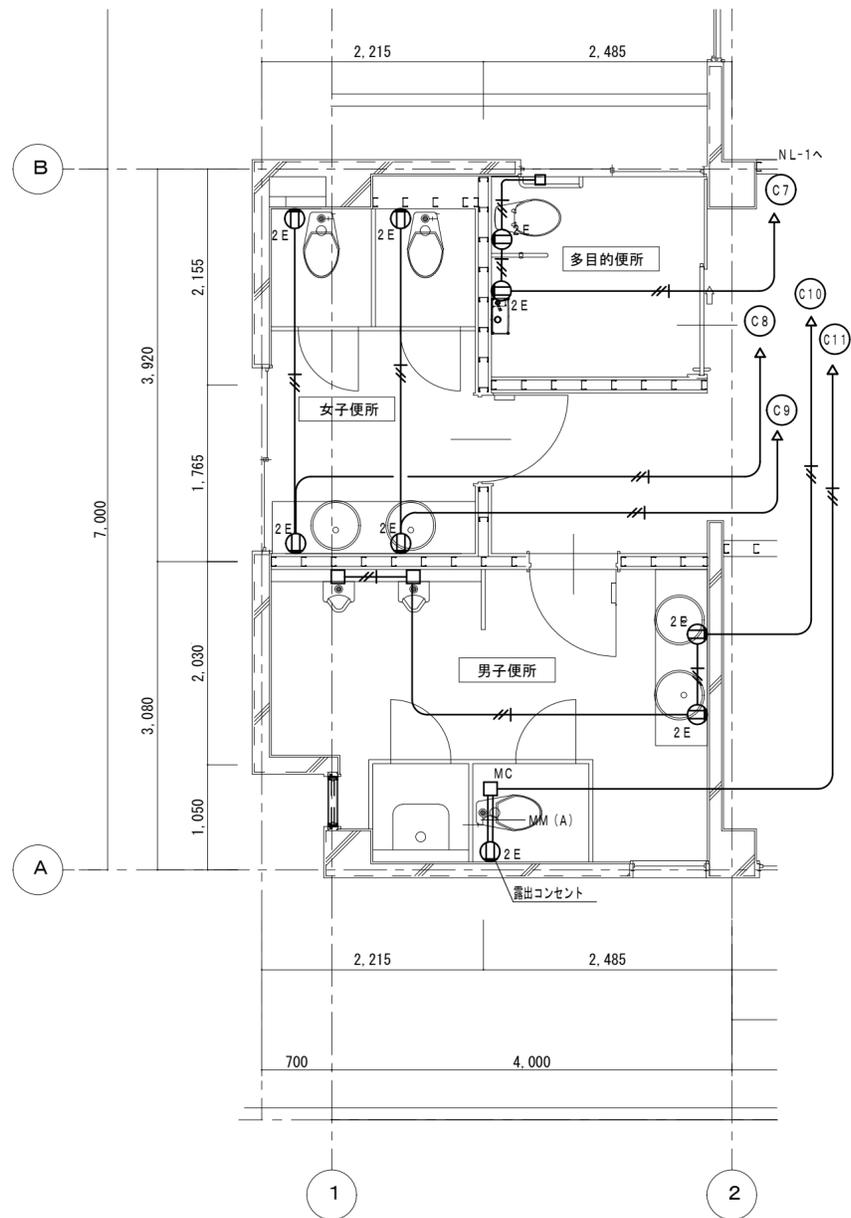


一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

sheet no.

E-7  
原図: A2

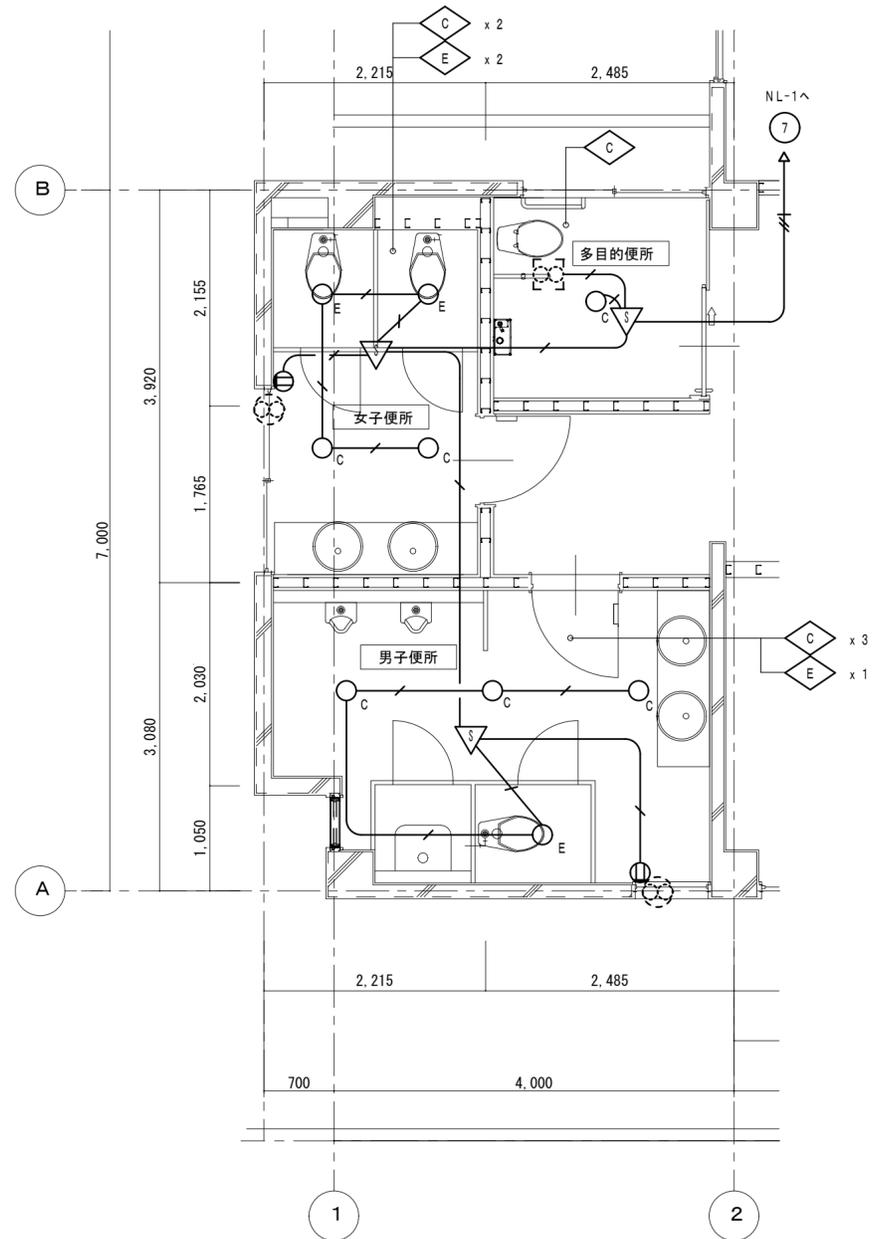


コンセント設備

特記事項

1、記入なき配管配線は下記とする。  
 VVF2. 0-3C (1Cアース) PF (22)  
 ※ 二重天井内はケーブルころがしとする。

2、凡例  
 MM (A) : 1種金属線び A型  
 MC : 同上コーナーボックス  
 2E : 埋込コンセント 2P15A×2 ET付



電灯設備

特記事項

1、記入なき配管配線は下記とする。  
 VVF1. 6-3C (1Cアース) PF (22)  
 VVF2. 0-3C (1Cアース) PF (22)  
 ※ 二重天井内はケーブルころがしとする。

2、凡例  
 S : 人感センサー 親機 換気扇連動用 参考型番: WTK2614

改修後便所廻り詳細図 S=1:50



機器表 (新設)						
記号	名称	設置場所	機器仕様		台数	備考・参考型番
WPU-1	汚物中継槽ユニット	屋外地中	汚水槽	本体FRP製 1400L(有効) フランジタイプ マンホール(φ600以上) 流入管φ100 樹脂製槽内配管	1	通気口
			汚物水中ポンプ	φ65 三相 200V 3.7kW 280L/min 25mAq ×2台 自動交互運転 2極 ボルテックスタイプ 汚物チャッキ弁 水中ケーブル		
			屋外壁掛制御盤	フロートスイッチ (3個玉) 一式 ケーブル(6m)とも		

機器表 (撤去)					
記号	名称	機器仕様		台数	備考・参考型番
P-K1	汚物水中ポンプ	着脱装置付		2	制御盤
		φ80 三相 200V 18.5kW			
		自動交互運転			
		汚物チャッキ弁、仕切弁			
		フロートスイッチ			
		ケーブル			

衛生器具表 (新設)							
名称	仕様		男子 便所	女子 便所	多 目的 便所	屋 外	合 計
	(LIXIL参考型番)	(TOTO参考型番)					
洋風大便器(ロータンク式)	BC-P20H, DT-PA250HCH(手洗無し, 蓋固定, リモコン), CW-PC12(洗浄便座・蓋無し, 金属プレート), CWA-201TJ	GS597BMS(手洗無し, 蓋固定, リモコン), TCF4721V81(洗浄便座・蓋無し, 金属プレート), HE35J			1		1
洋風大便器(ロータンク式)	BC-P20H, DT-PA250HCH(手洗無し, 蓋固定, リモコン), CW-PB11F-NE(洗浄便座)	GS597BMS(手洗無し, 蓋固定, リモコン), TCF585R(洗浄便座)	1	2			3
棚付二連紙巻器	CF-63HST	YH702	1	2	1		4
自動洗浄小便器	U-A51AP, AY-21×4, AY-34×6	UFS900, HH04060	2				2
L型手すり(樹脂被覆)	KF-920AE70D12, AY-55FN×3	T112CL10, T110D3R×3			1		1
跳上げ手すり(樹脂被覆)	該当品なし	T112HP7R, T110D17S			1		1
小便器用手すり(樹脂被覆)	KF-701AE, AY-55FN×4	T112CU2, T110D3R×4	1				1
壁掛手洗器	L-275FCRS, AM-200V1(自動水栓), KF-24F(水石鹸入れ), LF-275PAU, 他一式	L270CM, TEN41A(自動水栓), TS126AR(水石鹸入れ), T7PW1, TL220D, 他一式			1		1
カウンター式洗面器	L-2260, AM-130C(自動水栓), LF-105PAL(壁排水)	L530, TENA12A(自動水栓), T6PM1(壁排水)	2	2			4
カウンター 1760L	マ-ベ`リ付カウンター, 1760L, 2方向エッジ, 固定金具とも	マ-ブ`ライトカウンター, 1760L, 2方向エッジ, 固定金具とも	1				1
カウンター 2000L	マ-ベ`リ付カウンター, 2000L, 1方向エッジ, 固定金具とも	マ-ブ`ライトカウンター, 2000L, 1方向エッジ, 固定金具とも		1			1
パ`ック付掃除用流し	S-202A, LF-7KE-19, SF-20SAF-P(AY), SF-10E(AY), SF-202	SK22A, T23AE20, T37SGEP, TK22, T9R, HH04060	1				1
横水栓	LF-15G-13-CV, ネ`ス接続	T28AKUH13, ネ`ス接続				1	1
水栓柱	SUS製	SUS製				1	1

衛生器具表 (撤去)														
名称	仕様	男子 便所	女子 便所	男子 洗面所	女子 洗面所	男子 シャワー 室	女子 シャワー 室	男子 ロッカー 室	女子 ロッカー 室	身 障 用 便 所	医 務 室 兼 控 室	事 務 室	事 務 室	合 計
小便器	フラッシュバルブ	3												3
洗面器	単水栓 13A				2	2		1	1	1	1			8
はめ込み洗面器	単水栓 13A			2	2									4
同上用カウンター	1700L			1	1									2
掃除用流し	単水栓 20A	1												1
車いす用便器	ロータンク									1				1
手すり										1				1
シャワーヘッド						3	3							6
止水栓					3	3								6
化粧鏡	350×450H			2	2	2	2	1	1	1	1			12
耐食鏡	350×450H					3	3							6
自在水栓	13A											1		1
散水栓	13A(箱とも)												1	1

樹リスト ※管底は参考					
記号	名称	寸法	蓋仕様	管底(基準GL)	地盤高さ
A	汚水樹	φ200	塩ビ蓋	-300	建築図参照
1	溜め樹	φ200	塩ビ蓋	-300	建築図参照
2	溜め樹	φ200	塩ビ蓋	-350	建築図参照
3	溜め樹	300×300	MHA	-400	建築図参照

■memo

■check  
client  
architect  
contractor

■scale

■drawing title  
給排水衛生設備  
機器仕様 衛生器具表 樹リスト

■project title  
旧津市河芸プール管理棟改修工事

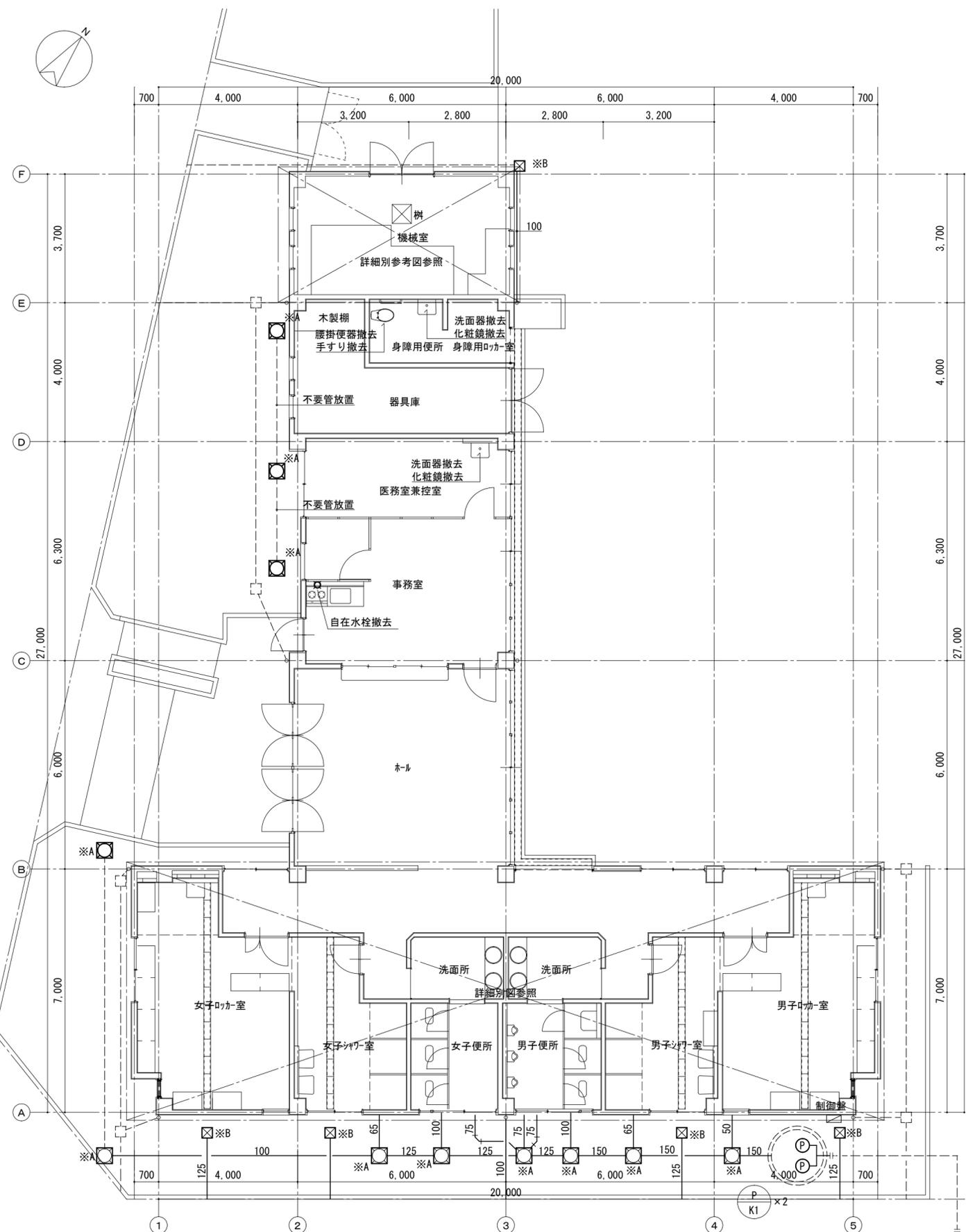


一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有)貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

■drawing no.

■sheet no.

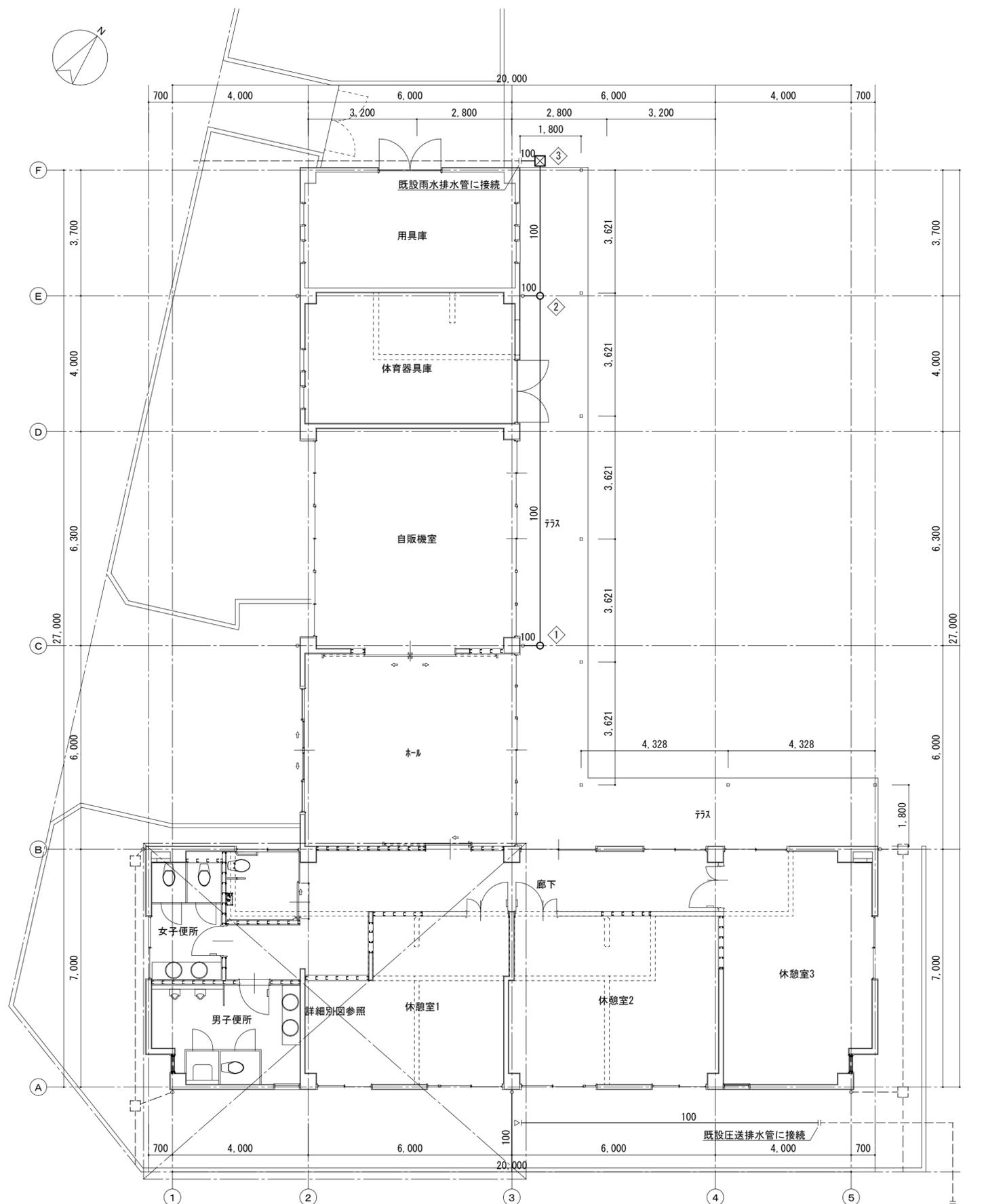
M-2  
原図: A2



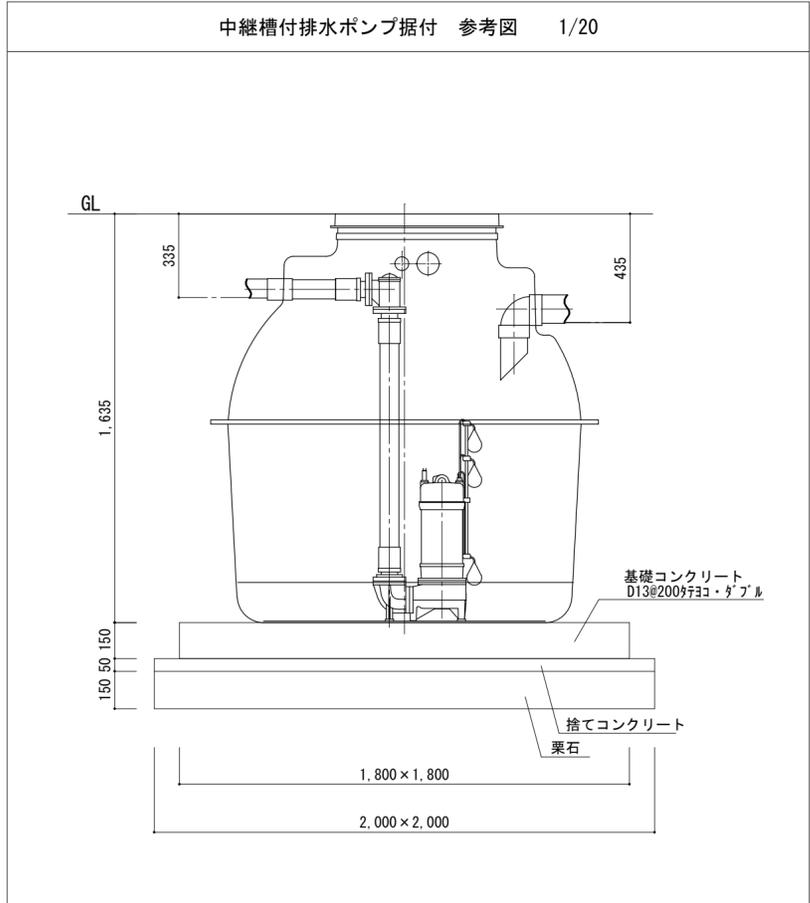
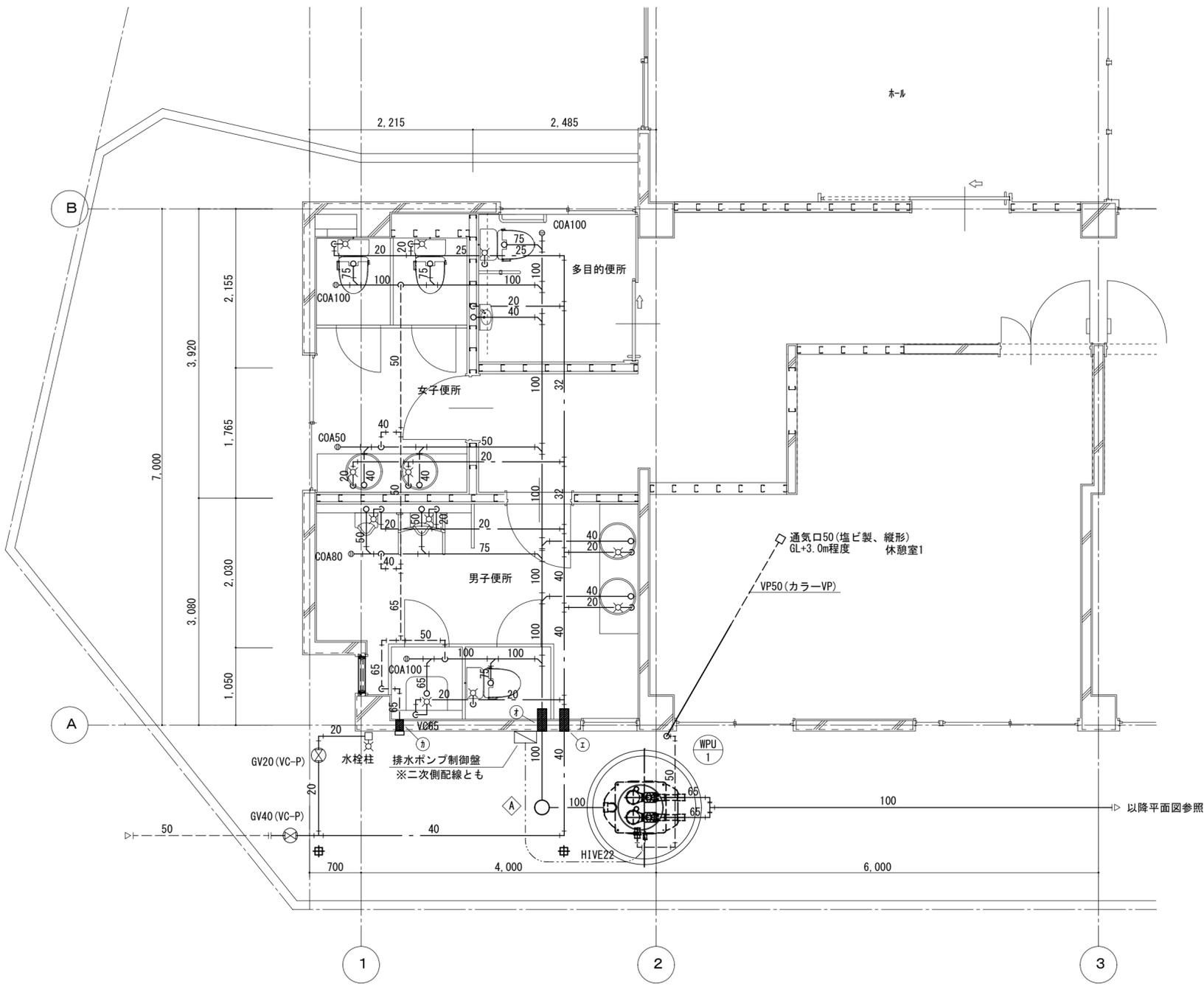
改修前平面図 S=1:100

※A: インバート樹 (SC-1, MHB) 撤去を示す  
 ※B: 溜め樹 (RC-1, コンクリート蓋) 撤去を示す

既設汚水槽上部500mm程度撤去  
 スプ, マンホールとも 体育館排水系統へ



改修後平面図 S=1:100



図中記号凡例

■	ⓔ	地中梁コア抜き	φ75
■	ⓕ	地中梁コア抜き	φ150
■	ⓖ	RC壁コア抜き	φ100

※外壁部はモルタルによる穴埋め補修

地中埋設表示

◆	鉄ピン
Ⓜ	コンクリート杭

※埋設給水管には埋設表示テープを布設すること。

改修後平面詳細図 S=1:50

memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1:50, 1:20

drawing title  
給排水衛生設備  
改修後平面詳細図

project title  
旧津市河芸プール管理棟改修工事

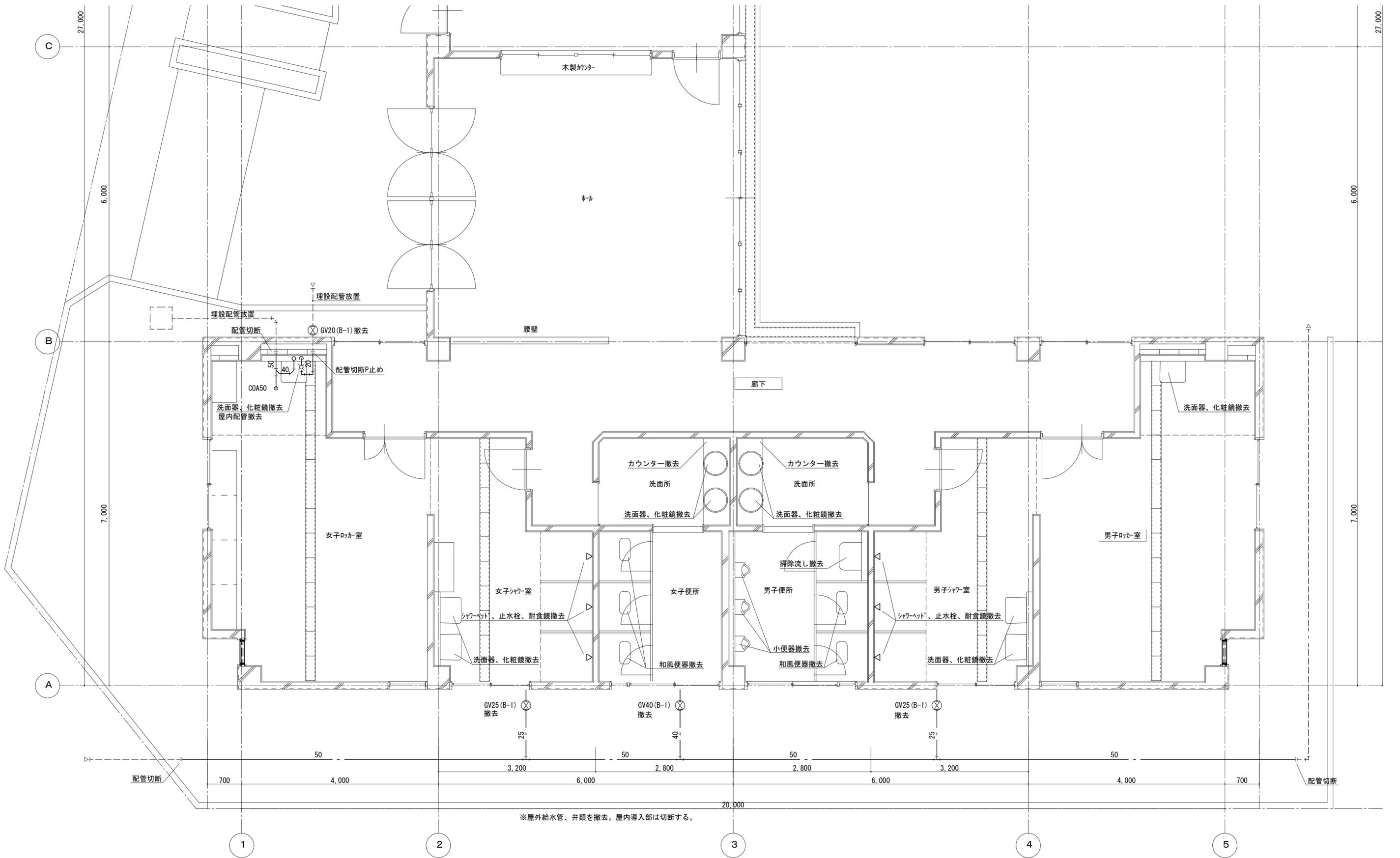
Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

sheet no.

M-4  
原図: A2



改修前平面詳細図 S=1:50

memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1:50

drawing title  
給排水衛生設備  
改修前平面詳細図

project title  
旧津市河芸プール管理棟改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

sheet no.

M-5  
原図: A2

換気機器表（新設）				
記号	形式・名称	仕様	台数	備考・参考型番
EF-1	壁付換気扇	スラング・ト' 格子タイプ φ250 風量：350m3/h 電気式シャッター 単相100v 消費電力：18.5W	5	EX-25EK6-C 取付枠, SUS7-ト', 防鳥網(SUS) ON/OFFスイッチは電気工事
EF-2	壁付換気扇	窓枠据付格子タイプ φ250 風量：350m3/h 電気式シャッター 単相100v 消費電力：38.0W	1	EX-25SC3-S 取付枠, SUS7-ト', 防鳥網(SUS) ON/OFFスイッチは電気工事
EF-3	壁付換気扇	窓枠据付格子タイプ φ250 風量：350m3/h 電気式シャッター 単相100v 消費電力：38.0W	2	EX-25SC3-S 取付枠, SUS7-ト', 防鳥網(SUS) 露出型温度スイッチ(自動-切-連続)
VF-1	天井換気扇	低騒音形 格子グリル φ100 150m3/h 40Pa 単相100v 消費電力：23W	1	VD-15ZPC10 天吊金具, 深形7-ト' (SUS), 防鳥網(SUS) 露出型温度スイッチ(自動-切-連続)
VF-2	天井換気扇	低騒音形 格子グリル φ150 250m3/h 80Pa 単相100v 消費電力：46W	2	VD-20ZX10-C 天吊金具, 深形7-ト' (SUS), 防鳥網(SUS)
OA-1	給気グリル	格子グリル φ150	2	P-18GH5 深形7-ト' (SUS), 防虫網(SUS)
特記事項 1、消費電力は参考値とする。				

換気機器表（既設撤去）				
記号	形式・名称	仕様	台数	備考・参考型番
EF-K1	壁付換気扇	φ250 単相100v	7	ウエザ'-カバ'-
EF-K2	壁付換気扇	φ300 単相100v	2	ウエザ'-カバ'-
VF-K1	天井換気扇	φ150 単相100v	1	ハ'イ'7-ト'

空調機器表（新設）				
記号	形式・名称	仕様	台数	備考・参考型番
PAC-1	天井カセットエアコン	冷房能力：7.1(2.9~8.0)Kw 暖房能力：8.0(2.2~10.6)Kw 4方向 3相200v 定格消費電力 冷房：1.75kW 暖房：1.80kW	3	化粧パネル ワイヤ'ト'リモコン ト'レ'アラ'ブ
特記事項 1、冷暖房能力は, 外気温度、室内温度、湿度ともJIS条件とする。 2、屋内-屋外機器間電源、リモコン共本工事とする。 3、インバーター能力、消費電力は参考値とする。				

空調機器表（既設撤去）				
記号	形式・名称	仕様	台数	備考・参考型番
RAC-K1	ルームエアコン	冷房能力：3.5kWクラス 床置形	1	

memo

check  
client  
architect  
contractor

scale

drawing title  
空調・換気設備  
機器仕様

project title  
旧津市河芸プール管理棟改修工事

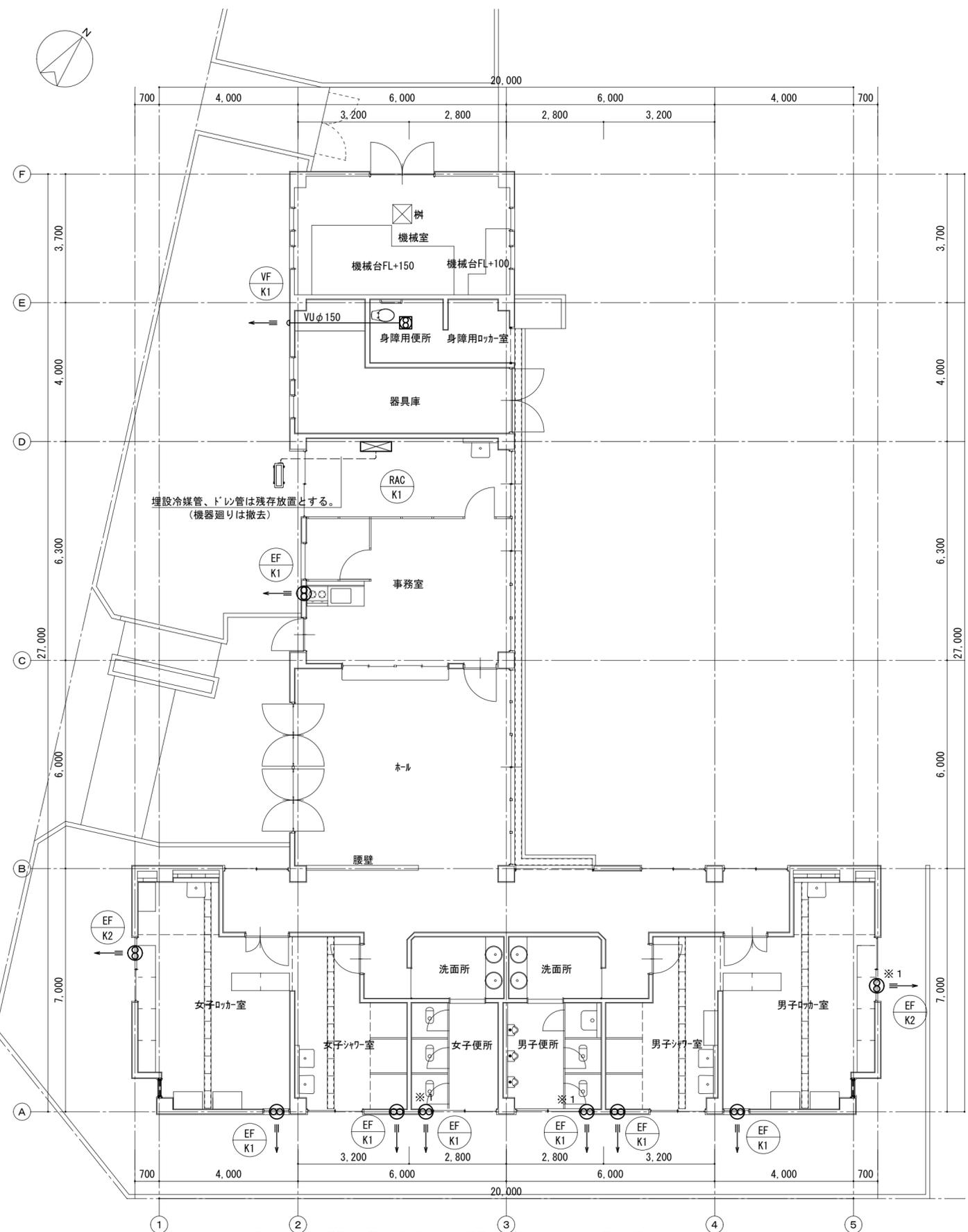


一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士：山田 賢治

drawing no.

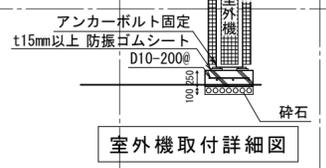
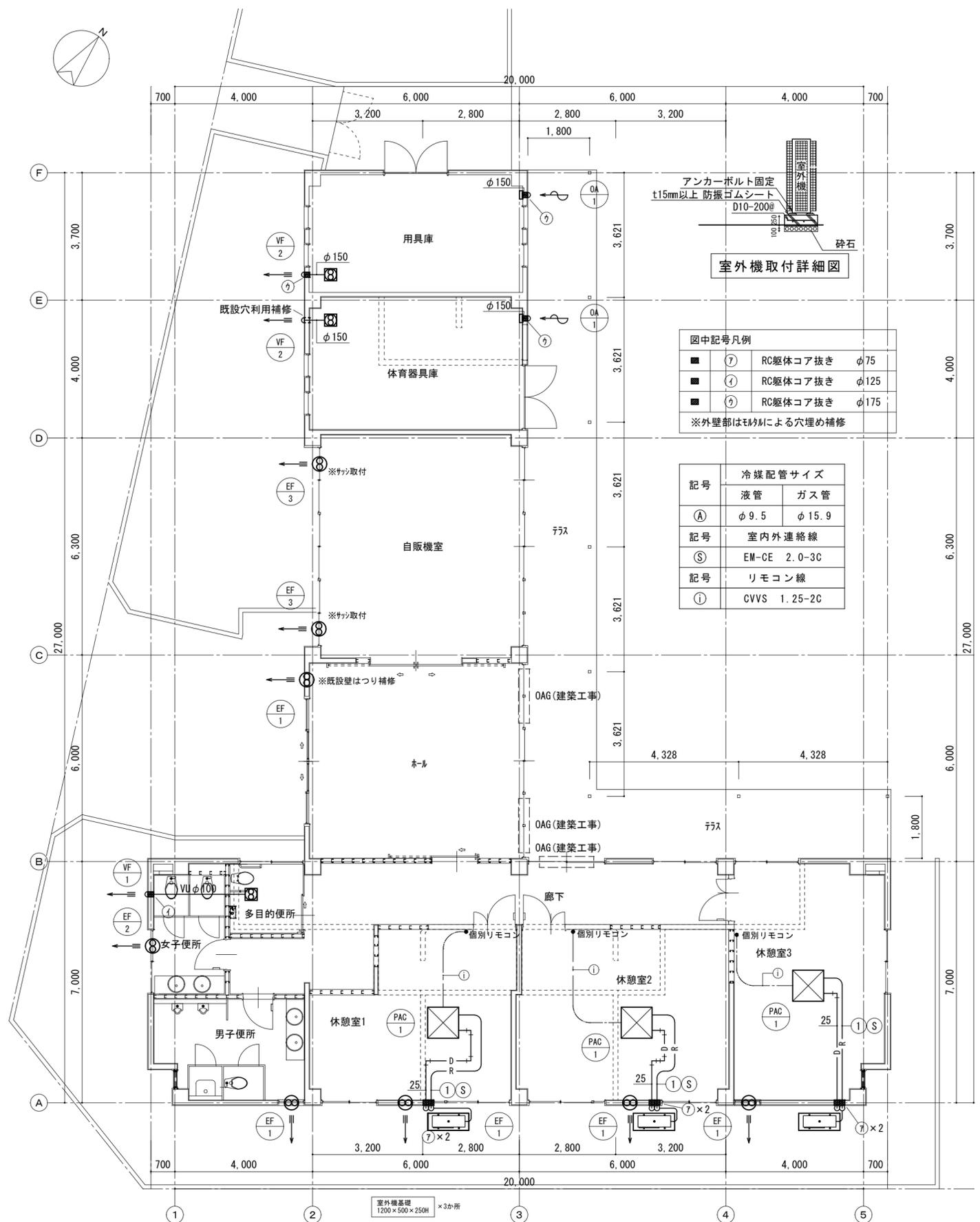
sheet no.

M-6  
原図：A2



図中※1部分は既設換気扇(サツ取付)撤去後、既設換気扇跡に7&#36;レドにて閉鎖処理を施す。

改修前平面図 S=1:100



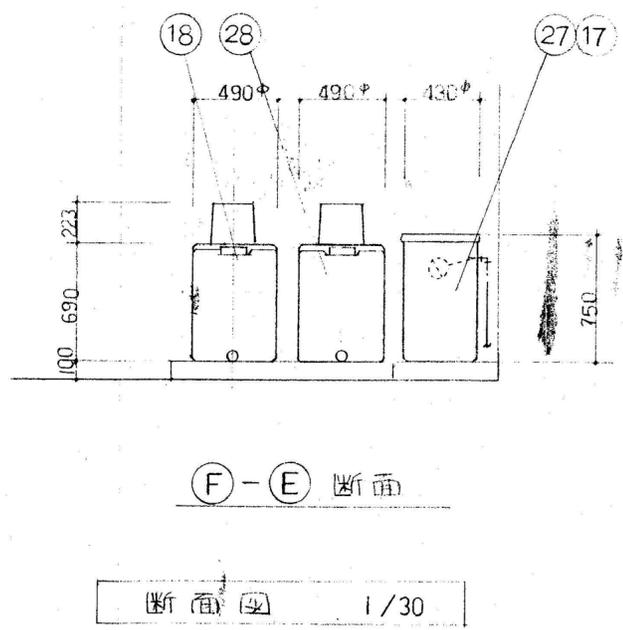
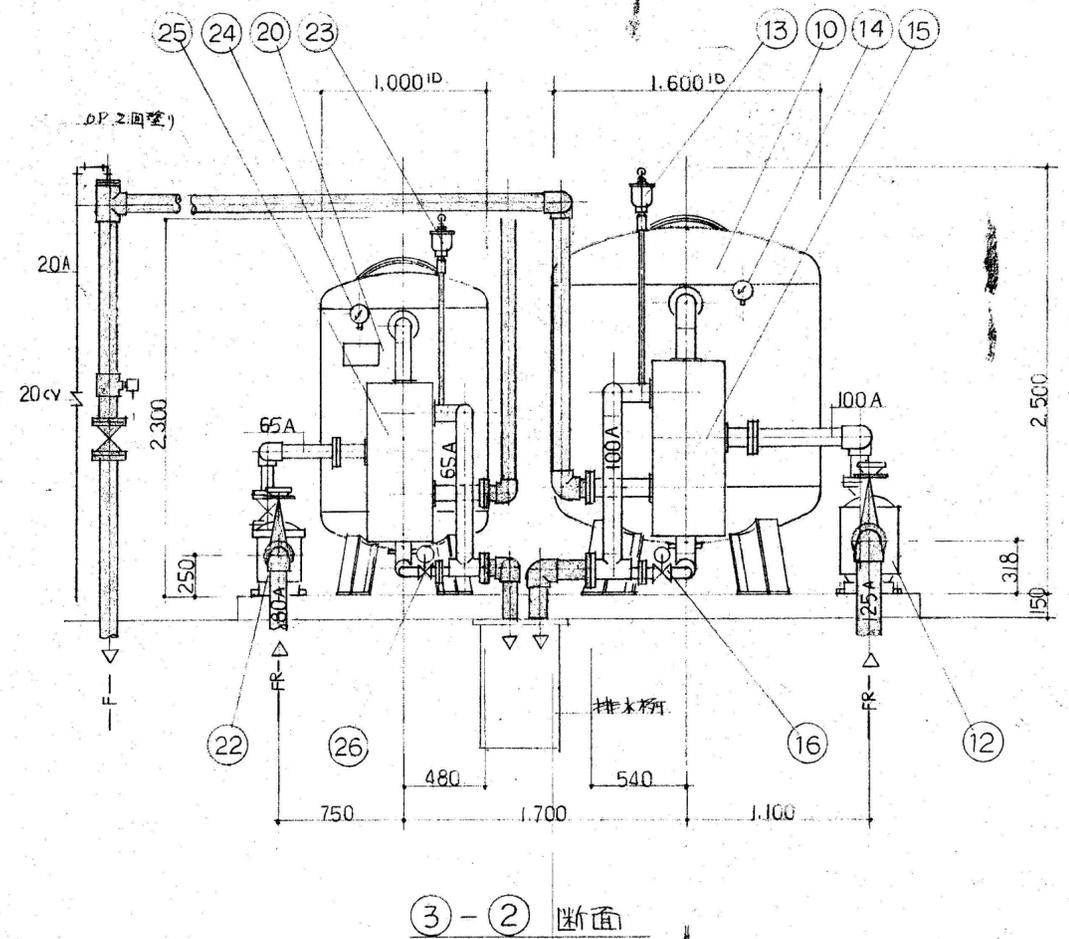
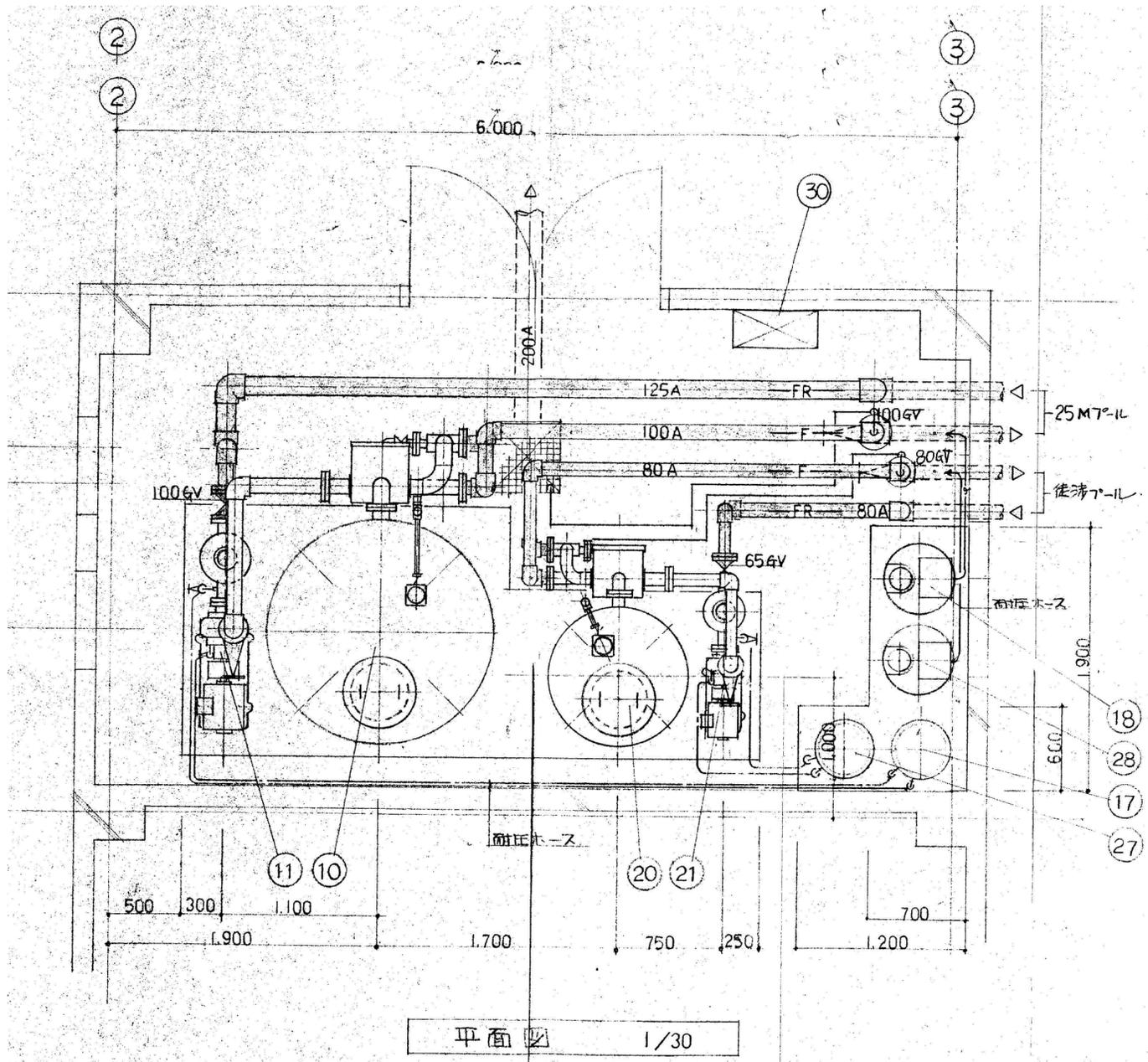
図中記号凡例

■	⑦	RC躯体コア抜き	φ75
■	①	RC躯体コア抜き	φ125
■	②	RC躯体コア抜き	φ175

※外壁部はモルタルによる穴埋め補修

記号	冷媒配管サイズ	
	液管	ガス管
①	φ9.5	φ15.9
記号	室内外連絡線	
⑤	EM-CE 2.0-3C	
記号	リモコン線	
①	CVVS 1.25-2C	

改修後平面図 S=1:100



循環ろ過装置 機器表

25M プール用		従汚プール用	
ろ過機形式	全自動砂式 DL-80 処理能力 ~ 80 M <sup>3</sup> /H	記号	全自動砂式 DL-30 処理能力 ~ 30 M <sup>3</sup> /H
ろ過主体	1,600φ × 1,220H × 6/45° × 100A SS41製 ろ過砂 1,300ℓ	10	1,000φ × 1,220H × 3.2/3.2° × 65A SS41製 ろ過砂 500ℓ
ろ過ポンプ	自吸式 1.4 m <sup>3</sup> /min × 15.5m × 100A × 5.5kW GV共	11	自吸式 0.5 m <sup>3</sup> /min × 13m × 65A × 2.2kW GV共
除塵器	100A × 360φ × 400H 本体SS製 スクリンSUS製	12	65A × 260φ × 300H 本体SS製 スクリンSUS製
自動空気抜き	25A	13	20A
圧力計	75φ × 4 kg/cm <sup>2</sup>	14	両左
自動切替弁	DL式 100A × 0.4kW BOX共	15	DL式 65A × 0.4kW BOX共
本体水抜き	50A GV BC製	16	40A GV BC製
絮凝剤溶解槽	100ℓ PE製 15A 自動循環式 空転防止装置付	17	両左
塩素減価装置	ダイヤフラム式ポンプ ~ 150%/min × 10 kg/cm <sup>2</sup> × 30W タンク 100ℓ PE製	18	ダイヤフラム式ポンプ ~ 30%/min × 15 kg/cm <sup>2</sup> × 30W タンク 100ℓ PE製
自動制御盤	屋内壁掛型 ELB付 24Hタイマー制御 2D自動洗浄方式 (別図参照)	30	

※FL上の配管、機器、制御盤、二次側電気配線等を撤去処分する。  
(機械基礎撤去は建築工事とする。)